

令和2年度

岩手県農業研究センター 年報



令和3年7月

目 次

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数	I - 1
2 会議、委員会、部会等の運営	I - 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	I - 2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価委員会	I - 6
(3) 企画運営会議、全体会議	I - 6
(4) 運営会議、室長会議	I - 9
ア 本部運営会議	
イ 本部室長会議	
ウ 畜産研究所室長会議	
(5) 委員会等の運営	I - 13
ア ほ場管理委員会	
イ 研究報告等企画編集委員会	
ウ 公開行事企画運営委員会	
エ 特許審査委員会	
オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会	
カ 環境美化委員会	
キ 職員衛生委員会	
ク 原種等生産管理委員会	
ケ 飼料生産委員会	
(6) その他会議	I - 15
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議	
カ 東北農業試験研究推進会議	
キ 県内で開催された関係学会	

II 試験研究の推進	
1 研究活動の概要	II- 1
2 トピックス	II- 2
(1) 特許・品種登録出願状況	II- 2
(2) 表彰等受賞状況	II- 2
(3) 連携プロジェクトによる研究推進	II- 3
3 研究室・課の動き	II- 4
(1) 企画管理部	II- 4
(2) 生産基盤研究部	II- 5
(3) 園芸技術研究部	II- 6
(4) 生産環境研究部	II- 8
(5) 病害虫防除部	II- 9
(6) 畜産研究所	II- 10
(7) 県北農業研究所	II- 11
4 令和2年度試験研究課題	II- 13
(1) 細目課題分類	II- 13
(2) 試験研究課題一覧	II- 14
(3) 令和3年度からの試験研究を要望された課題とその措置一覧	II- 20
5 共同研究等の推進	II- 21
(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業	II- 21
(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業	II- 21
(3) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業	II- 21
(4) 革新的技術開発・緊急展開事業	II- 22
(5) 公設試等可能性調査／公設試連携研究	II- 22
(6) その他独法等からの委託	II- 23
(7) 民間委託試験	II- 23
(8) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究	II- 24
(9) 他の公設試との共同研究	II- 24
(10) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)	II- 24
(11) その他共同研究	II- 24
(12) 産学官連携	II- 25
6 現地試験の実施	II- 26
III 試験研究の成果	
1 試験研究成果	III- 1
(1) 令和2年度成果数	III- 1
(2) 令和2年度成果名一覧	III- 2
2 追跡評価	III- 5
(1) 評価視点	III- 5
(2) 追跡評価の調査方法	III- 5
(3) 追跡評価の結果	III- 5
3 東北農業試験研究成果	III- 8
(1) 研究成果数	III- 8
(2) 研究成果名	III- 8

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物	IV-	1
2 研究レポート	IV-	2
3 岩手県農業研究センター研究報告	IV-	4
4 学会等研究報告	IV-	4
(1) 学術論文	IV-	4
(2) 学会発表	IV-	6
5 雑誌等掲載	IV-	8
(1) 専門雑誌等	IV-	8
(2) 岩手の畜産	IV-	8
(3) その他の雑誌等	IV-	8
(4) ホームページ等Web掲載	IV-	10
6 新聞等掲載	IV-	11
7 テレビ・ラジオ放送	IV-	13
(1) テレビ	IV-	13
(2) ラジオ	IV-	13
8 指導資料等掲載	IV-	14
9 図書資料収集・提供	IV-	16
10 ホームページ	IV-	16
11 SNS (Twitter、Facebook)	IV-	16

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応	V-	1
2 現地指導・研修会等への講師派遣	V-	5
3 視察者、見学者の受け入れ状況	V-	11
4 春季一般公開及び一般公開デー	V-	11
5 技術セミナー等の開催	V-	11
6 農業科学博物館、農業ふれあい公園の利用者	V-	12
7 研修生の受け入れ	V-	13
(1) 海外研修	V-	13
(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)	V-	13
(3) 短期研修生	V-	13
(4) 視察・体験学習の受け入れ	V-	13
ア 小中学校の「総合的な学習の時間」等に対応したもの		
イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの		
ウ インターンシップ等に対応したもの		
エ その他の視察・研修等に対応したもの		
8 協議会、委員会等委員	V-	16

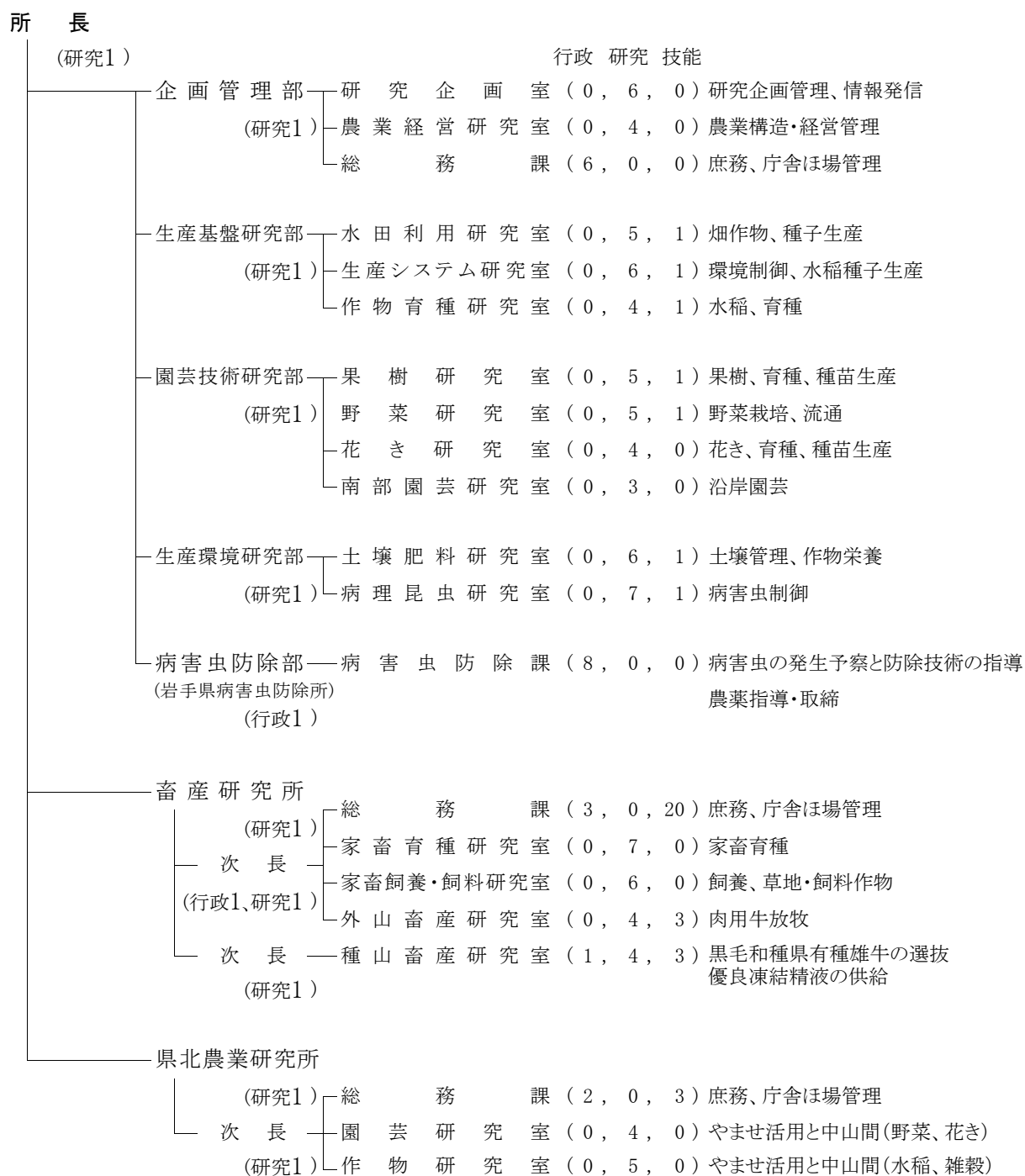
VI 職員研修	
1 大学院派遣	VI- 1
2 海外派遣・研修	VI- 1
3 国内研修への派遣	VI- 1
(1) 依頼研究員	VI- 1
(2) 農林水産関係研究リーダー研修	VI- 1
(3) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修	VI- 1
(4) 農林水産関係研究者研修	VI- 1
(5) その他	VI- 2
4 所内研修等	VI- 7
(1) 岩手県総務部主催研修	VI- 7
(2) 岩手県農林水産部主催研修	VI- 9
(3) 所内研修	VI- 9
5 所内セミナー等	VI- 10
VII 試験研究以外の業務概要	
1 作物の原々種の採種	VII- 1
(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に基づく種子の配布	VII- 1
2 作物の原種の採種	VII- 1
(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に基づく種子の配布	VII- 1
(2) その他原種種子の生産	VII- 1
3 種苗等の配布	VII- 2
(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に基づく種子の配布	VII- 2
(2) その他種苗の配布	VII- 2
4 県有種雄牛の精液の供給	VII- 3
(1) 黒毛和種	VII- 3
(2) 日本短角種	VII- 3
5 種豚、種鶏等の配布	VII- 4
(1) 豚の配布	VII- 4
(2) 種鶏等の配布	VII- 4
6 寄託放牧	VII- 4
(1) 牛	VII- 4
(2) 馬	VII- 4
VIII 予算、財産、表彰	
1 岩手県農業研究センター予算	VIII- 1
2 建物、用地の面積及び飼養家畜数	VIII- 2
(1) 建物・用地の面積	VIII- 2
(2) 飼養家畜頭数	VIII- 2
3 種苗登録、特許等	VIII- 3
(1) 種苗登録	VIII- 3
(2) 特許、実用新案	VIII- 5
(3) 一般に公開しているプログラム等	VIII- 6
4 表彰	VIII- 7

Ⅸ 東日本大震災津波への対応	
1 研修会、セミナーの開催	Ⅸ- 1
2 復興支援業務の実施	Ⅸ- 1
X 沿革	X- 1

I 農業研究センターの概要

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数 ※実数



〈職員数〉 ※定数

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢村)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	15	0	4	0	1	2	22
研究	57	3	15	4	5	11	95
技能	7	0	20	3	3	3	36
合計	79	3	39	7	9	16	153

2 会議、委員会、部会等の運営

(1) 農業試験研究推進会議等の開催

ア 新規試験研究課題の評価と選定

(ア) 第1回内部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R2.7.29(水)	R2.7.30(木)	R2.8.4(火)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	-	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	-
	農業大学校	-	-	-
	各農業改良普及センター	○	○	○

b 協議事項

- (a) 令和3年度からの試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- (b) 令和3年度新規試験研究課題案について

(イ) 第1回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R2.9.7(月)	R2.9.9(水)	R2.9.10(木)
参集範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○
	東北農政局岩手支局	○	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○
	岩手県農業共済組合	○	○	-
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	-
	岩手県植物防疫協会	○	○	-
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	-
	岩手県農業公社	-	-	○
	岩手県農業機械協会	○	-	-
	岩手県畜産協会	-	○	○

b 協議事項等

- (a) 令和2年度試験研究成果案について
- (b) 令和3年度新規試験研究課題案について

(ウ) 第1回評価調整会議

a 開催日 令和2年9月24日(木) 13:00～

b 協議事項等

- (a) 令和3年度からの試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- (b) 令和2年度試験研究成果案について
- (c) 令和3年度新規試験研究課題案について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長

イ 試験研究成果の採択

(ア) 第2回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会 (水稲)	農産部会 (畑作)	園芸部会	畜産部会
開催日		R2.12.9(水)	R2.12.8(火)	R2.12.4(金)	R2.12.10(木)
参 集 範 囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	-	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	-	○
	農業大学校	-	-	-	-
	各農業改良普及センター	○	○	○	○

b 協議事項

- (a) 令和2年度試験研究成果案について
- (b) 令和3年度新規試験研究課題案について(園芸部会野菜部門のみ)
- (c) その他

(イ) 第2回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会 (水稲)	農産部会 (畑作)	園芸部会 (果樹)	園芸部会 (野菜)	畜産部会
開催日		R3.1.7(木)	R3.1.8(金)	R3.1.8(金)	R3.1.6(水)	R3.1.12(火)
参 集 範 囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○	○	○
	東北農政局岩手支局	○	○	○	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○	○	○
	岩手県農業共済組合	○	○	○	-	-
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	○	○	-
	岩手県植物防疫協会	○	○	○	○	-
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	○	○	-
	岩手県農業公社	-	-	-	-	-
	岩手県農業機械協会	-	-	-	-	-
	岩手県畜産協会	-	-	-	-	○

b 協議事項

- (a) 令和2年度試験研究成果案について
- (b) 令和3年度試験研究課題案について
- (c) その他

(ウ) 第2回評価調整会議

a 開催日 令和3年1月20日(水) 13:00～15:00

b 協議事項

- (a) 令和2年度試験研究成果案について
- (b) 令和3年度新規試験研究課題案について
- (c) 主要成果の選定及び試験研究成果の公表範囲について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長

ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

(ア) 第3回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R3.3.1(月)	R3.3.3(水)	R3.2.26(金)
参集 範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	○
	農業大学校	-	-	-
	各農業改良普及センター	○	○	○

b 協議事項

- (a) 令和2年度試験研究成果案について
- (b) 令和3年度試験研究課題(新規、変更課題)について

(イ) 第3回評価調整会議

a 開催日 令和3年3月18日(木) 13:00～

b 協議事項

- (a) 令和2年度試験研究成果案について
- (b) 令和3年度新規試験研究課題(案)について
- (c) 令和3年度新規試験研究課題(試験設計、変更)について
- (d) 岩手県農業研究センター試験研究推進計画の策定について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

エ 岩手県農業技術開発会議

(ア) 第1回

a 開催日 令和3年2月3日(水) 13:30～

b 報告・協議事項

- (a) 農林水産技術立県いわて 技術開発の基本方向(案)について
- (b) 農業研究センターにおける技術開発について
- (c) 生工研センターにおける技術開発について
- (d) 農業研究センターにおける試験研究推進計画の進捗状況について
- (d) その他

c 参集範囲

(公財)岩手生物工学研究センター
農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校
農業研究センター所長、各部長、各研究所長

オ 試験研究推進アドバイザー

所属部会	氏名	役職名	外部検討会議出席	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学総合政策学部・准教授	-	○
	迫田 登稔	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産基盤研究領域 領域長	○	-
	高橋 章郎	岩手県農業農村指導士(花巻市) 有限会社アグリスト 社長	○	○
	菅原 久耕	有限会社ファーム菅久・代表(雫石町)	-	○
	高橋 一樹	全農岩手県本部米穀部・次長	○	○
農産 (畑作)	新良 力也	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 領域長	○	○
	熊谷 匡章	有限会社下館農産・代表取締役	○	○
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程・教授	-	○
	岩波 宏	農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 リンゴ栽培生理ユニット ユニット長	-	○
	佐々木 仁	全農岩手県本部 園芸部生産販売課 技術主管	-	○
	工藤 英夫	花巻市葡萄が丘農業研究所 所長	-	○
	高野 寛子	岩手県農業農村指導士	-	○
園芸 (野菜)	由比 進	岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育センター・教授	-	○
	永坂 厚	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 病害虫グループ 主任研究員	○	○
	高橋 光朗	岩手県農業農村指導士(奥州市江刺区)	○	○
	高村 亮一	岩手県農業農村指導士(岩手町)	-	-
	鈴木 公	全農岩手県本部園芸部・次長	○	-
園芸 (花き)	稲本 勝彦	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門 栽培生理ユニット長	-	-
	高橋 俊一	(株)T&Gバイオナーサリー・会長兼CEO	-	-
	高橋 亮	八幡平市花き研究開発センター 係長	-	-
	千葉 欣哉	岩手県農業農村指導士	-	-
畜産	下司 雅也	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究セン畜産飼料作研究領域 領域長	○	○
	吉田 勝栄	(一社)岩手県畜産協会 経営支援部 部長	○	-
	築城 幹典	岩手大学農学部農学生命課程・教授	○	-
	大津 信一	全農岩手県本部畜産酪農部・次長兼生産指導課長	○	○
	山野 淳一	(独)家畜改良センター岩手牧場・場長	○	○
	菊池 忠孝	地域戦略プロジェクト研究実証農家	○	-
	保科 俊穂	岩手県農業農村指導士	-	○
	太田 哲	岩手県農業農村指導士	-	-
			14 名	18 名

(2) 機関評価委員会「視察・懇談会」

ア 開催日・場所 令和2年9月14日(月) 岩手県農業研究センター 本部(北上市)

イ 内容 (ア) 機関評価について(説明)

(イ) 岩手県農業研究センターにおける研究推進方向について(説明)

(ウ) 主な試験研究の実施状況について(畜産研究所、県北農業研究所)

(エ) 試験研究状況の視察(生産基盤研究部、園芸技術研究部、生産環境研究部)

(オ) 意見交換

(カ) 委員講評

ウ 出席者

(ア) 機関評価委員 大谷 隆二 氏 (東北農業研究センター地域戦略部長)

外部評価(5人) 高畑 義人 氏 (岩手大学名誉教授)

新田 義修 氏 (岩手県立大学研究・地域連携本部副本部長兼地域政策研究センター長兼総合政策研究科・総合政策学部准教授)

五日市亮一 氏 (岩手県農業農村指導士協会会長)

越沼洋一 氏 (全農県本部副本部長)

(イ) 所員 所長、各部長、各研究所長、事務局等

(3) 企画運営会議、全体会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R2.4.8(水)	大会議室	(試験研究推進に係る経理事務等説明会(兼第1回本部室長会議)) 1 試験研究推進に係る留意事項 ・試験研究推進に係る諸規定、研究倫理 2 経理事務等に係る留意事項 ・外部資金予算執行の留意事項、物品購入・旅費・契約事務・物品管理・会計年度任用職員に係る賃金管理・事務ミスが多い事項 等 3 その他の留意事項 ・情報セキュリティ、苦情処理マニュアル、労働安全等予防システム、成果発表会について
R2.4.10(金)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1)連携プロジェクトによる研究推進について 2 連絡・報告事項 (1)令和2年度当初予算(試験研究費)について (2)研究倫理に関する誓約書の提出について (3)各部長・研究所長からの情報提供 等 (4)4～5月の行事予定
R2.5.26(火)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1)令和2年度岩手県農業研究センター研究成果発表会の持ち方について (2)令和2年度一般公開デーの開催について (3)試験研究推進計画の策定について (4)試験研究推進計画進行管理要領の改正等について (5)令和2年度新規試験研究課題(案)について 2 連絡・報告事項 (1)次期機関評価委員の候補者について(再検討結果) (2)農業研究センターにおけるWeb会議について (3)各部長・研究所長からの情報提供 等 (4)5～6月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R2.7.21(火)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価委員との「視察・懇談会」の開催について (2)追跡評価について 2 連絡・報告事項 (1)令和2年度一般公開デーの実施計画について (2)広報(らぼ・れたあ、SNS等)計画・実績について (3)第1回内部検討会議について (4)各部長・研究所長からの情報提供等 (5)7～8月の行事予定
R2.9.24(木)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1)職員意識調査の実施について (2)外部研究資金事業への応募について 2 連絡・報告事項 (1)令和2年度農業研究センター一般公開デーの開催状況について (2)農業研究センター予算の推移について (3)令和2年度試験研究成果数(第2回内部検討会提案予定数)について (4)各部長・研究所長からの情報提供 等 (5)9～10月の行事予定
R2.11.26(木)	特別会議室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 (1)岩手県農業研究センター試験研究推進計画進行管理細則の改正等について (2)情報の共有化について (3)試験研究成果の令和2年度時点における有効性確認の結果について 2 連絡・報告事項 (1)農業技術開発会議資料作成について (2)採用後の博士の学位取得に係る状況調査結果について (3)各部長・研究所長からの情報提供 等 (4)11～1月の行事予定
R3.1.20(水)	特別会議室	(第6回企画運営会議) 1 協議事項 (1)外部研究資金事業への提案について (2)農業技術開発会議(2/3(水))への対応について 2 連絡・報告事項 (1)職員意識調査の結果について (2)広報(らぼ・れたあ、SNS等)の実績(～第3四半期)について (3)第3回内部検討会議での検討予定課題について (4)農研センター・ホームページのCMSへの移行について (5)各部長・研究所長からの情報提供 等 (4)1～3月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R2.3.18(木)	特別会議室	(第7回企画運営会議) 1 協議事項 (1)外部研究資金事業への応募について(1件) (2)令和3年度農業研究センター一般公開デーの開催について (3)令和3年度農業研究センター成果発表会の開催について (4)試験研究推進計画進行管理細則(外部資金応募チェックシート)の改正について (5)令和3年度追跡評価の評価者について (6)職員意識調査結果を踏まえた新たな取組について 2 連絡・報告事項 (1)各部長・研究所長からの情報提供 等 (2)4～6月の行事予定

(4) 運営会議、室長会議

ア 本部運営会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R2.4.1(水)	所長室	(1) 運営会議について (2) 各種名簿等について (3) 対面式について ほか
R2.4.10(金)	所長室	(1) 職員に新型コロナウイルス感染症の感染が確認された場合の対応について (2) 職員の交通事故発生時における対応について ほか
R2.4.17(金)	所長室	(1) 新型コロナウイルス感染症対応に係る業務継続計画の精査及び交代勤務の検討について (2) 令和2年度働き方改革推進強化月間の取組について ほか
R2.4.24(金)	所長室	(1) 業務見直しの徹底及び計画的な休暇取得の促進について (2) 水稲除草剤試験区設置への協力依頼について (3) 在宅勤務の実施について ほか
R2.5.11(月)	所長室	(1) 在宅勤務実績について (2) ほ場北側水路草刈(第1回)について ほか
R2.5.15(金)	所長室	(1) 新型コロナウイルス感染症への当面の対応について ほか
R2.5.22(金)	所長室	(1) 新型コロナウイルス感染症への当面の対応について (2) SNSを活用した農業研究センター情報発進の更なる拡充について (3) 令和2年度特定課題調査検討チームの取組計画について ほか
R2.5.29(金)	所長室	(1) 長時間勤務の縮減に向けた所属長ヒアリング等の実施について (2) 研究棟実験室の見直しについて ほか
R2.6.5(金)	所長室	(1) 「らぼ・れたあ」投稿計画及び実績(第1四半期分)について (2) 新型コロナウイルス感染症への当面の対応について (3) 「ハラスメントの防止等に関する基本方針」について ほか
R2.6.12(金)	所長室	(1) 当面の業務予定について ほか
R2.6.19(金)	所長室	(1) 令和2年度働き方改革推進強化月間について ほか
R2.6.26(金)	所長室	(1) 農林水産部教育・研究機関における人員・資金等の資料について ほか
R2.7.3(金)	所長室	(1) 北いわてスマート農業サロニックオフイベントについて (2) 令和2年度環境目標の設定について (3) 気象観測について ほか
R2.7.10(金)	所長室	(1) 当面の業務予定について ほか
R2.7.17(金)	所長室	(1) 農業研究センターの今後の取組に係る資料整備について ほか
R2.7.31(金)	所長室	(1) 職員の勤務規律の確保等について ほか
R2.8.7(金)	所長室	(1) 会計年度任用職員(障がい者枠)の配置希望について (2) 超過勤務命令の運用について ほか
R2.8.21(金)	所長室	(1) 当面の業務予定について ほか
R2.8.28(金)	所長室	(1) 農業研究センター一般公開デーについて ほか
R2.9.4(金)	所長室	(1) 当面の業務予定について ほか
R2.9.11(金)	所長室	(1) 会計事務の適正執行について (2) 県北農業研究所環境制御型園芸温室整備工事について ほか
R2.9.18(金)	所長室	(1) 各部ワンフロア内における業務執行体制の確立について、ほか
R2.10.2(金)	所長室	(1) 支払遅延防止に向けた支出事務の取組について (2) 毒劇物等の管理状況実地調査実施結果について ほか
R2.10.9(金)	所長室	(1) 令和3年度予算要求スケジュールについて (2) 職員意識調査の実施について ほか
R2.10.16(金)	所長室	(1) 県外からの来訪者への対応について ほか
R2.10.23(金)	特別会議室	(1) 令和3年度における光熱水費の節減について (2) 研究費の確保について (3) 本監査について ほか
R2.10.30(金)	所長室	(1) 当面の業務予定について ほか
R2.11.6(金)	所長室	(1) 総括課長会議提出資料について ほか
R2.11.13(金)	所長室	(1) 新型コロナウイルス感染症への対応について ほか

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R2.11.20(金)	所長室	(1) 委託研究費の適正な執行について (2) 試験研究成果の区分について ほか
R2.12.3(木)	所長室	(1) 令和2年度第3回園芸技術研究部ゼミナールについて (2) 省エネを意識した会議室の利用について ほか
R2.12.18(金)	所長室	(1) 令和3年度会計年度任用職員の任用等について ほか
R2.12.25(金)	所長室	(1) 長期休暇中において急を要する案件等が発生した場合の対応について ほか
R3.1.8(金)	所長室	(1) 研究レポートの作成について ほか
R3.1.15(金)	所長室	(1) 当面の業務予定について ほか
R3.1.22(金)	所長室	(1) 令和2年度種子のみ枯細菌病保菌状況調査の実施について ほか
R3.1.29(金)	所長室	(1) 研究成果の農家への伝達手法について ほか
R3.2.5(金)	所長室	(1) 1月の情報発信結果と2月の「らぼ・れたあ」について ほか
R3.2.19(金)	所長室	(1) 農研センターにおける地震被害、防風被害について (2) 「いいね！アワード2020」の表彰について ほか
R3.2.26(金)	所長室	(1) 職員衛生委員会報告及び各部への依頼事項について (2) 岩手県認定農業者協議会稲作部会との意見交換について ほか
R3.3.5(金)	所長室	(1) 公設試等により知事への活動報告について (2) 2月の情報発進結果と3月の「らぼ・れたあ」について (3) 総務課・研究企画室Meeting Spaceの拡大、執務室内のゴミ箱撤去について ほか
R3.3.12(金)	所長室	(1) 職員意識調査への対応について (2) 年度末・年度始めの行事及び作成資料について ほか
R3.3.19(金)	所長室	(1) 研究成果の情報提供について ほか
R3.3.26(金)	所長室	(1) 年度末・年度初めの行事について (2) 3月の情報発信結果と4月の「らぼ・れたあ」について ほか

イ 本部室長会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R2.4.8(水)	大会議室	(第1回本部室長会議(兼試験研究推進に係る経理事務等説明会)) 1 試験研究推進に係る留意事項 ・試験研究推進に係る諸規定、研究倫理 2 経理事務等に係る留意事項 ・外部資金予算執行の留意事項、物品購入・旅費・契約事務・物品管理・会計年度任用職員に係る賃金管理・事務ミスが多い事項等 3 その他の留意事項 ・情報セキュリティ、苦情処理マニュアル、労働安全等予防システム、成果発表会について
R2.6.30(火)	2階中会議室	(第2回本部室長会議) 協議事項 (1) 内部検討会議運営方法の改善について (2) 令和2年度会計年度任用職員の経理について (3) 令和2年度大規模修繕・備品等の予算措置状況について (4) 令和2年度第1回稲作コスト低減研修会の開催について(兼成果発表会) (5) 令和2年度第2回職員研修会について
R2.10.27(火)	大会議室	(第3回本部室長会議) 協議事項 (1) 来年度の予算見通しを踏まえた対応について (2) 次年度における外部研究資金事業への提案予定について(情報共有等)

ウ 畜産研究所室長会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R2.4.1(水)	セミナー室	(第1回畜産研究所室長会議) 連絡・報告事項 (1)4月行事予定について (2)事務分担(案)及び配置図について (3)非常時災害等連絡系統図等について 他
R2.4.23(水)	セミナー室	(第2回畜産研究所室長会議及び全体会議) 連絡・報告事項 (1)5月行事予定について (2)本部からの連絡等について (3)総務課、各研究室の連絡等について (4)外部資金経理事務説明会
R2.5.29(金)	セミナー室	(第3回畜産研究所室長会議) 連絡・報告事項 (1)6月行事予定について (2)本部からの連絡等について (3)畜産研究所環境美化作業(草刈等)について (4)労働災害予防システムの運用について 他
R2.6.29(金)	セミナー室	(第4回畜産研究所室長会議) 連絡・報告事項 (1)7月行事予定について (2)本部からの連絡等について (3)大規模施設整備事業等について 他
R2.7.31(金)	セミナー室	(第5回畜産研究所室長会議) 連絡・報告事項 (1)8月行事予定について (2)本部からの連絡等について (3)職場研修(交通安全研修会)について 他
R2.8.28(金)	セミナー室	(第6回畜産研究所室長会議) 連絡・報告事項 (1)9月行事予定について (2)本部からの連絡等について (3)総務課、各研究室の連絡等について
R2.9.25(金)	セミナー室	(第7回畜産研究所室長会議) 連絡・報告事項 (1)10月行事予定について (2)業務方針に係る進行管理(第2四半期)について (3)予備監査の結果について (4)令和3年度当初予算に係る特殊要因協議(2回目)の実施について 他

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R2.10.30(金)	セミナー室	(第8回畜産研究所室長会議) 連絡・報告事項 (1)11月行事予定について (2)牛舎設計支援ネットワークへの参加について (3)次年度以降の研究と予算の在り方の検討について (4)防疫体制の強化について (5)公共施設個別施設計画に係る日常点検チェックシートについて (6)本監査の対応について 他
R2.11.27(金)	セミナー室	(第9回畜産研究所室長会議) 連絡・報告事項 (1)12月行事予定について (2)令和3年度当初予算要求(一般行政経費)結果について (3)年末年始の勤務の取扱いについて (4)年末年始期間に係る支出事務について 他
R2.12.18(金)	セミナー室	(第10回畜産研究所室長会議) 連絡・報告事項 (1)1月行事予定について (2)畜産研究所長表彰の実施について (3)労働災害等予防システムに係る運用状況について (4)職員の綱紀の保持について
R3.1.28(木)	セミナー室	(第11回畜産研究所室長会議) 連絡・報告事項 (1)2月行事予定について (2)畜産研究所改革改善発表会について (3)令和3年度当初予算主要経費に係る内報について (4)年次休暇取得状況(1~12月)について
R3.2.26(木)	セミナー室	(第12回畜産研究所室長会議) 連絡・報告事項 (1)3月行事予定について (2)畜産研究所長表彰式について (3)労働災害等予防システムに係る運用状況の確認結果について (4)年度末における物品購入等事務について
R3.3.17(水)	セミナー室	(第13回畜産研究所室長会議) 連絡・報告事項 (1)令和3年4月行事予定について (2)令和3年度職員体制について (3)退任式・離任式・対面式について

(5) 委員会等の運営

ア ほ場管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
R2.4.16	本部ほ場管理委員会	○委員及び業務分担について ○委員会開催予定について ○水利用状況について ○堆肥、残渣堆肥について ○全場一斉田植えについて ○作業安全について

イ 研究報告等企画編集委員会

(ア) 委員会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

(イ) 幹事会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

ウ 公開行事企画運営委員会

(ア) 委員会

開催月日	場所	内 容
R2.5.26	本部特別会議室	令和2年度一般公開デーの開催について
R2.7.21	本部特別会議室	令和2年度一般公開デーの実施計画について
R2.9.24	本部特別会議室	令和2年度農業研究センター一般公開デーの開催状況について
R3.3.18	本部特別会議室	令和3年度農業研究センター一般公開デーの開催について

(イ) 幹事会等

(本部関係)

開催月日	場所	内 容
R2.6.4	本部2階大会議室	(1) 令和2年度一般公開デーの開催について ア 新型コロナウイルス感染症感染防止対策を考慮した実施案について イ イベント等実施計画について (2) その他
R2.7.16	本部1階小会議室	(1) 令和2年度岩手県農業研究センター一般公開デーの開催計画について ア 令和2年度の一般公開デー開催計画について イ 各イベントの内容について ウ 協賛会出店申し込み状況について エ 参観デー準備・当日の動員計画について オ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
R2.7.31	本部1階中会議室	(1) 令和2年度岩手県農業研究センター一般公開デー イベント実施計画について (2) 今後のスケジュール(予定)について (3) 生物工学研究センター公開デーについて (4) その他

開催月日	場所	内 容
R2.8.20	本部1階中会議室	(1) 令和2年度岩手県農業研究センター参観デーの開催計画について(マニュアル等) (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他 ア 依頼事項の確認 イ 今後のスケジュール
R2.9.23	本部1階中会議室	(1) 一般公開デーの開催結果について (2) 次年度の開催について
R3.3.4	本部特別会議室	(1) 令和3年度一般公開デーの開催について (2) 令和3年度の研究成果発表会について

(畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

エ 特許審査委員会

開催月日	場所	内 容
R2.5.28	(書面協議)	(1) リンドウ品種「いわてDfG PB-1号(仮称)」の勤務発明審査について
R2.10.23	本部特別会議室	(1) 勤務発明「鳥害防止装置及び方法(仮称)」の勤務発明審査について
R3.1.14	(書面協議)	(1) リンドウ品種「いわてEB-3号」の勤務発明審査について

オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会

開催月日	場 所	内 容
R2.6.10	農業科学博物館	(1) 農業科学博物館入館者の状況について (2) 令和元年度事業報告について (3) 令和2年度事業計画について

カ 環境美化委員会

開催月日	場 所	内 容
R2.4.15	本部1階小会議室	(1) 令和元年度環境美化事業報告について (2) 令和2年度環境美化事業計画(案)について (3) その他

キ 職員衛生委員会

開催月日	場 所	内 容
R2.6.25	本部2階中会議室	(1) 令和元年度事業実績について (2) 令和2年度事業計画について (3) その他
R3.2.24	本部2階中会議室	(1) 令和2年度定期健康診断結果について (2) 令和2年度事業実施状況について (3) その他

ク 原種等生産管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
R2.5.28	E地区畑圃場	小麦原種・原原種ほ場検査(第1期)
R2.6.29	E地区畑圃場	小麦原種・原原種ほ場検査(第2期)
R2.7.28 R2.8.1 R2.8.11	軽米町) 県北研圃場、 紫波町現地圃場 E地区水田圃場	水稲原種・原原種ほ場検査(第1期)
R2.8.7 R2.8.18	E地区畑圃場	大豆原種・原原種ほ場検査(第1期)
R2.8.27 R2.9.1 R2.9.8	軽米町) 県北研圃場、 紫波町現地圃場 E地区水田圃場	水稲原種・原原種ほ場検査(第2期)
R2.9.3	1階小会議室	麦原種・原原種生産物検査
R2.10.9 R2.10.15	E地区畑圃場	大豆原種・原原種ほ場検査(第2期)
R3.3.4	2階第2小会議室	水稲原種・原原種生産物検査
R3.3.16	生産基盤研究部MT	【事務局員会議】原種等生産管理委員会
R3.3.18	特別会議室	原種等生産管理委員会 (1)各品目本年度生産・出荷実績、および次年度の生産計画と生産に係る課題について
R3.3.23	1階小会議室	大豆原種・原原種生産物検査

ケ 飼料生産委員会

開催月日	場 所	内 容
R2.4.10	畜産研究所小会議室	(1) 令和元年度粗飼料供給実績について (2) 令和2年度粗飼料要望数量と供給見込数量について (3) 収穫時の作業協力体制について

(6) その他会議

ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R2.6.18	書面議決方式で開催	全国農業関係試験研究場所長会総会 1 令和2年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 2 研究功労者表彰式

イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R2.6.18 ～8.24 (詳細右記)	新型コロナウイルス感染 拡大防止の観点から書 面で情報交換を実施	1 情報交換(書面で実施) 「各道県からの情報収集(6/18～7/10)」 (1) 公的試験研究機関の人材育成について (2) 道県独自の研究予算確保について (3) 新型コロナウイルスへの対応状況について 「各道県間での質疑応答(7/10～8/7)」 「各道県への質疑内容情報提供(8/24)」

ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R2.6	書面開催	1 協議 (1)令和元年度事業報告及び収支決算について (2)令和2年度事業計画及び収支予算について (3)令和2年度会費の額及び徴収方法について 2 畜産研究功労者表彰

エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
R2.9	書面開催	1 重点研究課題について 2 連携(共同)研究の実施状況について 3 連携(共同)研究の今後の希望について 4 意見交換会の企画案について 5 国・国研・独法に対する提案について 6 畜産研究功労者表彰候補者の推薦について 7 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について 8 次期役員及び次回開催地(案)について

オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議

開催月日	場 所	内 容
R2.8.25	盛岡市 (県庁)	第1回防除指針作成会議(農業普及技術課主催) ・作成に係る基本方針の周知等
R2.10.28～29	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催) ・防除指針の原案及び要望事項の検討
R2.12.22～23	北上市 (農業研究センター)	令和3年度県防除指針の改正内容について(病害虫防除所主催) ・チェック結果の検討
R3.2.2	盛岡市 (県庁)	第2回防除指針作成会議(農業普及技術課主催) ・防除指針(案)の決定

カ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
【作物生産推進部会】		
R2.8.31	盛岡市 (東北農研)	○東北地域麦品種・系統検討会 1 情勢報告 2 各県の麦作概況 3 麦類の検討 4 冬作研究に関する情報交換
R3.1.20～25	メール会議	○稲品種検討会 1 成果情報の検討及び「最新農業技術・品種202X」候補の選定 2 新品種及び品種候補系統の概要紹介 3 品種の作付動向と要望される品種 4 配付系統の試作結果と配付計画の検討 5 水稻品種・育種に係る技術的課題の提案と検討 6 特性比較連絡試験の検討
R3.1.26～27	盛岡市 (アイーナ)	○稲栽培研究会 1 研究会テーマ「スマート農業技術を活用した水稻栽培」研究紹介等、総合討議 2 研究成果情報候補課題の検討 3 技術適課題の検討 4 重点検討事項「アフターコロナの農業技術研究と普及」の検討

開催月日	場 所	内 容
【作物生産推進部会】(続き)		
R3.1.26	盛岡市 (アイーナ)	○ 直播研究会 「湛水直播栽培における出芽・苗立ち確保のための種子コーティング技術の開発、実証」 1 鉄コーティング直播栽培の普及状況と取り組みについて 2 ベンモリ直播栽培の栽培技術と普及実証について 3 鉄黒コート直播栽培・新技術の開発と普及実証について 4 総合討論
R3.1.27	盛岡市 (アイーナ) オンライン併用	○ 作物生産推進部会 本会議 1 検討会・研究会報告 2 「最新農業技術・品種2022」候補の選定 3 技術的課題の検討 4 重点検討事項「アフターコロナにおける東北水田農業の展望と今後の課題」 5 次年度重点検討事項および 共同研究課題の提案
R3.1.19～26	メール会議	○ 畑作物栽培研究会 1 行政部局からの情報提供 2 検討会「東北地域における作期拡大に向けたダイズ極晩播栽培の取組について」 (1)話題提供「ダイズ極晩播栽培における生産性について」 (2)ダイズ極晩播栽培に関する情報交換 (3)栽培状況と研究実施状況 3 研究成果情報候補等の検討 4 今後の検討事項の素材案について 5 畑作物の雑草防除に関する情報交換会
R3.1.19～26	メール会議	○ 畑作物品種検討会 1 研究成果情報候補(畑作物品種関係)の検討 2 「最新農業技術・品種2022」候補の選定 3 技術的課題(現場ニーズ)の検討 4 畑作物の品種・系統の検討 (1)畑作物の奨励品種の改廃・採用予定、有望品種 (2)大豆の有望品種・系統(育成地)、配付計画 (3)大豆の配布計画
R3.1.26～27	盛岡市 (アイーナ)	○ 農業経営研究会 1 重点検討事項「アフターコロナの農業技術研究と普及」 ・人の疲労と疲労計測について ・スマート農業技術に対する疲労軽減効果の把握手法の検討 2 令和2年度研究成果情報候補の検討 3 現場段階での重要な技術的課題の検討 4 次年度重点検討事項および共同研究課題の提案 5 各県の主要研究課題の検討
R3.1.26～27	盛岡市 (アイーナ) リモート	○ 作業技術研究会 1 重点検討事項「東北地域におけるスマート農業加速化事業の取組」 (1)津軽半島北部における自動水管理装置による冷害回避のための水管理技術の実証 (2)秋田県におけるスマート農業実証プロジェクトの取組 (3)岩手県におけるスマート農業実証プロジェクトの取組 2 各県及び東北農研からの話題提供 3 総合討論 4 研究成果情報の検討・確認 5 「最新農業技術・品種2022」候補の選定 6 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 7 令和3年度作業技術検討会(夏期)についての意見交換 8 各県の研究課題の概要の紹介

開催月日	場 所	内 容
【作物生産推進部会】(続き)		
R3.1.26	盛岡市 (アイーナ)	○流通加工研究会 1 情勢報告 2 重要検討事項「コロナ時代の流通加工研究」 「チルド米飯ニーズと加工製造ニーズに即応する超多収低アミロース米系統の早期育成」 3 令和2年度成果情報の検討 4 「最新農業技術・品種2022」候補の選定 5 現場段階での重要な技術的課題の検討 6 研究トピックの紹介
【生産環境推進部会】		
R3.1.21～22	オンライン開催	○土壌肥料研究会 1 重点検討事項「東北地域におけるアフターコロナ・ウイズコロナ農業に対応した技術開発に土壌肥料分野が果たす役割」 講演「土壌ICT開発コンソーシアム-土壌情報の集積と活用の高度化を目指して-」 農研機構農業環境変動研究センター環境情報基盤研究領域 土壌資源評価ユニット長 久保寺秀夫 氏 2 令和2年度研究成果情報の検討および関連技術・研究に関する情報交換 3 「最新農業技術・品種2022」候補の選定
R3.1.21	オンライン開催	○病害虫研究会(病害分科会・虫害分科会合同) 1 重点検討事項の検討「アフターコロナ・ウイズコロナ農業に対応した病害虫防除技術」について 2 令和2年度試験研究成果情報の検討 3 令和2年度新規課題、令和元年度主要課題成績の検討
R3.1.21	オンライン開催	○農業気象研究会 1 重要検討事項 アフターコロナ・ウイズコロナ農業に対応した気象データの有効活用について 2 研究成果情報候補の検討 3 試験研究成績の検討
R3.1.22	オンライン開催	○生産環境推進部会 本会議 1 重点検討事項 「アフターコロナ・ウイズコロナ農業に対応した東北地域生産環境分野の技術開発の方向」 2 研究成果情報の検討結果の報告 3 「最新農業技術・品種2022」候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の検討
【畜産飼料作推進部会】		
R3.1.26～2.2	メール開催	○畜産飼料作推進部会 本会議 1 重点検討事項 新型コロナウイルス感染拡大下の農業現場で生じている営農上の課題 2 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 3 主要成果の紹介および最新農業技術・品種202X候補の選定 4 令和2年度主要新規試験計画の検討
【野菜花き推進部会】		
R3.1.28～29	オンライン開催	○野菜花き推進部会 本会議 1 重点検討事項(野菜花き共通) 野菜・花きにおけるアフターコロナの農業技術研究と普及に関する研究開発の方向 2 成果情報候補の検討結果の報告 3 「最新農業技術・品種2022」候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の検討

開催月日	場 所	内 容
【野菜花き推進部会】(続き)		
R3.2.24	オンライン開催	第1回東北地域施設園芸オンラインセミナー 土壌水分率センサの留意点と活用事例の紹介 講師:藤尾 拓也(岩手農研)
R3.3.18	オンライン開催	第2回東北地域施設園芸オンラインセミナー 宮城県の栽培支援ツールについて 講師:神崎 正明 氏(宮城県農業・園芸総合研究所)
R3.1.28~29	オンライン開催	○野菜花き推進部会 本会議 1 重点検討事項(野菜花き共通) 野菜・花きにおけるアフターコロナの農業技術研究と普及に関する研究開発の方向 2 成果情報候補の検討結果の報告 3 「最新農業技術・品種2022」候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の検討
【果樹推進部会】		
R3.1.29	盛岡市 (サンセール盛岡)	○果樹推進部会 1 重点検討事項:「アフターコロナの農業技術研究と普及」 講演(話題提供):「アフターコロナの農業技術研究と普及について」 2 令和2年度研究成果情報の検討 3 現場段階での重要な技術的課題 4 新規課題の紹介 5 「最新農業技術・品種2022」候補の選定 6 その他(総合討論)
【研究戦略会議】		
R元.10.28	仙台市 (仙台合同庁舎)	出席者:企画管理部長 1 スマート農業推進総合パッケージ、令和3年度予算概算要求の概要説明 2 農研機構の普及活動について 3 戦略目標(重点検討事項)に係る検討「アフターコロナの農業技術研究と普及」 4 「国の施策で対応すべき技術的課題」の候補選定 5 「最新農業技術・品種2021」の候補選定 6 「最新農業技術・品種200X」の追跡調査
【本会議】		
R3.2.18	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 推進部会報告 2 重点検討事項の検討 テーマ:アフターコロナの農業技術研究 3 その他

キ 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
R2.11.5	オンライン開催 (委員長 菊池所長 事務局 畜産研究所)	第113回日本養豚学会大会 公開シンポジウム:AI、IOTなど最新機器を活用した養豚経営

II 試験研究の推進

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要

岩手県では、平成31年から令和10年度までの10年間の計画となる「いわて県民計画」を平成31年2月に策定した。

この「いわて県民計画」に基づき、農林水産部では、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として「『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針」(以下「技術開発基本方針」という。)を策定した(令和2年3月)。

農業研究センターでは、技術開発基本方針に基づき、令和5年度までに取り組む具体的なアクションプラン「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した(令和2年3月、研究期間を令和5年度までとして策定)。

技術開発基本方針の5つの農業技術開発の方向に即し、15分野43の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的・安定的に生産するための高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

令和2年度の試験研究にあたっては、以下の3つの基本方針に沿って、新規11、継続86、合計97(小課題数ベースで、分野を重複する小課題はカウントしている)の研究課題に取り組んだ。

1 県民視点の試験研究等業務の推進

- ・所得向上につながる普及性の高い技術開発
- ・産地づくりをリードする革新的な技術開発など

2 スピーディーな課題解決

- ・課題設定から普及定着まで、研究、行政、普及、地域が一体的に推進
- ・連携軸強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発

3 業務の「見える化」の推進

- ・知的財産の実用化促進
- ・研究成果活用・PR強化

平成23年3月11日に発生した東日本大震災等への対応として設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」を「震災復興加速プロジェクトチーム」に、さらに後継の先端技術展開事業を受け「先端技術実装・実証加速プロジェクトチーム」(平成30年6月25日～令和3年3月31日)に改編し、沿岸地域における復興に向けた技術的、経営的ニーズへの積極的対応、実証試験を通じた技術の導入・開発に取り組んだ。

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産・園芸部門で43課題(うち新規6課題)、畜産部門で10課題(うち新規0課題)、合計53課題の共同研究に取り組んだ。中でも、農林水産技術会議の「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の「社会実装促進業務委託事業」、「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」並びに「きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究」の3課題については代表機関として取り組んだ。

畜産分野では、黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期間を含めた飼料給与体系の確立、転作田におけるフェストロリウムの適応性確認や泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術開発などに取り組んだ。

知的財産では、鉢物用りんどう「Bzc-1」、同「いわて DfG PB-1 号」、いちご「夏のしずく(盛岡 37 号)」を品種登録出願した(「夏のしずく」は農研機構東北農業研究センターとの共同出願)。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部(試験研究推進アドバイザー・生産者等)の評価を経て、64の研究成果(普及区分5、指導区分40、行政区分9、研究区分10)にとりまとめ公表した。

機関評価委員会「視察・懇談会」を9月14日に本部を会場として開催し、当センターに対する理解を深めていただき、今後における円滑な機関評価の実施につなげることを目的に当センターの研究実施状況等について視察、意見交換を行った。

2 トピックス

(1) 特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
特許	(該当なし)	—
種苗登録	りんどう Bzc-1 【出願番号 34732、登録出願 2020/6/4】 ・9月上旬咲きの鉢物用青花品種 同 いわて DfG PB-1 号 【出願番号 35011、登録出願 2020/10/15】 ・9月中旬咲きの鉢物用八重咲き・青花品種	園芸技術研究部 花き研究室
	いちご 夏のしずく(盛岡 37 号) 【出願番号 35039、登録出願 2020/11/5】 ・夏秋どり栽培に適する四季成り性品種	園芸技術研究部 南部園芸研究室 【東北イチゴ共同育種:農研機構東北農研センター、岩手県共同出願】

(2) 表彰等受賞状況

ア 令和 2 年度農林水産部長職員表彰

園芸技術研究部 小澤傑専門研究員・内藤善美室長・小田島雅主査専門研究員・佐々木忍主査専門研究員、生産環境研究部 阿部弘主査専門研究員は、今までにない新奇性の高い形質を持つ、「鉢花向け八重咲きりんどう「いわて DfG PB-1 号の育成」」により、今後の品種育成の可能性を広げ、生産者の意欲向上に貢献したとして表彰された(令和 2 年 11 月 13 日)。

種山畜産研究室は気高系高能力種雄牛「飛良智」号を選抜し、県内繁殖農家及び肥育農家双方の経営安定に大きく貢献したとして表彰された(令和 2 年 11 月 13 日)。

外山畜産研究室は、BLE 通信技術を用いた「牛群管理アプリ」を開発し、これまで 1 頭ずつ近距離で行わなくてはならなかった放牧牛の確認作業を遠距離からまとめて行うことを可能とすることで、個体確認作業の省力化に大きく貢献したとして表彰された(令和 3 年 3 月 26 日)。

イ 第 13 回北日本病害虫研究会賞(研究報文部門)

生産環境研究部病理昆虫研究室 岩館康哉主査専門研究員と佐々木陽菜技師(令和 2 年 4 月久慈農業改良普及センターに異動)は、「北日本病害虫研究会報第 70 号」で発表した報文「ナス果実の小陥没症と推定される発生要因の検討」で、ナス果実小陥没症の原因を示唆するとともに、抑制方法を明らかにしたことが高く評価され、表彰された(令和 3 年 2 月 18 日)。

ウ 令和 2 年度東北農業試験研究協議会論文賞

令和元年度より制定されたもので、「東北農業研究第 73 号」に掲載された論文のうち、以下の 3 名が論文賞を受賞した(令和 3 年 2 月 25 日)。

所属・職・氏名	部会名	論文名
企画管理部 農業経営研究室 技師 小向 昌啓 他 2 名	経営	岩手県の水田作経営における春まきタマネギ導入モデル — 整数計画法による分析 —

エ 令和 2 年度 東北土壌肥料協議会「藤原彰夫研究奨励賞」

農業普及技術課 葉上恒寿主査農業普及員(前 生産環境研究部土壌肥料研究室)は、鉄コーティング湛水直播栽培において、収量・品質の確保と一層のコスト低減を両立可能な専用肥料を開発して市販化につなげ、省力・安定栽培の実現に貢献したこと、また、これまでの水稻の施肥改善や栄養診断などの研究業績から、今後の活動が期待される研究者として高く評価され、表彰された(令和 2 年 6 月 15 日)。

(3)連携プロジェクトによる研究推進

ア 連携プロジェクト**

(**多岐の研究部門にまたがる研究課題を短期間に、効率よく解決するために編成するプロジェクト)

(ア)プロジェクト名及び構成

分野	プロジェクト名	研究内容	チーム員	協力
個別課題解決	りんご JM7 台木利用樹衰弱症状対策プロジェクト [H29～]	◎りんご JM7 台木利用樹衰弱症状に係る試験研究	園芸技術研究部 生産環境研究部	・(公財)岩手生物工学研究センター ・(一社)岩手県植物防疫協会 ・(国研)農研機構果樹茶業研究部門 ・農業普及技術課革新支援担当班(農研センター駐在) ・奥州農業改良普及センター ・一関農業改良普及センター ・病害虫防除所
	先端技術実装・実証加速プロジェクト [H30～R2]	◎展示圃の設置運営及び研修会の開催、普及組織・行政機関との連携(社会実装) ◎復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化(実証研究) ◎きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系(実証研究)	企画管理部 生産基盤研究部 園芸技術研究部 生産環境研究部	・農業普及技術課農業革新支援担当

(イ)取組概要

名称	検討内容	検討結果
りんご JM7 台木利用樹衰弱症状対策	りんごのわい性台木 JM7 を使用した樹における急性衰弱・枯死症状の発生原因を解明するため、連携プロジェクトを設置。生工研、農研機構との連携を図る。 ○第1回プロジェクトチーム会議(R2.7.17)	○第1回プロジェクトチーム会議 令和元年度試験成績および令和2年度試験計画の確認。 「委託プロジェクト研究現場ニーズプロ」の県内版キックオフミーティングも併催。
先端技術実装・実証加速	復興に向けた現地の農業振興における技術的・経営的ニーズに対応し、新たな実証試験を通じた技術の導入・開発と、その成果について沿岸地域への波及を図り、復興を加速するための取り組みを進める。 ○第1回チーム会議(R2.6.30～7.3) ○第2回チーム会議(R2.9.30～10.2) ○第3回チーム会議(R2.12.24～25)	○第1回チーム会議 令和元年度試験成績および令和2年度試験計画の確認。 ○第2回チーム会議 令和2年度社会実装委託事業第2四半期までの進捗状況及び実績見込の確認。 ○第3回チーム会議 同第3四半期までの進捗状況及び実績見込の確認。

3 研究室・課の動き

(1) 企画管理部

研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

<顧客視点の試験研究の推進>

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、農業普及技術課農業革新支援担当との作物別連携会議や現地検討会などを通じて顧客である農業者等のニーズの把握に努めた。

試験研究推進に際しては、研究課題の収集や試験研究推進アドバイザーを研究会議等に参集し、顧客目線での助言を得ながら課題設定や成果の取りまとめを行った。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価委員会を9月14日に本部を会場として開催し、当センターに対する理解を深めていただき、今後における円滑な機関評価の実施につなげることを目的に当センターの研究実施状況等について視察、意見交換を行った。

平成30年度から実施している食料生産地域再生のための先端技術展開事業を適正に執行するため、職員に対して研究資金等の事務手続きや経理事務研修を行った。

競争的研究資金等への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、農業改良普及センターや県庁関係課との事前調整を行った。

<アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信>

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。マスコミでの報道件数は、69件(前年22件)であった。ホームページは、年間65回の更新を行い、また、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らぼ・れたあ」をメールやホームページにより年間51件(前年49件)発信した。さらに、Twitterによる情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数388回、フォロワー増加数386名、同じくFacebookでは投稿数245回、フォロワー増加数85名であった。

センターの取組を広く知らせるため、新型コロナウイルス対策を講じたうえで9月5日に一般公開デーを開催し、来場者数は約700人であった。

<専門知識と技術を有する人材育成>

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員育成プログラム」(平成19年3月策定、平成27年3月改定)に基づき、専門性の高い人材の育成に向け、各種研修等への参加を誘導した。

予算管理面では、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

農業経営研究室

「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、収益力の高い農業経営体の育成に向け、農業構造・経営管理分野の研究について、以下のとおり取り組んだ。

<収益性の高い農業経営モデルの提示>

「雇用型園芸経営における作業工程管理の提示」では、作業データに基づく工程管理に取り組む雇用型園芸経営の実態調査等から、工程管理のポイントを提示した(研究成果:指導区分 雇用型園芸経営の取組実態からみた工程管理のポイント)。

「集落営農組織における園芸作導入条件の解明」では、園芸部門の損益が黒字であり、取組状況が良好である集落営農法人の調査等から、園芸作の導入・定着条件及び支援方策を提示した(研究成果:指導区分 集落営農組織における園芸作の導入・定着条件及び支援方策)。

「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」のうち、「生育管理支援システムの導入実証」では、システムの導入実証及び先進事例調査の結果から、的確かつ効率的な農作業・経営管理のための、生産管理支援システムの導入・活用のポイントを提示した(研究成果:指導区分 大規模経営における生産管理支援システムの導入・活用のポイント)。「実証技術の経営評価」では、地力ムラ改善技術、乾田直播栽培技術、圃場水管理システム等、各実証技術の費用対効果、経済性等を検討するとともに、総合実証を踏まえ、実証経営体における水稲所得が技術導入

前に比較して37%向上する「水稻先端技術導入経営モデル」を提示した。

<経営意思決定支援情報の提供>

「農業技術体系データの整備・拡充」では、水稻、畑作物、野菜、果樹、花き、工芸作物、畜産等、合計107体系からなる生産技術体系データ(2020年版)を提供した(研究成果:行政区分 生産技術体系データ(2020年版))。また、スマート農業実証プロジェクトによる実証を踏まえ、実証経営体におけるスマート農業技術の導入効果等を提供した。

(2)生産基盤研究部

水田利用研究室

水稻・畑作物(麦類・大豆)の奨励品種決定調査、麦・大豆の作柄解析麦・大豆の原種・原々種生産等に取り組んでいる。また、農村整備分野の遠隔自動給排水システム・地下かんがいシステムの実証試験に取り組んでいる。

<水稻品種>

水稻の奨励品種決定調査では、本調査において粳6系統を供試し、現地調査では粳を13か所で検討した(試験研究成果書-行政)。

<麦類>

麦類奨励品種決定調査では、小麦1系統、大麦3系統を供試した。

ナンブコムギに縞萎縮病抵抗性を付与した系統の育成のため、東北農業研究センターとの共同研究で、縞萎縮病に強い個体を場内にて供試した。

縞萎縮病に強く単収性が高い日本麦用品種「ナンブキラリ」について、播種量及び追肥時期・量試験に取り組んでいる。

<大豆>

大豆奨励品種決定調査では、普通大豆3系統を供試した。

また、令和2年7月の大雨による大豆の浸水・冠水被害について、「令和2年7月下旬の一閑遊水地における大豆浸水・冠水被害の実態」として取りまとめた。(研究成果-指導)

岩手県における大豆の生育予測について、「大豆品種「ナンブシロメ」の生育予測パラメータ」として、日長と気温を考慮して開花期・成熟期を予測するパラメータを作成した(研究成果-研究)。

<種子生産>

小麦は原種3品種を9.7t、原原種を0.3t生産した。大豆は原種2品種を2.4t、原原種1品種を0.9kg生産した。

<食料生産地域再生のための先端技術展開事業(先端プロ実証研究)>

「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」のうち、難防除雑草コウキヤガラ の蔓延防止対策実証については、有効成分を含む除草剤での体系処理により発生を抑えることができることを明らかにした。(研究成果-指導)

遠隔自動給水栓の実証については、遠隔自動給水栓の利用により水管理作業時間が7割程度削減され、用水の供給量にも削減効果がみられることを明らかにした(研究成果-指導)。

<地下かんがいシステムの利用技術>

既設暗渠で施工が可能な地下かんがいシステムについて、水稻乾田直播の苗立ち期に地下かんがいをを行い、給排水能や管理のしやすさ、生育への効果を調査した。

生産システム研究室

水田農業の担い手である大規模経営体や集落営農等の意欲と能力のある農業経営体を支援し、その収益性・所得の向上や将来を見据えた地域営農の確立に寄与する「生産性の高い水田農業技術(水稻栽培、作業技術等)、及びAIやICT等の先端技術を活用した高度化するスマート農業技術」の技術開発に取り組んだ。なお、継続的に実施している水稻作柄解析、及び、水稻原種・原原種生産も実施し、農業生産の安定に直結する優良な原種等の正確かつ安定的な供給に取り組んだ。

また、園芸分野についても、中核的な経営体が周年雇用により規模拡大を図れる生産性の高い技術や、園芸施設におけるICTを活用した省力的環境制御技術、スマート農業加速化実証プロジェクト等、園芸分野のスマート農業化の推進に向けた革新技術の開発に向け関連産業と連携して取り組んだ。

業務推進にあたっては、本県の地域特性に合致した技術の現地実証試験や、普及組織等のビジネスパートナー及び所内

他部等との目的の共有化と密接な連携によって、顧客ニーズに即した現場解決型技術の体系化を図った。

<水稲栽培・種子生産>

作況調査・作柄解析については、所内の作況試験データ(本部および県北農業研究所)・現地生育データ(農業改良普及センター)・気象データ(盛岡地方気象台)・土壤栄養(土壤肥料研究室)・病虫害(病理昆虫研究室、病虫害防除所)・作柄(東北農政局)・品質情報(同)を総合的に解析し、次年度以降の技術対策指導に供した。

また、7月末大雨による一関遊水地水稲冠水被害の実態を調査し、収量・品質への影響を解析し技術対策指導に供した。水稲種子生産(主要品種)では、原々種はうるち5品種、もち1品種、原種はうるち7品種、もち2品種約19tを生産した。

<食料生産地域再生のための先端技術展開事業(先端プロ実証研究)>

「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」において代表機関として参画し、耕盤均平ロータリ耕技術、ドローン活用鳥害防止、乾田直播等スマート農業技術に重点的に取り組み、実証研究全体で事業目標を達成した。

以下、令和2年度の研究成果タイトル(生産システム研究室主査分)

- 区分:普及 岩手県における水稲高密度播種苗移植栽培法
- 区分:普及 複合制御盤 FARMATE の開発と導入効果
- 区分:普及 低コストで耐久性の高い環境計測装置の開発
- 区分:指導 レーザ制御ロータリ耕起による耕盤均平技術の効果
- 区分:指導 高速高精度汎用播種機の水稲乾田直播栽培における作業性能
- 区分:指導 水稲品種「金色の風」の生育予測パラメータ
- 区分:指導 ウミネコおよびスズメに対する無人航空機(ドローン)の防除効果
- 区分:指導 令和2年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析
- 区分:指導 令和2年7月下旬の一関遊水地における水稲冠水被害の実態

作物育種研究室

<水稲育種>

いわてブランド米品種開発推進事業に取り組んでいる。生産力検定本試験から、生育・収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手144号」(「きらほ」熟期の多収で米飯表面の粘りが弱いチルド米飯用低アミロース米系統)、「岩手145号」(「いわてっこ」熟期の耐倒伏性に優れ、大粒、良質良食味多収のやや低アミロース系統)、「岩手146号」(「ひとめぼれ」熟期のいもち病圃場抵抗性が強い良質良食味多収系統)を選抜した(研究成果-行政)。

平成31(令和元)年度に開始した「新たな価値を創造する水稲育種基盤強化事業」においては、隣接する(公財)岩手生物工学研究センターと連携してゲノム解析技術と独自の遺伝子資源の活用により、急務となっているスマート農業に適応した品種、中食・外食ニーズに対応した品種等の新たな価値を持つ育種素材の充実化に取り組んでいる。

<水稲の収量等の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とゲノム育種による超多収系統の育成>

平成30年度から(公財)岩手生物工学研究センターなどと連携して取り組んだ本課題の中で、収量性関与遺伝子を集積した系統を育成し、今年度課題を終了した。

<チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミロース米系統の早期育成>

今年度イノベーション創出強化研究推進事業応用研究ステージに採択された本課題において、当研究室の研究員が研究代表者として研究推進にあたっている。本課題では水稲籾非破壊分析法とゲノム育種を統合した水稲の高速成分育種法により、超多収低アミロース米の育成に取り組むと同時に、農芸化学や食品加工部門の研究者及び流通加工業者と連携し、社会実装を見据えた研究成果創出に取り組んでいる。

(3)園芸技術研究部

果樹研究室

りんごを主体に、ぶどう、西洋なし、おうとう、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、その中でも9月下旬~10月上旬に収穫できる優良中生品種の開発を重点課題としている。また、温暖化によるリスクの解消、軽減を図るため、凍霜害、裂果等のリスク対策の開発に努めると共に、果樹作業の軽労化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

加えて、東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開

研究」のうち社会実装事業を導入し、実証研究から得られた成果「醸造ブドウの省力垣根栽培技術」の普及に取り組んだ。また、陸前高田市の実証圃場を活用し、いわてワイン生産アカデミー等への情報提供を行った。

以上の取り組みから、今年度は以下の3つの研究成果を公表した。

- (1) 耐寒性が強く、ワイン品質が優れる、赤ワイン向け醸造専用ぶどう品種「アルモノワール」(普及)
- (2) りんご「大夢」の正品率向上のための摘果強度(指導)
- (3) りんご「紅いわて(岩手7号)」の1-MCP剤(スマートフレッシュ™)処理による鮮度保持効果(指導)

野菜研究室

野菜研究室では、“岩手県野菜生産振興計画”を踏まえ、本県の気象条件を活用した施設栽培作型、収量の安定向上対策や環境制御技術など、単収の向上、作業の効率化等を図るための栽培法の開発、さらに本県の水田農業に導入可能な土地利用型野菜について、機械化体系に適応可能な栽培技術の開発や高収益が期待できる新規品目の探索に係関係機関・団体と連携して取り組んだ。

<食料生産地域再生のための先端技術展開事業(現地実証研究)>

「きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究」において、キュウリ栽培における環境制御技術の確立並びに夏秋どり栽培での高温障害果発生の原因解明と効果的な対策技術の確立に重点的に取り組んだ。

以上の取組から今年度は以下の研究成果を公表した。また、本年度は先端プロ事業の取組をまとめた栽培マニュアル等を作成した。

- (1) きゅうり先端肥大症軽減を目的とした鮮度保持フィルム「FHフィルム」の効果的使用方法(普及)
- (2) 小規模パイプハウスを想定したきゅうりの環境制御機器導入効果(指導)
- (3) ガス組成によるきゅうり先端肥大症発症抑止作用(研究)
- (4) きゅうり小規模施設における最小限の環境制御技術導入の手引き
- (5) フケ果対策マニュアル

花き研究室

花きは、日本一の生産量を誇るりんどうに重点をおき、新品種の育成、種苗の安定生産・供給及び安定生産技術の開発に取り組んだ。

新品種の育成については、切り花向け品種は8月盆および9月彼岸の需要期に切れ目ない出荷を可能とする青色系品種のラインナップを揃えるため、複数品種の育成に取り組んでいる。品質が低下している既存品種を花色、花型、草姿などの品質が優れた品種に置き換えていくため、本年度も有望なF₁系統の特性検定を実施した。また、鉢花向け品種は、令和元年度に成果公表した新奇性の高い青色系八重咲き品種「いわて DfG PB-1 号」に続く、桃色系、白色系の有望系統をはじめ、重イオンビーム照射により得られた一重咲きの濃桃色系「Bzc-1_mut-1」等の特性検定を実施した。

種苗の安定生産・供給については、これまでに育成した県品種の親系統の維持や岩手県農産物改良種苗センターへの供給等に取り組んだ。本年度は、切り花用 F₁ 品種の親系統や鉢花用品種の種苗生産に必要となる培養苗を種苗センターに計画どおり供給するとともに、採種技術等について指導を行った。

栽培技術の開発については、育成品種の生態的特性や株養成技術等について検討した。

加えて、今年度からイノベーション創出強化研究推進事業「りんどうの開花制御基盤技術の開発」(R2~4)において、(公財)岩手生物工学研究センターと連携し、日長に应答して花芽分化する系統を利用した開花調節技術の開発に取り組んでいる。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・りんどう極早生品種「いわて夢あおい」1年生株へのジベレリン処理時期が形態形成および生育に与える影響(研究)

南部園芸研究室

南部園芸研究室では平成23年3月11日に発生した震災により研究施設等が全壊・流失したが平成26年1月6日に再建し、陸前高田市で業務を再開した。夏季冷涼、冬季温暖な気象特性を活かした園芸産地の育成と被災した沿岸地域の農業復興を支援する技術拠点として、地域に密着した研究と技術指導を実施している。

イチゴの品種比較試験については、東北農業研究センターと共同で実施しているものとして、夏秋どり作型に適した四季成り性系統や、露地・半促成栽培に適した一季成り性系統の選定を行なっている。各系統の特性を明らかにするとともに、四季成り性系統の中から収量性の高い夏のしずく(盛岡37号)が品種登録出願された。また、促成栽培については既存品種から収量性に優れ、省力性の高い品種を選定し、その特性の把握を行った。

いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改善については、前作の残肥がある場合の施肥方法と追肥方法について葉柄硝酸イオン濃度や追肥の作業時間を継続的に調査し、省力的で効果的な管理方法等について検討した。また、貯水槽に溶け出した肥料養分を均一化する方法についても検討を行った。

四季成り性いちご品種の2年栽培技術の確立については、効率の高い高温対策についての検討を行ったが、8月に花房の連続発生による芯止まりや草勢低下が発生し、日長が長い時期の電照長日処理は過剰な花房発生の要因になるという新たな課題が明らかになった。せて、先端プロ社会実装において、「なつあかりの長期栽培」の横展開のために、関心のあるいちご栽培者を個別巡回し栽培技術の支援や長期栽培のPRを行った。

ICTを核とした施設野菜の高度化技術の確立については、先端プロ実証研究において「きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究」に取り組み、高断熱保温資材による保温技術と必要最小限の環境制御機器(自動換気、内張被覆、二酸化炭素施用、ミスト導入等)による増収効果の検討を行った。

(4) 生産環境研究部

土壌肥料研究室

土壌肥料研究室では、①土壌養分の蓄積及び不足に対応した効率的な施肥管理技術の開発、②有機物及び未利用資源を有効活用するための技術開発、③高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立、④農産物の安全性を確保するための栽培管理手法の開発を柱とした研究課題に取り組んでいる。

令和2年度は、土壌養分の蓄積に対応した効率的な施肥管理技術の開発として、土壌蓄積養分の簡易な評価手法のマニュアルを作成・公開した。一方、新たな土壌養分不足として水田土壌中の可給態硫黄欠乏の疑いが示唆され、簡易評価法や資材施用試験を実施した。

有機物および未利用資を有効活用するための技術開発では、水田および露地野菜畑における有機物連用試験において、補給型施肥を継続した際の収量や土壌養分の変化、稲わらからのカリの溶出特性や水田土壌への移行について明らかにした。また、大豆や小麦連作圃場への有機物供給減として緑肥導入する際の特徴や大豆栽培への効果を明らかにした。

高品質な農産物の安定生産供給のための肥培管理技術としては、復旧農地における水稻生育ムラ解消策としてドローンによるセンシングと可変追肥の実証し、一連の流れや効果を明らかにした。また、りんご栽培において果実品質と窒素施肥量の関係を整理した。

このほか、水田転換畑における春まきたまねぎの施肥試験、県内の土壌モニタリング調査を実施した。また、玄米中の無機ヒ素濃度低減のプロジェクト研究、AI(人工知能)を活用した土壌分類支援技術開発等のイノベーション創出強化研究推進事業へ参画して試験を実施した。

以下、令和2年度の研究成果

- 区分:指導 補給型施肥による収量および土壌化学性お経年変化(水田)
- 区分:指導 水田における稲わらからのカリ溶出と土壌中へのカリ供給効果
- 区分:指導 水稻栽培に対する可変追肥技術の特徴
- 区分:指導 マイクロ波抽出と簡易測定キットによる土壌蓄積養分の簡易評価手法(追肥)～リン酸・カリ減肥の判定～
- 区分:指導 大豆・麦栽培で想定される緑肥作物の特性
- 区分:指導 大豆栽培における緑肥作物の効果
- 区分:指導 りんご「ふじ」の成木における果実品質を考慮した窒素施肥
- 区分:指導 補給型施肥による土壌化学性および収量の経年変化(露地野菜)

病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産を目指した病害虫制御技術を確立するため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病害虫防除技術、生物的防除など環境にやさしい病害虫防除技術及び病害虫総合管理技術(IPM)の開発に取り組んでいる。

令和2年度は、ダイズ紫斑病の薬剤耐性菌の簡易検定手法及び防除体系の確立、なす産地で問題となっている果実小陥没症の発生要因解明と対策技術の確立、りんご園地における土着天敵を活用したハダニ類の発生抑制、キャベツにおける薬剤抵抗性害虫に対応できる新たな防除体系の確立などに係る調査・試験を実施した。

また、国のプロジェクト研究やイノベーション創出強化研究推進事業による、AI(人工知能)を活用した病害虫の診断や病害発生予測に係る共同研究や、新農薬の効果検定、無人マルチローター(ドローン)による防除効果の確認を実施した。

以下、令和2年度公表の研究成果

- 区分:指導 リンドウ黒斑病に対する数種殺菌剤の防除効果(タイムリーな試験研究成果として公表)
- 区分:指導 水稻出穂期以降のアカスジカスミカメ防除対策(追補2)

区分:指導	無人マルチローター(ドローン)による薬剤散布特性の把握(追補)
区分:指導	土着天敵保護を目的に下草の高刈りを実施するりんご園地に生息するカブリダニ類
区分:指導	りんご園地における土着カブリダニ類保護のための下草管理
区分:指導	土着カブリダニ類保護体系を実施するりんご園地におけるリンゴワタムシの防除対策
区分:指導	ナス果実小陥没症の発生原因と感受性の品種間差異
区分:指導	レタス根腐病(レース2)の耕種的な被害軽減対策
区分:研究	JM7 台利用樹衰弱症状の診断方法

(5) 病害虫防除部

病害虫防除課

<病害虫発生予察>

水稻、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察等の調査を行い、定期情報7回、注意情報9回、特殊情報3回に加え、防除速報(15回)を発行した。これらの情報については、印刷物のほか、電子メールでの配信や、いわてアグリベンチャーネットへの掲載、マスコミ活用等により、関係機関・団体、共同防除組織等に提供した。

情報の種類		発行回数	内 容
発生予察情報	定期情報	7	月1回 : 3~8月、11月
	注意報	9 (前年比6増)	水稻: 細菌病類・いもち病(穂)・斑点米カメムシ類、 りんご: 黒星病・褐斑病・斑点落葉病・果樹カメムシ、 きゅうり: 褐斑病及び炭疽病、 ねぎ: ネギハモグリバエ及びネギアザミウマ
	警 報	0	
	特 殊 報	3 (前年比1増)	ねぎ: ネギハモグリバエ新系統・リゾクトニア葉鞘腐敗病、 ー: ツマジロクサヨトウ
病害虫防除速報	—	15 (前年比4増)	・ 水稻(6回): 斑点米カメムシ類(3回)・ いもち病(3回、取置苗・葉いもち・穂いもち) ・ 小麦(1回): 赤かび病 ・ りんご(3回): モニリア病・黒星病・褐斑病 ・ きゅうり(1回): 褐斑病 ・ ねぎ(3回): さび病・斑点性病害・黒斑病及び葉枯病 ・ スイートコーン(1回): ツマジロクサヨトウ

<病害虫防除指導>

本県の病害虫等の発生実態に応じた効果的・効率的な総合防除の実施を推進するため、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら病害虫防除指導に取り組んだほか、病害虫防除実績検討会を開催し、主要病害虫の発生要因解析と次年度の防除対策について関係機関・団体と共有し、今後の地域防除体制の資とした。

水稻の病害虫防除指導においては、各地方の病害虫防除協議会、JA 稲作部会等が中心となり、病害虫防除所が発行する発生予察情報を活用した防除指導が実施され、加えて地域の一斉点検調査等の取組が行われた。特に年度当初から育苗期の細菌病類の多発が予想されたため、注意報(2/12)を発表し、稲作技術対策会議等で育苗管理の指導徹底を呼びかけたほか、7月には、県南部を対象としたいもち病(穂)に関する注意報(7/17)や斑点米カメムシ類の追加防除を促す注意報(7/28)を発表して防除の徹底を啓発した。また、巡回調査地点の農家83件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

園芸作物では、りんごの展葉が早まることが予想されたことから、黒星病の感染時期も早まることが懸念されたため注意報(4/9)を発表し、重点防除時期での防除の徹底を呼び掛けた。その後、県中北部で発生園地率が高まったため、防除速報(6/22)を発表し、発病部位の処分等を促した。褐斑病は、通常より早い6月から一般園地での発生を確認したため、防除速報(6/10)で早期防除を、さらに、注意報(7/13)を発表して、特別散布の実施等、防除の徹底を促した。果樹カメムシ類は、7月に被害果の発生が急増したため、注意報(7/9)を発表し、飛来を確認した後の速やかな薬剤防除を促した。なお、りんごの防除実績は、県内78の共同防除組合等から収集し、次年度の防除計画の改善に資した。

野菜・花きについては、果菜類の主産地を抱える普及指導員及びJA 営農指導員、農家等を対象に、イムノストリップキットを用いた果菜類のウイルス病や細菌病診断技術の指導を行ったほか、岩手県園芸産地改革戦略推進会議・技術対策部会においてりんどう等の病害虫に関する情報提供を行った。また、きゅうりでは、褐斑病及び炭疽病の早期多発がみられたため注意報を発表(7/22)し、発病葉の積極的な摘葉と薬剤防除の徹底を促したほか、ねぎでは、ネギアザミウマ及びネギハモグリバエの早期多発がみられたため注意報を発表(6/24)し、圃場観察しながら被害初期からの薬剤防除を呼びかけた。なお、防除実績を野菜19件、りんどう10件の農家から収集し、次年度の防除計画に資した。

病害虫診断については、68件の依頼に対応した。作物別の内訳は、野菜が最も多く(67.6%)、次に花き(26.5%)、普通作物(4.4%)、果樹類(1.5%)の順で、原因別では、病害が58.8%、虫害が5.9%、生理障害・薬害が13.2%等であった。

<農薬適正使用指導>

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する研修会を例年開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、対象を農薬管理使用アドバイザー等に限定し、「農薬適正使用研修会」として開催した(6月26日、参加者35名)。なお、農薬販売者に対しては「農薬危害防止運動」(県、県農薬卸商組合共催)を通じて適正販売の推進を呼びかけた。また、農薬取締法に基づく、農薬販売者への立入検査を実施するとともに(344件)、農薬使用基準違反のあった使用者に対し指導を行った(2件)。

(6) 畜産研究所

家畜育種研究室

<家畜育種>

(肉用牛) 日本短角種の種雄牛造成ではR1直接検定牛12頭(平均DG1.35kg)から、現場後代検定用6頭(選抜率50%、平均DG1.34kg)を選抜した。現場後代検定ではH29交配種雄牛3頭(「高笹辰」、「藤姫26」、「高国芳」)の成績を公表した。

黒毛和種肥育牛では、出荷月齢27か月齢を目標とした短期肥育試験3回目の8頭(試験区2頭、対照区6頭)の枝肉成績が判明した。日本短角種の一産取り肥育試験では、約30か月齢まで肥育することにより、慣行肥育と同等の出荷体重に到達し、枝肉重量、枝肉成績に差はなく、肥育期間は約7か月延長するが、肥育素牛を1頭生産可能であった。

(養豚) 当所の育成豚産肉成績では背脂肪の厚さは雄雌とも目標の2.0cmを達成。令和元年度飼養試験の肥育前期低TDN区が厚脂による格落ちが最も少なかった。令和2年度飼養試験では試験区の肥育後期末に、暑熱の影響による発育遅延と背脂肪の減少がみられ、令和3年度に再試験を行うこととした。

(養鶏) 地域飼料を活用した南部かしわの給与体系を確立では、玄米とくず大豆、または玄ソバ(5または10%)を混合して給与すると、16週齢で出荷目標体重に到達し、正肉量1kg以上が得られる。玄米50%と加熱くず大豆20%では、約40%の飼料費削減が見込まれるが、生くず大豆の給与は肉色等への影響から15%に留めるのが望ましいことが明らかとなった。

<家畜工学>

(遺伝子解析) SNP情報を利用した日本短角種の選抜方法の確立では、県内広域から延べ483頭の肥育牛肉のサンプルと78頭の種雄牛血液を収集し、イノシン酸分解酵素遺伝子、カルパスタチン遺伝子等の保有状況を調査したところ、「うま味」及び「かたさ」に係る遺伝子型頻度は小さかった。また、新たな脂肪交雜形状の評価法を検討するため枝肉切開面画像撮影装置を用い、脂肪交雜の細かさ指数、あらさ指数を測定したところ、性による差は見られないことを明らかにした。黒毛和種直接検定牛と受精卵産子のゲノム育種価を算出し、直接検定牛及び種雄牛候補の選抜に役立てた。

(繁殖) 4~9月に分娩した黒毛和種で飼料中TDNおよびCPの充足率が100%と85%の場合では、充足率100%の方が分娩後の子宮内膜の回復は早く(子宮内膜細胞中のPMN%が早く減少)、産子のDGが優れた。85%では泌乳量の減少することが示唆された(肝機能と血中T-ChoおよびAlb濃度が低下)。

家畜飼養・飼料研究室

<家畜飼養>

泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発について、第4期試験の短縮区2頭、短縮CP・TDN強化区2頭の飼養試験を終了し、協定試験全体では初-2産間の乾乳期短縮によりエネルギーバランスが改善され繁殖性が向上した。泌乳平準化による健全性向上効果の経済評価を酪農家3戸について調査し、泌乳持続性育種価が上階層なほど実際の乾乳期間が短く、泌乳持続性が大きいことが確認できた。

生体センサーを活用した乳用牛群管理技術の開発について、対象牛26頭の分娩前後における反芻時間の推移から、ケトosisでは分娩7日前、第四胃変位では診断の5日前から反芻時間が低下する傾向が見られた。また、繋留およびフリーバーン飼養牛における分娩前反芻時間の推移から、繋留飼養牛では分娩前の反芻時間がフリーバーン飼養牛よりも少ない傾向が見られた。

<飼料生産>

フェストロリウム追播技術の確立について、播種量6kg/10a、堆肥の施用、播種機付きディスクハローで施工すると効果が大きく、不耕起播種機(作溝式簡易草地更新機)を使った現地実証では、2年間のTDN収量が25~145%増加した。

二毛作を可能とするトウモロコシ市販品種の特性比較について、RM80-85の6品種を供試した。生育期間96日間で「ペローナ」は糊熟後期、その他は黄熟期に達し、乾物収量は「コロサリス」「ペローナ」「P8025」の順で良く、転び型倒伏抵抗性を示すHPR値は「コロサリス」「ペローナ」「ビビアン」の順に良値であったが、有意差はみられなかった。県の「サイレージ用とう

もろこしの総合評価法」では、「コロサリス」「P8025」「ペローナ」が有望であった。

チモシー極早生新系統の特性確認について、利用 2 年目は、ユウセイが標準品種(クンプウ)よりも耐病性及び耐倒伏性が良好であり、年間乾物収量は同程度であった。

採草地におけるワルナスビ防除体系の確立について、1 番草では全ての区においてワルナスビの発生がみられなかったが、2 番草では MDBA+OG 追播区の一部でワルナスビの発生が多くなった。完全更新区、表層攪拌区を含み、3 番草以降は時間の経過とともにワルナスビの発生数が増加した。そのため次年度は、再生草の刈取間隔を短くすることで、ワルナスビが養分を根に蓄積する期間を短くし、最終刈取後にワルナスビの再生を確認し、MDBA 剤を全区に散布する体系を行う予定。

<牧草の放射線対策>

除染草地の更新時における施肥量の検討について、更新翌年から採草地用の県標準施肥により管理することで、牧草中 RCs が抑制され、ミネラルバランスも利用可能な水準となった。

耕起困難草地における緩効性肥料を利用した省力施肥技術の確立について、牧草中 RCs 濃度、乾物収量は有意差が見られず、テタニー比は全ての番草で概ね指標値の 2.2 前後となった。緩効性肥料を施肥した区のうち、乾物収量当りの年間管理経費が「標準施肥」と同等である「K6・緩効性 70%」が良好であると示唆された。

外山畜産研究室

<子牛の生産状況>

外山畜産研究室では繁殖雌牛 92 頭(黒毛和種 48 頭、日本短角種 44 頭)を飼養している。黒毛和種では、生産された子牛のうち 22 頭を 1 頭当たり平均 560 千円で販売した。(3 月 17 日現在)

同様に日本短角種の子牛は 20 頭を出荷し、1 頭当たり平均価格は 310 千円であった。

<成果の発信状況>

大規模草地や飼料畑の計画的な追播や更新に役立てるため、可視光カメラ及び NDVI カメラを搭載したドローンを活用し、牧草や裸地の被覆率を把握するための適切な撮影高度と時期を明らかとし、NDVI から裸地率を推定する回帰式を算出した。さらに大規模草地において、GBVI による、裸地、牧草、雑草(ギンギン)の識別閾値、飼料用トウモロコシ畑において、輝度による土壌と植物の識別閾値、GBVI による雑草(ヒルガオ)とトウモロコシの識別閾値を明らかにした。

また、黒毛和種繁殖農家において、今後、規模拡大に伴い、TMR センターで調製した自給飼料由来 TMR をキャトルセンターで利用するといった地域ぐるみの対応が想定される。そこで、搾乳牛用 TMR やグラスサイレージ、イネ WCS、コーンサイレージなどを使用した発酵 TMR の黒毛和種育成牛への給与技術を実証し、マニュアルを作成した。

<寄託放牧の状況>

寄託放牧は、日本短角種と馬を生産者から預かり、低コスト生産に寄与している。

日本短角種については、5 月 19 日から 10 月 16 日まで 150 日間放牧を実施し、生産者 4 戸から繁殖牛 60 頭と子牛 38 頭受入れた。

また、馬については 5 月 12 日から 10 月 9 日まで 150 日間放牧を実施し、雌馬 8 頭、雄馬 2 頭、子馬 2 頭の合計 12 頭を受入れた。今年度は、新型コロナウイルスの影響でチャグチャグ馬つこが中止となったことから、途中での退牧はなく、期間を通しての放牧となった。

種山畜産研究室

黒毛和種改良事業の一環として県内産黒毛和種種雄牛候補牛 8 頭を選定し直接検定を実施した。また、令和元年度直接検定終了牛から現場後代検定を実施する候補牛 3 頭(「藤沢茂」、「福太郎」及び「菊美翔平」)を選抜した。現場後代検定については令和元年度に検定を開始した「暁雲」「花福久勝」「百合雲」及び「結乃宝」の枝肉成績が判明し、「暁雲」「百合雲」及び「結乃宝」の計 3 頭が基幹種雄牛に選抜された。

また、令和元年度に採取した、ゲノム育種価により選抜された基礎雌牛 4 頭の移植胚 33 個のうちの 26 個を種雄牛候補生産のための移植に供用し、4 頭で受胎した。令和元年度の移植により受胎し分娩した雄子牛 4 頭のうち、2 頭は遺伝的不良形質を保因し、2 頭は死亡(産後直死、死産)したため、本年度の種雄牛候補とはならなかった。

(7) 県北農業研究所

園芸研究室

県北・沿岸地域の立地特性を活用した園芸作物の安定生産技術の確立に向け、露地の主要品目であるキャベツについては、産地の農業改良普及センターからの要望課題に対応して、10 月収穫に適する春系品種の選定と、10 月収穫に適した栽植密度

や施肥量等の栽培法について継続して検討した。

本県が受諾した国庫事業「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」(H31～R2)では、前年度に引き続きアンドファームスマート農業技術実証コンソーシアムにおいて、自動操舵補助システムと畦立同時二段局所施肥機の現地実証を行った。これらの技術によるキャベツの生育斉一性や減肥の可能性、作業労力軽減効果等について、実績成果書に取りまとめ報告した。

中山間地域における土地生産性の高い高収益品目の導入を図るため、たまねぎ新作型の開発に関する研究を継続した。新たまねぎやサラダ用など高単価が期待できる初冬(11～12月)や、春(4～5月)の収穫を可能とする作型として、セット球を用いた初冬どり作型やハウスでの春どり作型について、栽培に適する品種や育苗条件、定植時期等を明らかにし、試験研究成果として取りまとめた。

「北いわてスマート農業プラットフォーム創造事業」により、新規に高規格ハウスを建設した。高規格ハウスでは環境制御機器を整備し、令和3年度の新規課題で取組む環境制御技術の一環として、令和3年3月に促成作型のきゅうり栽培を開始した。

これらの研究の過程で、八幡平、久慈、二戸農業改良普及センターの野菜担当者との間でラウンドテーブルをそれぞれ開催し、研究課題や地域課題とその解決策について共有を図ったほか、試験課題設計の内部会議においても意見や助言を求めた。また、得られた研究成果は、農業研究センター本部で開催された参観デーや研究成果発表会、普及指導員に対する研修等でも発信し、研究成果の普及に努めた。

作物研究室

先端技術を活用した農産物の高付加価値化を図る新品種育成と革新的な技術体系の確立に向けては「イノベーション創出強化研究推進事業(開発研究ステージ)」において、「雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発」として、前年度、交雑集団(F7)から選抜した短稈で穂の抽出長が短く多収、高機能性を有する3系統を現地2か所(軽米、花巻)を含めて特性評価し、成果として取りまとめた(R2研究成果)。また、年度末にかけて、(一社)日本雑穀協会や(公財)岩手生物工学研究センターとの連携により、利用特性評価、機能性評価を行い、有望な1系統を選抜した。

水稻品種の原原種、原種生産では、本部生産システム研究室の協力の下、「かけはし」の系統選抜、原原種生産、原種生産を実施し、予定生産数量を達成した。

雑穀の原種生産では、キビ1系統(ひめこがね)、アワ2系統(虎の尾、大槌10)を採種した。

その他、「いわて農林水産物機能性活用研究会」へ参画し、(公財)岩手生物工学研究センターと協働して雑穀の機能性成分(ルテインほか)に関する研究を支援した。また、INSいわて雑穀研究会を通じて雑穀に関する情報提供を随時行った。

中山間地域における生産性・収益性の高い組織営農技術の開発と土地利用型品目の導入に向けて、水稻、小麦、大豆の奨励品種決定調査を実施し、供試系統の特性を把握した。東北190号の現地試験により、ダイズシストセンチュウに対する抵抗性の評価を行い、更に水稻早生品種の担当者打合せを行って今後の水稻育種推進の方向性の確認を行った。

その他、作況調査に加え、幼穂形成期の低温影響等について臨時調査を行った。生産システム研究室と連名で令和2年産の作柄要因として解析した(R2研究成果)。また、昨年度に続き「たわわっこ」の高密度播種苗について栽培試験を実施し、生産システム研究室と連名で高密度播種苗の移植栽培法について成果として取りまとめた(R2研究成果)。

本県が受諾した「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」(H31～R2)では、岩手町のキャベツ圃場において、自動操舵補助システムと条間・株間除草機の組み合わせによる除草作業の高精度化について実証・調査し、成績書として取りまとめた。

また、「トウキの生産拡大のための技術開発」に引き続き取組み、苗生産において、アルミ蒸着フィルムとリフター型掘取り機を活用した、発芽率向上・抑草による良苗生産と省力的収穫技術について実証を行い、成果として取りまとめた(R2研究成果)。

また、「北いわてスマート農業プラットフォーム創造事業」により、新規にRTK-GNSS方式の自動操舵機器等一式を導入し、令和3年度の新規課題「県北地域における自動操舵農機を活用した高精度播種・機械除草技術の確立」の予備試験として、令和2年秋に自動操舵機器の操作方法の習得と、精度評価を実施した。

更に、次年度の新規課題提案に向けた、ドローンによる生育診断技術の予備試験を行い、ドローンによる撮影方法の習得と診断手法の検討を行った。

その他、研究課題や地域課題、その解決策について共有を目的に、各種研修会等への参加も積極的に行った。

4 令和2年度試験研究課題

(1) 細目課題分類

研究推進計画分野 担当部所	総課題数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		農業構造・経営管理	生産工学	水稻	畑作物	特産作物	果樹	野菜	花き	土壌作物栄養	病害虫制御	乳用牛	肉用牛	中小家畜(豚・鶏)	草地・飼料作物	畜産環境
企画管理部	6	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
農業経営研究室	6	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
生産基盤研究部	55	0	6	34	9	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0
水田利用研究室	20		4	6	9			1								
生産システム研究室	17		2	10				5								
作物育種研究室	18			18												
園芸技術研究部	58	0	0	0	0	0	25	17	12	0	4	0	0	0	0	0
果樹研究室	27						25				2					
野菜研究室	10							9			1					
花き研究室	13								12		1					
南部園芸研究室	8							8								
生産環境研究部	34	0	1	1	2	0	1	3	0	10	16	0	0	0	0	0
土壌肥料研究室	14		1		1			2		10						
病理昆虫研究室	20			1	1		1	1			16					
畜産研究所	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	18	2	10	0
家畜育種研究室	14												12	2		
家畜飼養・飼料研究室	10											2	1		7	
外山畜産研究室	4												1		3	
種山畜産研究室	4												4			
県北農業研究所	28	0	0	9	4	6	0	6	0	0	3	0	0	0	0	0
園芸研究室	8							6			2					
作物研究室	20			9	4	6					1					
総計	213	5	7	44	15	6	26	33	12	10	23	2	18	2	10	0

- ※1 複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上
 2 複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上
 3 細目課題のない課題は小課題を計上

(2) 試験研究課題一覧

- 凡 例
- ・主査: 小課題の主査研究室
 - ・No.: 小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に()表記
 - ・課題: (課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示
※ 課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1～4まで各桁毎の表記
 - ・開始・終了: 課題の実施～終了年数
 - ・予算区分: 国庫補助; 国庫補助事業、国庫委託; 国庫委託事業、独法委託; 独法委託事業、民間委託; 民間委託事業
令達; 令達予算研究、県単研究; 県単予算予算、県単採種; 主要農作物採種管理費
 - ・担当: 小課題、細目課題の担当研究室名

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【農業経営研究室】						
農業経営	1	(H21-04)農業技術体系データベースの整備・拡充	H21	R2	県単	農業経営
農業経営	2	(H30-03)集落営農組織における園芸作導入条件の解明	H30	R2	県単	農業経営
農業経営	3	(H30-07)雇用型園芸経営における作業工程管理手法の提示	H30	R2	県単	農業経営
農業経営		(H30-25-4000)経営モデルの構築	H30	R2	国庫委託	農業経営
【生産基盤研究部水田利用研究室】						
水田利用	4	(803)水稲奨励品種決定調査	H14	R5	県単	水田利用/作物(県北)
水田利用		(803-1000)予備調査	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(803-2000)本調査	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(803-3000)現地調査	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(803-4000)有望系統の栽培法	H14	R5	県単	水田利用/土壌肥料/作物(県北)
水田利用	5	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	H14	R5	民間委託	水田利用/作物(県北)
水田利用		(807-1000)水稲作用除草剤第2次適用性試験	H14	R5	民間委託	水田利用
水田利用	6	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	H14	R5	独法委託	水田利用
水田利用	7	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	H14	R5	県単	水田利用/作物(県北)
水田利用		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	H14	R5	県単	水田利用
水田利用	8	(891)畑作物原々種・原種生産	H22	R5	県単	水田利用
水田利用	9	(H19-12)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	H19	R5	県単	水田利用/作物(県北)
水田利用		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	H23	R5	県単	水田利用
水田利用		(H19-12-3000)(3)有望系統特性調査	H23	R5	県単	水田利用
水田利用	10	(H19-13)麦類の奨励品種決定調査及び有望系統特性調査	H26	R5	県単	水田利用/作物(県北)
水田利用		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	H26	R5	県単	水田利用
水田利用		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	H26	R5	県単	水田利用
水田利用	11	(H30-02)岩手県の水田に適した地下かんがいシステムの利用技術の確立	H30	R3	県単/令達	水田利用
水田利用		(H30-02-1000)地下水位制御システムによる土壌水分制御技術の確立	H30	R2	令達	水田利用
水田利用		(H30-02-2000)主要水田農作物(水稲・大豆等)での営農実証	R1	R2	令達	水田利用
水田利用		(H30-25-2000)輪作・直播体系と組み合わせたコウキヤガラ防除技術の実証	H30	R2	国庫委託	水田利用
水田利用		(H30-25-3000)ICTを活用した効率的な水管理技術の実証	H30	R2	国庫委託	水田利用
水田利用		(R2-1-2000)水田転換畑における土地利用型野菜の土壌管理技術	R2	R4	県単	水田利用/野菜/土壌肥料
水田利用	12	(R2-4)小麦「ナンブキラリ」の高品質安定栽培法	R2	R4	県単	水田利用/土壌肥料/病理昆虫

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【生産基盤研究部生産システム研究室】						
生産システム	13	(61)水稲原々種生産	S22	R5	県単	生産システム
生産システム	14	(62)水稲原種生産	S29	R5	県単	生産システム
生産システム	15	(805)水稲作況調査と作柄成立要因の解析	H14	R5	県単	生産システム/作物(県北)
生産システム		(805-1000)水稲作況調査	H14	R5	県単	生産システム/作物(県北)
生産システム		(805-2000)水稲優良品種の気象反応試験	H14	R5	県単	生産システム
生産システム		(805-3000)水稲作柄成立要因の解析	H14	R5	県単	作物(技術)
生産システム	16	(H30-01)岩手県における水稲高密度播種苗移植栽培体系の確立	H30	R2	県単/民間委託	生産システム/病理昆虫/県北作物
生産システム		(H30-01-1000)育苗技術の確立	H30	R2	県単/民間委託	生産システム/県北作物
生産システム		(H30-01-2000)本田栽培技術の確立	H30	R2	県単/民間委託	生産システム/県北作物
生産システム		(H30-01-4000)現地実証	R1	R2	県単/民間委託	生産システム/県北作物
生産システム	17	(H30-08)ICTを核とした施設野菜の高度化技術の確立	H30	R2	県単/国庫委託	生産システム/野菜/南部園芸
生産システム		(H30-08-1000)環境情報を活用した高生産技術の開発	H30	R2	県単/国庫委託	生産システム/野菜
生産システム		(H30-08-2000)スマートデバイスを活用した高効率栽培管理技術の開発	H30	R2	県単/国庫委託	生産システム/野菜
生産システム		(H30-08-4000)ICTを核とした施設栽培の高度化実証	H30	R2	県単/国庫委託	生産システム/野菜/南部園芸
生産システム		(H30-25)復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究	H30	R2	国庫委託	生産システム/水田利用/土壌肥料/農業経営
生産システム	18	(R1-1)露地野菜におけるスマート農業を活用した栽培体系の実証	R1	R3	独法等委託	生産システム/県北園芸/県北作物
生産システム		(R1-1-1000)GNSSを活用した効率的な作業管理技術の実証	R1	R3	独法等委託	生産システム
生産システム		(R1-1-2000)リモートセンシングを活用した生育一化および収量予測技術の実証	R1	R3	独法等委託	生産システム
生産システム		(R2-9)岩手県における水稲無コーティング種子の代かき同時浅層土中播種栽培技術の実証	R2	R4	独法等委託	生産システム
【生産基盤研究部作物育種研究室】						
作物育種	19	(H27-03)東北地域中北部やませ地帯向け耐倒伏性強の飼料用米品種の共同育成	H27	R3	令達	作物育種/作物(県北)
作物育種		(H27-03-3000)個体選抜	H27	R3	令達	作物育種
作物育種		(H27-03-4000)系統選抜	H27	R3	令達	作物育種
作物育種		(H27-03-5000)生産力検定試験	H26	R3	独法委託	作物育種/作物(県北)
作物育種		(H27-03-6000)特性検定試験	H27	R3	県単	作物育種
作物育種		(H27-03-8000)育成系統採種	H27	R3	県単	作物育種
作物育種	20	(H30-16)水稲の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とそれを活用したゲノム育種による安定・超多収系統の育成	H30	R2	独法委託	作物育種
作物育種		(H30-16-1000)RILs※1の形質評価	H30	R2	独法委託	作物育種
作物育種		(H30-16-2000)準同質遺伝子系統によるエピスタシス※2の実証	H30	R2	独法委託	作物育種
作物育種		(H30-16-3000)超多収系統の育成	H30	R2	独法委託	作物育種
作物育種	21	(H30-22)イネ冷害におけるエピジェネティックな制御機構の解明	H30	R4	独法委託	作物育種
作物育種	22	(H31-07)多様なニーズに対応する水稲品種の育成	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-1000)交配母本評価と交配	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-2000)初期世代養成	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-3000)個体選抜	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-4000)特性検定	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-5000)後代系統の評価・選抜	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6000)DNAマーカー等先端技術利用	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-7000)育成系統採種	R1	R5	令達	作物育種
作物育種	23	(R2-8)チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミロース米系統の早期育成	R2	R4	独法委託	作物育種
作物育種		(R2-8-1000)コンプレックスアチルド米飯に適する超多収低アミロース米系統の育成	R2	R4	独法委託	作物育種

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【園芸技術部果樹研究室】						
果樹	24	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	H14	R5	民間委託/令達	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	H14	R5	民間委託/令達	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	H14	R5	民間委託	果樹
果樹	25	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	H14	R5	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	H14	R5	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	H14	R5	県単	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	H14	R5	県単	果樹
果樹	26	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	H14	R5	令達	果樹
果樹	27	(H23-03)りんご新品種などの安定生産技術の確立	H23	R3	県単	果樹
果樹		(H23-03-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	H23	R3	県単	果樹
果樹		(H23-03-2000)優良品種の栽培技術の確立	H23	R3	県単	果樹
果樹	28	(H26-15)りんごのわい化栽培における早期収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	R10	県単・独法等委託	果樹
果樹		(H26-15-1000)早期多収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	R10	県単	果樹
果樹	29	(H27-24)「JM7」台木利用樹の樹勢衰弱発生要因の解明	H27	R6	県単/独法等委託	果樹/病理昆虫研究室
果樹		(H27-24-1000)「JM7」台木利用樹衰弱症状の現地実態把握	H27	R6	県単/独法等委託	果樹
果樹		(H27-24-2000)病害による「JM7」台木利用樹衰弱症状の対策	H28	R6	県単	果樹/病理昆虫研究室
果樹	30	(H30-17)生食用ぶどう品種の育成・選抜と栽培技術の確立	H30	R4	県単/令達/独法委託	果樹
果樹		(H30-17-1000)優良品種の特性把握及び選抜	H30	R4	県単	果樹
果樹		(H30-17-2000)系統適応性検定試験	H30	R4	独法委託	果樹
果樹		(H30-17-3000)安定・省力栽培技術の確立	H30	R4	令達/独法委託	果樹
果樹		(H30-17-4000)耐寒性品種の育成及び選抜	H30	R4	令達	果樹
果樹	31	(H30-18)醸造用ぶどう品種の選抜と栽培技術の確立	H30	R4	県単/令達/独法委託	果樹
果樹		(H30-18-1000)優良品種の特性把握及び選抜	H30	R4	県単/令達	果樹
果樹		(H30-18-2000)系統適応性検定試験	H30	R4	独法委託	果樹
果樹		(H30-18-3000)安定・省力栽培技術の確立	H30	R4	県単/令達/独法委託	果樹
果樹		(H30-18-4000)優良品種の垣根栽培の実証	H30	R4	令達/独法委託	果樹
果樹	32	(H31-10)本県に適したりんご優良品種の開発・導入	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-1000)多様なニーズに適合した県オリジナルりんご品種の育成	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-2000)国育成系統適応性試験(盛岡72~74号)	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-3000)国内外導入品種の選抜	R1	R10	令達	果樹
果樹	33	(H31-11)特産果樹の優良品種の選抜	R1	R10	県単	果樹
果樹		(H31-11-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	R1	R10	県単	果樹
果樹		(H31-11-2000)西洋なしの優良品種の選抜	R1	R10	県単	果樹
【園芸技術部野菜研究室】						
野菜	34	(H28-02)きゅうり省力・低コスト栽培技術の確立	H28	R3	県単	野菜
野菜		(H28-02-1000)作業が単純で省力的な栽培技術の確立	H28	R3	県単	野菜
野菜		(H28-02-2000)多雌花性品種を利用した省力栽培技術の確立	H28	R3	国庫委託/県単	野菜
野菜	35	(H30-27)きゅうり先端肥大発生予測技術の開発	H30	R2	国庫委託	野菜
野菜	36	(R2-1)水田転換畑を活用した土地利用型野菜の安定生産技術の確立	R2	R4	県単	野菜/水田利用/土壌肥料/病理昆虫
野菜		(R2-1-1000)長期安定出荷のための水田たまねぎ栽培技術の確立	R2	R4	県単	野菜
野菜		(R2-1-2000)水田転換畑における土地利用型野菜の土壌管理技術	R2	R4	県単	野菜水田利用/土壌肥料
野菜		(R2-1-3000)たまねぎにおける効率的防除技術の確立(ドローン防除)	R2	R4	県単	野菜/病理昆虫
野菜		(R2-1-4000)たまねぎを中心に水田転換畑を活用した新たな土地利用型野菜の探索	R2	R4	県単	野菜

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【園芸技術部花き研究室】						
花き	37	(843)りんどうの生育・生態調査	H14	R5	県単	花き
花き		(843-1000)作況調査	H14	R5	県単	花き
花き		(843-2000)塊茎・越冬芽等の形態形成機構と制御条件の解明	H14	R5	県単	花き
花き		(843-3000)栽培に関わる形質や生理障害等に及ぼす要因解明	H14	R5	県単	花き
花き	38	(H30-06)産地を強化するリンドウの品種育成	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-1000)親系統の育成	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-2000)親系統の維持	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-3000)青系切花物日需要品種群と新形質リンドウの育成	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-4000)未受精胚珠培養等による純系リンドウの作出	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-5000)鉢花用八重咲きリンドウの品種育成	H30	R4	独法委託	花き
花き	39	(H31-12)りんどうの革新的な栽培技術の開発	R1	R5	県単	花き
花き		(H31-12-1000)需要期向け切り花りんどうの栽培技術の開発	R1	R5	県単	花き
花き		(H31-12-2000)鉢物りんどうの栽培技術の開発	R1	R5	県単	花き
花き	40	(R2-11)りんどうの開花制御基盤技術の開発	R2	R4	独法委託	花き
花き		(R2-11-1000)りんどうの光周性に関するDNAマーカーを利用した育種母本の選抜	R2	R4	独法委託	花き
花き		(R2-11-2000)光周性りんどうの開花制御に対する薬剤処理の有効性の確認	R2	R4	独法委託	花き
【園芸技術部南部園芸研究室】						
南部園芸	41	(H25-03)地域適応性の高いいちご系統の選定	H25	R7	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-1000)地域適応性の高い半促成栽培向けいちご系統の選定	H25	R3	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-2000)地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定	H25	R3	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-5000)地域適応性の高い促成栽培向けいちご品種の選定	R1	R3	県単研究	南部園芸
南部園芸	42	(H29-01)いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改良	H29	R4	県単	南部園芸
南部園芸		(H29-01-1000)いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改良	H29	R4	県単	南部園芸
南部園芸		(H29-01-2000)いちご閉鎖型高設栽培システムのベンチ改善	R2	R4	県単	南部園芸
南部園芸		(H30-08-3000)環境情報を活用した沿岸部の高生産技術の開発	H30	R2	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H30-08-4000)ICTを核とした施設栽培の高度化実証	H30	R2	国庫委託	南部園芸
南部園芸	43	(H30-19)四季成り性いちご品種の2年栽培技術の確立	H30	R2	県単	南部園芸
【生産環境研究部土壌肥料研究室】						
土壌肥料	44	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	H15	R5	県単	土壌肥料
土壌肥料	45	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	H15	R2	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	H15	R2	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	H15	R2	県単	土壌肥料
土壌肥料	46	(H16-22)新肥料の実用化	H16	R7	民間委託	土壌肥料
土壌肥料	47	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	H20	R2	国庫委託	土壌肥料
土壌肥料	48	(H30-04)麦・大豆栽培における緑肥作物の効果	H30	R3	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H30-04-1000)麦・大豆栽培における緑肥作物の効果	H30	R3	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H30-04-2000)麦栽培における緑肥作物の効果	H30	R3	県単	土壌肥料
土壌肥料	49	(H30-26)省力的かつ実効性の高いコマ中無機ヒ素濃度低減技術の開発	H30	R4	独法等委託	土壌肥料
土壌肥料		(H30-26-1000)水田営農における地力・生産力向上技術の実証	H30	R4	国庫委託	土壌肥料/水田利用/生産システム
土壌肥料	50	(H31-01)水田土壌中の可給態硫黄の実態と水稻生育改善対策	R1	R3	県単	土壌肥料
土壌肥料	51	(R2-10)革新的な土壌データの取得方法およびデータ高付加価値化手法の開発	R2	R4	独法等委託	土壌肥料

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【生産環境研究部病理昆虫研究室】						
病理昆虫	52	(402)新農薬の効果検定と防除指針作成	H9	R5	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-2000)県北地域	H9	R5	民間委託	作物(県北)/園芸(県北)
病理昆虫		(402-4000)生産環境研究部	H9	R5	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-5000)園芸技術研究部	H16	R5	民間委託	果樹
病理昆虫	53	(H09-03)【植物防疫事業研究】	H9	R5	令達	病理昆虫
病理昆虫	54	(H29-05)コナガを中心としたアブラナ科害虫防除体系の確立	H29	R3	国庫補助	病理昆虫、県北(園芸)
病理昆虫		(H29-05-1000)夏秋どりキャベツにおける灌注処理殺虫剤の防除効果	H29	R3	国庫補助	病理昆虫、県北(園芸)
病理昆虫		(H29-05-2000)コナガにおける薬剤感受性検定	H29	R3	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	55	(H29-08)AIを活用した病害虫早期診断技術の開発	H29	R3	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫		(H29-08-1000)トマトで発生する病害虫被害の検証	H29	R3	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫		(H30-01-3000)本田初期の病害虫防除方法の確立	H30	R2	県単	病理昆虫
病理昆虫	56	(H30-05)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	R4	国庫補助	病理昆虫/果樹研
病理昆虫		(H30-05-1000)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	R4	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H30-05-2000)りんご園地における下草管理による生育への影響	H30	R4	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	57	(H30-10)地域特産物における新防除資材の実用化	H30	R5	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	58	(H30-28)トマトうどんこ病発生予測システムの実用化	H30	R4	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫		(H30-28-1000)感染好適条件の解明	H30	R4	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫		(H30-28-2000)ほ場における発病予測機能の検証	H30	R4	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫	59	(H31-13)ナス果実小陥没症の発生生態の解明と防除技術の確立	R1	R3	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	60	(R2-5)ダイズ紫斑病におけるQol耐性菌の簡便で迅速な薬剤感受性検定手法及び防除体系の確立	R2	R4	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	61	(R2-6)リンゴ褐斑病を中心とした春季の防除体系の再検討	R2	R4	国庫補助	病理昆虫
【畜産研究所家畜育種研究室】						
家畜育種	62	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	R10	令達	家畜育種
家畜育種	63	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	H17	R10	令達	家畜育種
家畜育種	64	(H26-03)黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	H28	R2	県単/独法委託	家畜育種
家畜育種	65	(H26-06)南部かしわ母鶏生産用ロードアイランドレッド改良のための交配選抜試験	H26	R10	県単	家畜育種
家畜育種	66	(H28-06)生産農場におけるパークシャー種豚群の産肉能力向上と肥育期の飼料給与体系の確立	H28	R2	県単	家畜育種
家畜育種	67	(H29-03)雌肥育牛を有効活用した日本短角種の一産取り肥育技術の確立	H29	R2	県単	家畜育種、外山畜産
家畜育種	68	(H30-13)種雄牛選抜におけるゲノム育種価の実用化	H30	R4	令達	家畜育種/種山畜産
家畜育種	69	(H31-04)牛枝肉の画像解析による脂肪交雑形状評価方法の検証	R1	R3	令達	家畜育種
家畜育種	70	(H31-05)黒毛和種における分娩間隔短縮のための子宮回復の評価基準の作成と早期回復技術の確立	R1	R3	県単	家畜育種
家畜育種	71	(H31-06)地域飼料の有効活用による南部かしわ飼養技術の確立	R1	R3	県単	家畜育種
家畜育種	72	(H31-14)SNP情報を利用した日本短角種の選抜手法の確立	R1	R3	令達	家畜育種
家畜育種	73	(R2-2)周年出荷のための日本短角種長期肥育技術の確立	R2	R6	県単	家畜育種

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【畜産研究所家畜飼養・飼料研究室】						
家畜飼養・飼料	74	(H28-14)泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発	H28	R2	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	75	(H30-11)チモシー極早生新系統の特性確認	H30	R3	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	76	(H30-12)採草地におけるワルナスビ防除体系の確立	H30	R3	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	77	(H30-20)フェストロリウム追播技術の確立	H30	R2	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	78	(H30-21)二毛作を可能とするトウモロコシ市販品種の特性比較	H30	R2	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	79	(H30-23)除染後草地の再更新時における施肥量の検討	H30	R2	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	80	(H30-24)耕起困難草地における緩効性肥料を利用した省力施肥技術の確立	H30	R2	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	81	(H31-03)生体センサーを活用した乳用牛群管理モニタリングシステムの開発	R1	R4	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	82	(R2-3)肥育前期に混合飼料を活用した黒毛和種肥育期間短縮技術の確立	R2	R6	独法委託	家畜飼養・飼料/家畜育種
【畜産研究所外山畜産研究室】						
外山畜産	83	(H28-09)黒毛和種育成牛における自給サイレージを活用したTMR給与技術の確立	H28	R1	県単	外山畜産/家畜飼養・飼料/家畜育種
外山畜産	84	(H30-14)ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模草地および粗飼料圃場の効率的植生診断技術の確立	H30	R2	県単	外山畜産
外山畜産	85	(H30-15)BLEタグを用いた放牧地における牛群個体確認労力軽減技術の確立	H30	R2	県単	外山畜産
外山畜産	86	(R2-7)放牧牛における準天頂衛星対応トラッキングサービスの応用	R2	R4	県単	外山畜産
【畜産研究所種山畜産研究室】						
種山畜産	87	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	R5	県単	種山畜産/家畜育種
種山畜産	88	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	H1	R5	県単	種山畜産/家畜育種
種山畜産	89	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	H14	R5	県単	種山畜産
【県北農業研究所園芸研究室】						
園芸(県北)	90	(H27-12)春系キャベツ産地力強化のための安定生産技術の確立	H27	R3	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H27-12-1000)長期安定出荷のための10月収穫作型の確立	H27	R3	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H27-12-2000)春系キャベツの生育斉一化技術の確立	R1	R3	県単	園芸(県北)
園芸(県北)	91	(H30-09)中山間地域における収穫・出荷期間の拡大に向けたタマネギ新作型の開発	H30	R2	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H30-09-1000)タマネギ初冬どり新作型の開発	H30	R2	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H30-09-2000)ハウスを活用したタマネギ春どり新作型の開発	H30	R2	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(R1-1-3000)畦立・施肥作業の高精度化実証(キャベツ)	R1	R2	独法等委託	園芸(県北)/生産システム
園芸(県北)		(R1-1-4000)中耕・除草作業の高精度化実証(キャベツ)	R1	R2	独法等委託	園芸(県北)/生産システム
【県北農業研究所作物研究室】						
水田利用		(H19-12-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	H19	R5	県単	作物(県北)
水田利用		(H19-13-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	H26	R5	県単	作物(県北)
作物(県北)	92	(H22-22)いって雑穀生産・販売戦略を支援する雑穀優良種子の生産	H16	R5	令達	作物(県北)
作物(県北)	93	(H28-16)ミヤマトウキの生産拡大のための技術開発	H28	R2	国庫委託	作物(県北)
作物(県北)		(H28-16-1000)ミヤマトウキにおける苗の安定生産技術及び省力栽培体系の確立	H28	R2	国庫委託	作物(県北)
作物(県北)	94	(H31-02)機械移植に適した雑穀育苗技術の確立	R1	R3	県単	作物(県北)
作物(県北)	95	(H31-08)収量・品質に優れる雑穀新品種の育成	R1	R5	独法等委託	作物(県北)
作物(県北)		(H31-08-1000)雑穀新品種・系統の育成	R1	R5	独法等委託	作物(県北)
作物(県北)		(H31-08-2000)アワ栽培方法の確立	R2	R4	独法等委託	作物(県北)
作物(県北)		(H31-08-3000)アワ現地適応性評価	R2	R4	県単	作物(県北)

(3) 令和3年度からの試験研究を要望された課題とその措置一覧

連番	部会	部会 No.	要望機関	要望課題名	担当研究室 ○主査	措置区分
1	農産	1	全農いわて	湛水直播栽培における、種子の素質や活性化処理の有無、催芽種子播種等の播種前の処理条件が出芽苗立ちに及ぼす影響の解明と対応技術の開発	○生産基盤研究部生産システム研究室	A3(R2),C
2	農産	2	全農いわて	直播栽培に適した良食味主食用多収品種の育成	○生産基盤研究部作物育種研究室	B
3	農産	3	全農いわて	耐暑性品種の育成	○生産基盤研究部作物育種研究室	B
4	農産	4	農産園芸課	縞萎縮病抵抗性を付与した「ナンブコムギ」の育成	○生産基盤研究部水田利用研究室 生産環境研究部病理昆虫研究室	B
5	農産	5	農業普及技術課革新支援担当	暖冬少雪時における小麦の踏圧時期と追肥法	○生産基盤研究部水田利用研究室 生産環境研究部土壌肥料研究室	A2(R4), A3(R3)
6	農産	6	中部農業改良普及センター	小麦採種圃における条斑病の防除対策	○生産環境研究部病理昆虫研究室 生産基盤研究部水田利用研究室	C
7	園芸	1	農業農村指導士協会	スマートフレッシュTMに適合する長期貯蔵向けりんご品種の開発	○園芸技術研究部果樹研究室	B
8	園芸	2	奥州農業改良普及センター	施設きゅうり栽培における環境制御設備導入の経営規模の解明および環境制御技術の確立	○生産基盤研究部生産システム研究室 企画管理部農業経営研究室 園芸技術研究部野菜研究室	B,A1
9	園芸	3	奥州農業改良普及センター	施設ピーマン栽培における尻腐れ症の軽減技術の開発	○園芸技術研究部野菜研究室	A1
10	園芸	4	一関農業改良普及センター	夏秋ピーマンにおける障害果の発生要因解明とその対策	○園芸技術研究部野菜研究室	A1,C
11	園芸	5	久慈農業改良普及センター	ホウレンソウケナゴナダニのリスク評価方法及び効果的防除体系の確立	○県北農業研究所園芸研究室 生産環境研究部病理昆虫研究室	C,B,A3(R3)
12	園芸	6	農業農村指導士協会	小菊の病害虫に関する試験研究の実施	○生産環境研究部病理昆虫研究室 園芸技術研究部花き研究室	C,D
13	畜産	1	畜産課	黒毛和種肥育後期への加水・加熱濃厚飼料給与が肉質に与える影響の実証試験	○畜産研究所家畜育種研究室	C
14	畜産	2	全農いわて	岩手県産和牛肉における脂肪酸組成の理化学分析と光学測定分析の平準化	○畜産研究所家畜育種研究室	B
15	畜産	3	畜産課	牛群管理システム及び加速度センサー等を活用した地域一体型黒毛和種繁殖管理モデルの実証試験	○畜産研究所家畜育種研究室	C
16	畜産	4	盛岡農業改良普及センター	牧草地におけるメドウフォックステイルの生態解明および防除対策の確立	○畜産研究所家畜飼養・飼料研究室	C
17	畜産	5	奥州農業改良普及センター	放牧地における初夏施肥が牧草中放射性セシウム濃度に与える影響	○畜産研究所家畜飼養・飼料研究室	C
18	畜産	6	畜産課 農業普及技術課革新支援担当 奥州農業改良普及センター	牧草・飼料作物の奨励・推奨品種の選定	○畜産研究所家畜飼養・飼料研究室	A1,A2(R6),B
19	畜産	7	全農いわて	WCSの刈入時期ごとによる給与時期の検討	○畜産研究所家畜飼養・飼料研究室	C

5 共同研究等の推進

(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(先端プロ・委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
社会実装促進業務委託事業	東北農業研究センター(*)	H30～R2	(1)オープンラボの運営及び平成29年度までに得られた成果の情報発信・PR (2)普及目標を定める技術に係る展示圃の設置運営による技術の紹介および導入効果の展示、展示圃を活用した研修会の実施	研究企画室 水田利用 生産システム 果樹 野菜 南部園芸
復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究	岩手県農業研究センター	H30～R2	水田営農における地力・生産力向上技術、輪作・直播体系と組み合わせた難防除雑草の防除技術、ICTを活用した効率的な水管理技術などの導入条件の整理や要素技術の体系化を図る実証研究	水田利用 生産システム 農業経営 土壤肥料
きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究	岩手県農業研究センター	H30～R2	経営の発展段階に応じたICTを活用したキュウリ栽培の環境制御技術の確立およびキュウリの障害果(フケ果)の発生予測技術及び発生低減技術の確立	生産システム 野菜 南部園芸
原発事故からの復興のための放射性物質対策に関する実証	東北農業研究センター(*)	H30～R2	耕起困難草地における緩効性肥料を利用した省力施肥技術の確立および除染後草地の再更新時における施肥体系の開発	家畜飼養・飼料

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
省力的かつ現場で使い易いコメの無機ヒ素低減技術の開発	農業環境変動研究センター(*)	H30～R4	水管理・資材施用によるヒ素・カドミウムの同時低減のための現場実行性の高い栽培管理技術の開発	土壤肥料
薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発	西日本農業研究センター(*)	H28～R2	トウキの露地育苗苗を用いた栽培における軽労化技術の開発	作物(県北研)
AIを活用した病害虫診断技術の開発	中央農業研究センター(*)	H29～R3	岩手県のトマト産地で発生する主要病害虫の発生実態調査と被害進行に応じた電子画像データの取得と人工知能の実証	病理昆虫
果樹等の幼木期における安定生産技術の開発	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	R2～6	リンゴでの急性枯死症状の発生実態と対策技術の開発	果樹、病理昆虫

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(3) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稻の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とそれを踏まえたゲノム育種による安定・超多収系統の育成	(公財)岩手生物工学研究センター	H30～R2	(1)準同質遺伝子系統(NIL)によるエピスタシスの実証 (2)生産現場における組換え近交系(RILs)形質の変動性の解明 (3)収量性関与遺伝子の導入効果の確認および集積による超多収系統の育成	作物育種
施設園芸の主要病害発生予測AIによる総合的病害予測・防除支援ソフトウェア開発	公立大学法人秋田県立大学	H30～4	トマトうどんこ病のは場での実証	病理昆虫
雑穀需要に応える短稈・多収アワ品種の育成と機械栽培体系の確立	岩手県	R元～4	(1)アワ品種の育成 (2)アワ品種の多収栽培法と機械栽培体系の確立	作物(県北研)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
ゲノム編集技術を活用した農作物品種・育種素材の開発	岩手生物工学研究センター	R元～5	(1)リンドウにおけるゲノム編集の高度化技術の開発と利用 (2)リンドウ新規育種素材の開発と利用	花き
革新的な土壌データの取得方法およびデータ高付加価値化手法の開発	農業環境変動研究センター(*)	R2～4	(1)AI搭載型土壌調査支援アプリ「e-壤図PRO」の開発 (2)土壌温度・水分モデルの開発と見える化 (3)土壌窒素動態モデルの開発と見える化	土壌肥料
儲かる業務用米生産を実現する無コーティング種子湛水直播栽培技術の確立	東北農業研究センター(*)	R2～4	業務用米の無コーティング直播栽培の普及を進め、業務用米生産を増加させるため、安定栽培技術の確立、適用地域の拡大、折りたたみ式ハローに対応した高能率な大型播種機の開発を行う。	生産システム
チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミロース米系統の早期育成	岩手県	R2～4	中食市場をけん引するコンビニエンスストア向けチルド米飯用の超多収低アミロース米系統の育成を行う。また米飯の加工適性の向上や既存のコールドチェーンシステムへの適合性向上を目指し、中食市場における製造効率化と食品ロスの低減に寄与する技術開発を行い、食料安定供給と生産者の収入向上、新需要創出に向けた検討材料を提供する。	作物育種
中性園芸作物リンドウの開花制御基盤技術の開発	岩手生物工学研究センター	R2～4	りんどう生産上の大きな課題である需要期に合わせた供給の確実性を向上させるため、中性植物であるリンドウの開花制御技術の確立を目指す。	花き

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(4) 革新的技術開発・緊急展開事業(地域戦略プロ、先導プロ・委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
【経営体強化】気象リスクに対応した安定的な飼料作物生産技術の開発	畜産研究部門(*)	H30～R2	(1)多年生ライグラス追播技術の確立 (2)二毛作を可能とするトウモロコシ市販品種の特性比較	家畜飼養・飼料
【先導】黒毛和種の低コストで良質な牛肉生産のための早期肥育技術の開発	中央農業研究センター(*)	H28～R2	黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	家畜育種
【AI】泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上	北海道農業研究センター(*)	H28～R2	泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発	家畜飼養・飼料

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(5) 公設試等可能性調査／公設試連携研究(県政策地域部 10/10委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
酒米の心白発現特性評価・選抜手法の開発と加工適性に優れたオリジナル酒米品種育成の加速化	(地独)岩手県工業技術センター	R2	・ポット栽培稲において茎切除による心白過剰発現効果が確認された酒米品種についてポット養成し、深水処理で穂数制限することで、茎切除処理と同様に心白の過剰発現を引き起こすことができるかを検証し、省力的な評価・選抜手法の開発を目指す。 ・心白過剰発現に関する有望系統についてポット養成での深水処理を行い、その心白発現特性を把握して碎米発生の安定化に資する情報を得る。 ・得られたサンプル米について、簡易製麴試験を行い、心白発現と酵素力価の関係について検討する。	作物育種

(6) その他独法等からの委託(10/10委託)

事業・課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
受託研究	次世代作物開発研究センター(*)	H23~R2	麦類育成系統の耐寒雪性検定栽培試験	水田利用
受託研究	次世代作物開発研究センター(*)	R2~R6	耐病性に優れた府県向け高品質安定多収小麦品種育成に向けた有望系統の開発	水田利用
受託研究	西日本農業研究センター(*)	R2~R6	耐病性に優れた安定多収で、高品質で加工適性に優れる精麦用大麦・裸麦品種育成に向けた有望系統の開発	水田利用
受託研究	果樹茶業研究部門(*)	R2	ブドウ育種試験に係る系統適応性・特性検定試験	果樹
農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	東北農政局	H27~	農地管理実態調査 ・定点調査:水田4、普通畑11、草地9 ・基準点調査:水田、普通畑	土壌肥料
我が国の輸出に有利な国際的検疫処理基準の確立、実証事業	中央農業研究センター(*) 果樹茶業研究部門(*)	H28~	(1)モモシクイガ、ナシヒメシクイ等検疫措置の確立 (2)病害虫の発生状況調査等のデータ収集及びとりまとめ	病理昆虫
大学委託(科研費)	国立大学法人岩手大学	H30~ R2	イネ冷害におけるエピジェネティックな制御機構の解明	作物育種

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(7) 民間委託試験(10/10委託)

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(一社)岩手県植物防疫協会	(社)日本植物防疫協会からの委託	病理昆虫、園芸(県北研)
		(社)日本植物調節剤研究協会からの委託	水田利用、生産システム、果樹、野菜、作物(県北研)
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稲、小麦、大豆、りんご、トマト、レタス、タマネギ(春まき)、キャベツ、オーチャードグラス	水田利用、生産システム、果樹、野菜、土壌肥料、園芸(県北研)、家畜飼養・飼料
ホップ生産における病害虫防除に関する試験	ビール酒造組合	ホップ病害虫の発生生態解明およびその防除技術の確立	病理昆虫
日本短角種高品質赤肉生産開発事業	国立大学法人東北大学(JRA事業)	SNP情報を利用した日本短角種の選抜手法の確立	家畜育種
情報処理等先端技術を活用した高生産システムの確立	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会(新稲作研究会)	岩手県におけるICTを活用した水田作業の省力化技術の適応性	生産システム
令和2年度栽培マニュアルプラットフォーム実証業務	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(NTT東日本(株))	「シャインマスカット」の無加温ハウス栽培園に設置するIoTセンサーによるデータ収集による栽培マニュアルの構築	果樹
日本ワインのテロワールの解明	日本ワイナリー協会(独立行政法人酒類総合研究所)	岩手県内のワイン用ブドウの生育、及び熟期の果実成分に関する調査	果樹

(8) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稻における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	R元～5	生工研と共同で遺伝子解析に基づくDNAマーカーの開発及びそれらを用いた岩手オリジナル水稻品種の育成	作物育種
雑穀における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	R元～5	ゲノム解析技術をアワ、キビ、タカキビ、ヒエなどイネ科雑穀に適用し、農業上重要形質に関わる有用遺伝子を同定し、その機能を解明する。	作物(県北研)
リンドウの新品種開発支援・そっ苦心技術の開発 リンドウ等の新規有用遺伝資源の開発	園芸資源研究部	R元～5	純系や倍数性を利用した育種技術及びDNAマーカーの開発と新品種育成への応用 安定栽培に寄与する情報として生理・生態の解明 重イオンビームを利用した花色・花形・開花期・耐病性等の有用形質に関わる新規育種素材の開発	花き
現場ニーズに対応した即応的 植物病害防除技術の開発	園芸資源研究部	R元～5	リンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)の感染実験系の確立と耐病性研究への利用	病理昆虫
重イオンビーム照射によるブルーベリー変異体獲得に関する研究 ※大和造園土木株式会社との3者契約	生物資源研究部	H29～ R4	ブルーベリーへの重粒子線照射を行って、生物影響と突然変異誘起率の検討を行う。至適条件を決定後、有用変異系統の作出を試みる。	果樹

(9) 他の公設試との共同研究

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	H6～	果樹

(10) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)

開催月日	場所	内容
(なし)		

(11) その他共同研究

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
生物遺伝資源交換に関する研究協定	(独)農業生物資源研究所	H14～	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
東北地域中北部向け多収稲品種の共同育成	東北農業研究センター (*)、青森県産業技術センター 農林総合研究所	H26～ R2	米粉、飼料用米等の普及拡大のため、多収性に耐冷性、耐病性等に優れた東北地域中北部に適した多収稲品種の開発を行う。	作物育種
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	東北農業研究センター (*)、宮城県農業・園芸総合研究所	H31～ R4	岩手県および宮城県における地域適応性等に基づく系統選抜を実施し、寒冷地において安定生産を可能とするイチゴ品種の育成を推進する。	南部園芸
肉用牛における新たな経済形質のゲノミック評価に関する研究	(一社)家畜改良事業団	H31～ R2	肉用牛において、肥育時発育パターンの種雄牛ごとの遺伝的能力解析、発育関連形質のゲノミック評価に向けたデータ解析等に取り組み、これらの形質について改良を可能とする手法を明らかにする。	種山畜産

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
和牛における経済形質のゲノム選抜手法の確立	独立行政法人家畜改良センター	R2	・牛DNAサンプルと形質情報の収集 ・肥育牛、若雄牛、繁殖雌牛のゲノムワイドなSNP情報の解析 ・ゲノム育種価予測式の作成と予測式の精度の検証	家畜育種
ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模草地及び粗飼料圃場の効率的植生診断技術の確立	岩手大学	H30～32	ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模草地及び粗飼料圃場の効率的植生診断技術の確立	外山畜産
長日要求性素材と遺伝子解析を応用した極晩抽性ハクサイ品種の開発	岩手大学 (株)サカタのタネ 東北農業研究センター(*)	H30～R5	長日要求性素材と遺伝子解析を応用した極晩抽性ハクサイ品種の開発	野菜
低カドミウム遺伝子を付与した水稻系統の育成	農業環境変動研究センター(*)	H31～R2	カドミウム低吸収性遺伝子を付与したイネ系統を育成し、岩手県向けのカドミウム低吸収米を開発する。	作物育種
小型炭酸ガス発生機の実用化研究	サンポット株式会社	R元～2	県内の小規模施設に導入可能な小型炭酸ガス発生機の開発と活用技術を開発することで、施設栽培の生産性向上と安定生産を可能にする。	生産システム
マルチスペクトルカメラ搭載マルチコプターを用いたNDVI解析による水稻生育量の推定	ヤンマーアグリジャパン株式会社	R2	水稻の生育状況の評価を広範囲かつ迅速に行うために、マルチスペクトルカメラ搭載マルチコプターを用いて作物の葉色と関連性の高い分光特性(NDVI)を解析し、水稻の幼穂形成期におけるNDVI値による生育診断に基づいた追肥判断の可能性及び成熟期のNDVI値と収穫適期の関係性を検証する。	生産システム
溶融スラグを用いた寒地型牧草の生育促進効果の検証	岩手大学	R2	溶融スラグの牧草生産における土壌改良資材としての有用性を確認するため、わが国の主要な寒地型牧草であるオーチャードグラスを供試品種として、ポット試験ならびに圃場での実証試験を行い、溶融スラグが寒地型牧草の生長促進にどの程度寄与するのかを検証する。	家畜飼養・飼料

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(12) 産学官連携

名称	開催年月	場所	内容	担当研究室
第1回 いわて産学官連携推進協議会会議	R2.6.19	盛岡市 (盛岡市産学官連携研究センター)	令和元年度活動報告および令和2年度事業計画について	研究企画室
第2回 いわて産学官連携推進協議会会議	R2.10.30	盛岡市 (盛岡市産学官連携研究センター)	リエゾン-Iマッチングフェアについて	研究企画室
リエゾンIマッチングフェア	R2.11.5	盛岡市 (盛岡市産学官連携研究センター)	最近の研究シーズ13件のプレゼンテーション	研究企画室

※1 令和2年度リエゾン-Iマッチングフェアでプレゼンテーションを行った研究シーズ

研究シーズ名	担当研究室
マイクロ波抽出と簡易測定キットによる土壌蓄積養分の簡易評価手法	土壌肥料研究室

6 現地試験の実施

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
			生産基盤研究部
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 復旧水田における先端技術導入における先端技術導入による水田 営農の高度化に向けた実証研究 難防除雑草(コウキヤガラ)の蔓延防止対策実証	陸前高田市	小友	水田利用 (土壌肥料) (農業経営)
施肥合:大豆資材の施用効果確認	奥州市	江刺愛宕	
水稻奨励品種決定現地調査 (粳)	雫石町	長山	
(粳)	紫波町	大巻	
(粳)	岩手町	土川	
(粳)	花巻市	鍋倉	
(粳)	西和賀町	沢内前郷	
(粳)	奥州市	江刺稲瀬	
(粳)	一関市	萩荘	
(粳)	大船渡市	日頃市	
(粳)	遠野市	上郷町	
(粳)	山田町	豊間根	
(粳)	久慈市	夏井	
(粳)	二戸市	安比	
麦類耐寒雪性特性検定試験	一戸町	奥中山	
麦類奨励品種決定調査(現地調査)	一関市	舞川	
	矢巾町	煙山	
大豆奨励品種決定調査(現地調査)	奥州市	江刺田原	
	盛岡市	玉山	
岩手県の水田に適した地下かんがいシステムの利用技術の確立	花巻市	石鳥谷町新堀	
	花巻市	万丁目	
水稻高密度播種苗移植栽培体系	北上市 金ヶ崎町	二子 農大	生産基盤研究部 生産システム
新稲作研究会:ICTを活用した水田作業の省力化技術	花巻市		
露地野菜におけるスマート農業を活用した栽培体系の実証	岩手町		
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 復旧水田における先端技術導入における先端技術導入による水田 営農の高度化に向けた実証研究 耕盤均平、生育モデル、鳥害防止、スマート農業活用直播 実証	陸前高田市	小友	(土壌肥料) (水田利用) (農業経営)
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装)」 中小区画土地利用型営農技術の実証	矢巾町 北上市 奥州市	前沢	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装)」 施設園芸技術の実証:施設野菜における環境制御技術	盛岡市 3戸 花巻市 一戸町 奥州市	江刺	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
りんご育種系統の現地適応性試験	二戸市 宮古市 滝沢市 奥州市 一関市	金田一 内の沢 元村 江刺小倉沢 花泉町金沢	園芸技術研究部 果樹
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装)」 ブランド化を促進する果実の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市	米崎町	
各地域に適したりんご早期成園化技術の実証	紫波町 奥州市	長岡 江刺愛宕	
岩手ワインヒルズ推進事業に係る現地品種比較試験	陸前高田市 野田村	米崎町 根井	
「農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究現場ニーズプロジェクト」 果樹等の幼木期における安定生産技術の開発	奥州市	江刺鴨沢	
「栽培マニュアルプラットフォーム実証業務」	花巻市 花巻市	矢沢 大迫	
委託試験研究「日本ワインのテロワールの解明」	花巻市 紫波町 陸前高田市	大迫 赤沢 米崎町	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(現地実証研究)」 きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術大系の実証研究	陸前高田市 奥州市	竹駒 江刺田原	園芸技術研究部 野菜 生産基盤研究部 生産システム
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装)」 水稲施設等の高度利用によるパブリカの栽培技術	紫波町	片寄	園芸技術研究部 野菜
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装)」 きゅうりのかん水同時施肥技術	金ヶ崎町 宮古市		
「産地を強化するりんどうの品種育成」 (切り花向け有望系統の現地適応性試験)	奥州市 雫石町 一戸町	衣川 七ツ森 小友	園芸技術研究部 花き
「産地を強化するりんどうの品種育成」 (八重咲きりんどう有望系統の現地適応性試験)	北上市 花巻市	稲瀬 高木	
食料生産地域再生のための先端技術展開事業 現地実証研究委託 事業 きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究	陸前高田市	竹駒町	園芸技術研究部 南部園芸
復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に 向けた実証研究 地力ムラの解消及び地力向上実証	陸前高田市	小友	生産環境研究部 土壌肥料
水田土壌中の可給態硫黄の実態と水稲生育改善対策	奥州市 釜石市	米里 唐丹	
遊離酸化鉄が不足する水田への含鉄資材施用効果の確認	花巻市	中根子	
緩効性ペースト肥料の施用効果	花巻市	湯口	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
新農薬の効果試験と防除指針作成	①一戸町 ②北上市	①奥中山 ②藤根	生産環境研究部 病理昆虫
岩手県における水稲高密度播種移植栽培体系の確立 (本田初期の病害虫防除方法の確立)	①金ヶ崎町 ②軽米町	①六原(農大) ②山内	
ホップ生産における病害虫防除に関する試験	軽米町	小軽米	
コナガを中心としたアブラナ科防除体系の確立	岩手町	一方井	
りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係 (現地調査)	①花巻市 ②花巻市	①石鳥谷 ②東和	
バークシャー種における飼料用米活用による豚肉の高品質化・高付 加価値化技術の開発	岩泉町		畜産研究所 家畜育種
黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系 の確立	盛岡市		
生体センサーを活用した乳用牛群管理モニタリングシステムの開発	一戸町	奥中山	畜産研究所 家畜飼養・飼料
フェストロリウム追播技術の確立	雫石町	七つ森、小岩 井	
中山間地域における収穫・出荷期間の拡大に向けたタマネギ新作 型の開発	二戸市	似鳥	県北農業研究所 園芸
露地野菜におけるスマート農業を活用した栽培体系の実証(畦立・施肥 作業の高精度化実証、キャベツ)	八幡平市	田代平	
露地野菜におけるスマート農業を活用した栽培体系の実証(中耕・除草 作業の高精度化実証、キャベツ)	八幡平市	田代平	県北農業研究所 作物
ミヤマトウキの生産拡大のための技術開発	二戸市 盛岡市玉山	夏間木 玉山	
岩手県における水稲高密度播種苗移植栽培体系の確立 たわわっこの栽培法	軽米町	山内	
水稲奨励品種決定調査(2)本調査②早生系統	二戸市	安比	
	久慈市	夏井	
収量・品質に優れる雑穀新品種の育成	軽米町 花巻市	上館 諏訪	

Ⅲ 試験研究の成果

Ⅲ 試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)令和2年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理	0	3	1	0	4
2 生産工学	0	4	0	0	4
3 水稲	1	4	3	0	8
4 畑作物	0	1	0	1	2
5 特産作物	0	1	0	1	2
6 果樹	1	2	0	1	4
7 野菜	1	4	0	1	6
8 花き	0	0	0	1	1
9 土壌作物栄養	0	8	0	1	9
10 病害虫制御	0	8	0	1	9
11 乳用牛	0	0	0	0	0
12 肉用牛	1	3	5	2	11
13 中小家畜(豚・鶏)	1	0	0	0	1
14 草地・飼料作物	0	2	0	1	3
15 畜産環境	0	0	0	0	0
[計]	5	40	9	10	64

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本及び近い将来、普及区分や指導区分の試験研究成果として発展が見込める成果

(2)令和2年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
生物工学	R2-普-01	岩手県における水稲高密度播種苗移植栽培法	生産システム
果樹	R2-普-02	耐寒性が強く、ワイン品質が優れる、赤ワイン向け醸造専用ぶどう品種「アルモノワール」	果樹
野菜	R2-普-03	きゅうり先端肥大症軽減を目的とした鮮度保持フィルム「FHフィルム」の効果的使用方法	野菜
肉用牛	R2-普-04	黒毛和種県産種雄牛「飛良智(ひらとも)」の作出	種山畜産
中小家畜 (豚・鶏)	R2-普-05	玄米とくず大豆を活用した南部かしわ雌の飼料給与技術	家畜育種

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
病虫害制御	R2-指-01	リンドウ黒斑病に対する数種殺菌剤の防除効果	病理昆虫
農業構造・ 経営管理	R2-指-02	大規模経営における生産管理支援システムの導入・活用のポイント	農業経営
農業構造・ 経営管理	R2-指-03	集落営農組織における園芸作の導入・定着条件及び支援方策	農業経営
水稲	R2-指-04	水田雑草コウキヤガラの効果的な防除対策	水田利用
生産工学	R2-指-05	水稲栽培における圃場水管理システムの省力効果と節水効果	水田利用
生産工学	R2-指-06	レーザ制御ロータリ耕起による耕盤均平技術の効果	生産システム
生産工学	R2-指-07	高速高精度汎用播種機の水稲乾田直播栽培における作業性能	生産システム
水稲	R2-指-08	水稲品種「金色の風」の生育予測パラメータ	生産システム
生産工学	R2-指-09	ウミネコおよびスズメに対する無人航空機の防除効果	生産システム
水稲	R2-指-10	令和2年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
水稲	R2-指-11	令和2年7月下旬の一関遊水地における水稲冠水被害の実態	生産システム
土壌作物 栄養	R2-指-12	補給型施肥による土壌化学性及び収量の経年変化(水田)	土壌肥料
土壌作物 栄養	R2-指-13	水田における稲わらからのカリ溶出と土壌中へのカリ供給効果	土壌肥料
土壌作物 栄養	R2-指-14	水稲栽培に対する可変追肥技術の特徴	土壌肥料
土壌作物 栄養	R2-指-15	マイクロ波抽出と簡易測定キットによる土壌蓄積養分の簡易評価手法(追補)～リン酸・カリ減肥の判定～	土壌肥料
土壌作物 栄養	R2-指-16	大豆・麦栽培で想定される緑肥作物の特性	土壌肥料
土壌作物 栄養	R2-指-17	大豆栽培における緑肥作物の効果	土壌肥料

分野	成果番号	成果名	担当研究室
病虫害制御	R2-指-18	水稲出穂期以降のアカスジカスミカメ防除対策（追補2）	病理昆虫
病虫害制御	R2-指-19	無人マルチローター（ドローン）による薬剤散布特性の把握（追補）	病理昆虫
特産作物	R2-指-20	とうき露地育苗における良苗生産・省力化技術	作物(県北)
農業構造・経営管理	R2-指-21	雇用型園芸経営の取組実態からみた工程管理のポイント	農業経営
果樹	R2-指-22	りんご「大夢」の正品率向上のための摘果強度	果樹
果樹	R2-指-23	りんご「紅いわて（岩手7号）」の1-MCP剤（スマートフレッシュ TM ）処理による鮮度保持効果	果樹
野菜	R2-指-24	小規模パイプハウスを想定したきゅうりの環境制御機器導入効果	野菜
土壌作物栄養	R2-指-25	りんご「ふじ」の成木における果実品質を考慮した窒素施肥	土壌肥料
土壌作物栄養	R2-指-26	補給型施肥による土壌化学性および収量の経年変化（露地野菜）	土壌肥料
病虫害制御	R2-指-27	土着天敵保護を目的に下草の高刈りを実施するりんご園地に生息するカブリダニ類	病理昆虫
病虫害制御	R2-指-28	りんご園地における土着カブリダニ類保護のための下草管理	病理昆虫
病虫害制御	R2-指-29	土着カブリダニ保護体系を実施するりんご園地におけるリンゴワタムシの防除対策	病理昆虫
病虫害制御	R2-指-30	ナス果実小陥没症の発生原因と感受性の品種間差異	病理昆虫
病虫害制御	R2-指-31	レタス根腐病（レース2）の耕種的な被害軽減対策	病理昆虫
野菜	R2-指-32	たまねぎ初冬どり作型に適するセット球のセルトレイ育苗法	園芸(県北)
野菜	R2-指-33	セット球を用いたたまねぎ初冬どり作型の栽培法	園芸(県北)
野菜	R2-指-34	冬期間のハウスを活用したたまねぎ春どり作型の栽培法	園芸(県北)
肉用牛	R2-指-35	育成期から肥育前期に飼料中の粗蛋白質濃度を高めた黒毛和種去勢牛の早期出荷技術	家畜育種
肉用牛	R2-指-36	乳牛用TMRを活用した黒毛和種育成牛の飼料給与技術	外山畜産
肉用牛	R2-指-37	自給飼料主体発酵TMRを活用した黒毛和種育成牛の飼料給与技術	外山畜産
草地・飼料作物	R2-指-38	湿害のあるオーチャードグラス経年採草地におけるフェストロリウム追播技術	家畜飼養・飼料
草地・飼料作物	R2-指-39	除染草地の簡易更新時における牧草中放射性セシウムの抑制技術	家畜飼養・飼料
畑作物	R2-指-40	令和2年7月下旬の一関遊水地における大豆浸水・冠水被害の実態	水田利用

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
農業構造・経営管理	R2-行-01	生産技術体系データ (2020年版)	農業経営
水稲	R2-行-02	令和3年度水稲奨励品種決定試験調査 本調査・現地調査に新たに供試する系統	水田利用
水稲	R2-行-03	令和2年度における水稲奨励品種決定試験の本調査・現地調査結果	水田利用
水稲	R2-行-04	令和3年度に奨励品種決定調査予備試験に供試する「岩手144号」、「岩手145号」、「岩手146号」	作物育種
肉用牛	R2-行-05	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	種山畜産
肉用牛	R2-行-06	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	種山畜産
肉用牛	R2-行-07	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
肉用牛	R2-行-08	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
肉用牛	R2-行-09	雌の肥育素牛を活用し放牧を取り入れた日本短角種一産取り肥育技術	家畜育種

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
土壌作物栄養	R2-研-01	無人航空機(ドローン)撮影画像による水稲簡易栄養診断の可能性	土壌肥料
特産作物	R2-研-02	粒が黄色く短稈・多収の糯あわ系統「アワ岩手糯9号」「アワ岩手糯10号」「アワ岩手糯11号」の育成	作物(県北)
果樹	R2-研-03	垣根仕立て醸造用ぶどうにおける果房の受光量増加による熟期前進効果	果樹
野菜	R2-研-04	ガス組成によるきゅうり先端肥大症発症抑止作用	野菜
花き	R2-研-05	りんどう極早生品種「いわて夢あおい」1年生株へのジベレリン処理時期が形態形成および生育に与える影響	花き
病虫害制御	R2-研-06	JM7台利用樹衰弱症状の診断方法	病理昆虫
肉用牛	R2-研-07	現存する日本短角種雄牛における牛肉中のイノシン酸濃度およびかたさに関連する遺伝子頻度	家畜育種
肉用牛	R2-研-08	黒毛和種における分娩前後の栄養水準の違いが子宮環境回復、繁殖成績および子牛の発育に及ぼす影響	家畜育種
草地・飼料作物	R2-研-09	無人航空機(ドローン)空撮画像のGBVI、輝度により飼料用トウモロコシ畑の雑草(ヒルガオ)が識別できる	外山畜産
畑作物	R2-研-10	大豆品種「ナンブシロメ」の発育予測パラメータ	水田利用

2 追跡評価

○令和2年度追跡評価の概要

(1) 評価視点

岩手県農業研究センター試験研究課題評価実施要領別表5の規程により、「成果の活用状況」について、「現在も有効な成果であるか」「成果が経済活動等で活用されているか」の評価視点で追跡評価を実施。

(2) 追跡評価の調査方法

ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

(ア) 評価対象 平成29年度に公表した「普及」、「指導」区分の試験研究成果(47成果)

(イ) 評価方法 成果の主査研究室が関係研究室と調整の上、自己評価

(ウ) 評価区分

A:(現在でも)有効

B:目的達成(既に、成果の目的を達成し、現在では有効性がない)

C:後年度の成果に反映(更新)

D:無効(Bの概念に含まないもの)

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 評価対象

a 平成29年度に公表した「普及」区分の研究成果(6成果)

b 平成28年度に公表した「指導」区分の研究成果(41成果)

(イ) 評価方法

a 「普及区分」

成果の活用状況(「成果活用による効果等」)について、以下により、生産者等に調査を依頼

① 評価調書による調査:成果毎に調査対象者*1を定め、評価調書による調査を依頼

※ 調査対象者は、農業改良普及センターの協力を得て選定

a 「指導区分」

(a) 成果の活用状況について、主要農業改良普及センター等に調査を依頼

(b) 評価区分

a 評価調書による調査:成果毎に調査対象者を定め、評価調書による調査を依頼

※ 調査対象は、農業普及技術課農業革新支援担当の協力を得て選定

(3) 追跡評価の結果

ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

評価区分	成果数
A	47
B	0
C	0
D	0
合計	47

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 「普及区分」

生産者による評価

課題名	成果の活用
法面被覆に用いるイブキジャコウソウの導入効果	3.0
りんご「紅いわて(岩手7号)」の着果基準	1.8
ハウスミニトマト栽培における多収化モデル技術の導入効果	1.6
インタープランティングを利用したトマトの高収益周年栽培	1.5
四季成り性いちご品種なつあかりを用いた2年栽培作型	3.0
飼料用トウモロコシ不耕起栽培を活用したアレチウリの防除技術	0.8

注) 成果の活用は「よく活用」を3、「たまに活用」を2、「活用機会がない」を1、「活用できない」を0として加重平均した。

(イ) 「指導区分」

農業改良普及センターによる評価

課題名	指導効果等の向上
りんご鮮度保持剤「1-MCP剤(スマートフレッシュTM)」を利用した「シナノゴールド」の長期貯蔵法	2.7
100坪ハウスにおける園芸用薪ストーブの薪投入量及び加温効果の目安	2.0
鉄コーティング湛水直播における耐ころび型倒伏性向上のための水管理	3.0
県内稲作経営の生産・経営実態からみた米生産費低減のポイント	3.0
県内大規模水田作経営の類型別特徴と経営モデル	3.0
玄米の登熟に対する登熟期間前期の低温寡照の影響	2.7
水稻品種「銀河のしずく」の栄養診断基準	2.7
平成29年8月の低温・寡照条件下における登熟及び玄米品質の推移(ひとめぼれ)	3.3
ダイズ紫斑病新規防除薬剤の評価	3.3
ホップ におけるアサノミハムシの被害と防除対策	2.7
鉄コーティング湛水直播栽培における葉いもち・初期害虫の防除	3.5
キビ品種「ひめこがね」の収穫適期	3.0
平成29年8月の低温が不稔の発生に与えた影響(いわてっこ)	2.7
ブドウ醸造用品種への垣根仕立て法の導入効果	3.7
ポット養成フェザー苗利用によるりんご初期収量向上効果	2.7
ユズ苗のポット養成による生育向上および早期結実効果の実証	3.0
りんご主要品種の花粉数	3.3
リンドウ極早生品種「いわて夢あおい」における全茎収穫を可能とする収穫後のジベレリン処理技術(追補)	3.0
リンドウ切花のバケツ低温管理用の品質保持剤の効果	2.7
かん水同時施肥技術を用いた露地きゅうり栽培の収量向上事例	3.0
トマトの生育調査データの時系列解析による生育予測手法	3.3
ミニトマトの露地疎植栽培におけるへたつき出荷向け品種の特性	3.0
寒冷地中小規模施設における複合環境制御技術の導入手引き	3.7
水稻育苗用ハウスにおける簡易隔離床栽培によるパプリカの養液栽培	2.0
培養液補正診断シートを活用したトマト循環式ロックウール栽培の肥料コスト低減効果	0.0
促成いちご栽培における薪ストーブを活用した加温技術	3.0
地域木質資源を用いた木質製園芸用ハウスの特性	3.0
雨よけトマト栽培におけるカリ減肥基準の検証	3.3
アスパラガス株腐病および立枯病の種子伝染とその対策	3.7

課題名	指導効果等の向上
しその害虫ウリハムシモドキに対する数種殺虫剤の防除効果	2.7
ナス小陥没症の当面の被害防止対策と推定される発生原因	4.0
施設栽培トマトの主要害虫に対する赤色防虫ネットの侵入抑制効果	3.7
転炉スラグを用いた土壌pH改良と耐病性台木の併用によるトマト青枯病の被害軽減	3.0
(H29-指-38)ほうれんそうを加害するウリハムシモドキおよびネギアザミウマに対する数種殺虫剤の防除効果	3.5
ほうれんそう向け新肥料のホウレンソウケナゴコナダニ被害抑制効果	3.5
改良型ほうれんそう調製機の作業特性と省力効果	2.5
乗用型管理機を用いたほうれんそう軽労生産技術体系と大規模経営モデル	2.0
国産トウモロコシ子実を主とした国産100%飼料の南部かしわへの給与技術と産肉成績	1.0
ホルスタイン種経産牛における性選別精液の受胎率向上のための人工授精牛の選定指標(乳蛋白質率およびMUN)	2.7
飼料用米を活用したパークシャー種肥育後期飼料における収益性が高い粳米の配合割合	1.0
飼遺伝的不良形質情報を含む県内黒毛和種交配支援システムの作成と表計算ソフトでの利用	3.7

注) 指導効果等の向上は「大いに向上した」を4、「向上した」を3、「あまり向上しなかった」を2、「向上しなかった」を1、未回答を0として加重平均した。

3 東北農業試験研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	畜産飼料作	果樹	計
研究成果数	1	1	2

(2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
畜産飼料作	乳牛用TMRを活用した黒毛和種育成牛の高自給率・低コスト飼料給与技術	普及	家畜飼養・飼料
果樹	りんご「紅ロマン」の1-MCP剤(スマートフレッシュ TM)処理による鮮度保持効果	研究	果樹

IV 試験研究成果の発表

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
企画管理部 経営 2-No.1	令和2年度 試験研究成績書(農業経営研究室)	R3.3	126
生産基盤研究部 基盤 R1-No.2	平成30(2018)年度 技術部作物研究室試験成績書 (作物栽培・種子チーム)	R2.3	249
基盤 R2-No.4	2020年度 水稲関係除草剤試験成績書(適2試験) (水田利用研究室)	R2.10	71
	FARMATEスタートアップガイド	R3.3	48
	低コスト環境センサの特性と施設園芸での活用	R3.3	8
	ドローンを用いた鳥類防除技術導入マニュアル	R3.3	28
	高速高精度汎用播種機を利用した水稲乾田直播栽培 ～岩手県沿岸南部地域向け栽培マニュアル～	R3.3	6
園芸技術研究部 園芸 R1- No.2	令和元年度 果樹関係試験成績書(技術部果樹研究室)	R2.3	115
園芸 2 No.1	令和2年度 試験研究成績書(野菜研究室)	R3.3	302
	きゅうり小規模施設における最小限の環境制御技術導入の手 引き	R3.3	80
	フケ果対策マニュアル	R3.3	32
園芸 2 No.2	平成30年度 試験研究成績書(南部園芸研究室)	R3.3	55
園芸 2 No.3	令和元年度 試験研究成績書(南部園芸研究室)	R3.3	70
生産環境研究部 環境 R2 No.1	平成30年度 試験研究成績書(生産環境研究室)	R3.2	205
環境 R2 No.2	令和元年度 試験研究成績書(土壌肥料研究室)	R3.2	179
環境 R1 No.1	令和元年度 試験研究成績書(病理昆虫研究室)	R2.3	358
病害虫防除部	令和2年度 植物防疫事業年報	R3.3	200
畜産研究所 畜産 1 No.1	令和2年度試験成績書(畜産研究所)	R2.3	116
県北農業研究所 県北 R2 No.1	平成26年度 試験研究成績書(作物研究室)	R3.1	142
県北 R2 No.2	令和元年度 試験研究成績書(作物研究室)	R3.1	209
県北 R2 No.3	平成25年度 試験研究成績書(作物研究室)	R3.1	72
県北 R2 No.4	平成24年度 試験研究成績書(作物研究室)	R3.1	118
県北 R2 No.5	令和2年度 試験研究成績書(園芸研究室)	R3.3	186

2 研究レポート(令和2年度発行分)

No.	試験研究成果名	担当研究室
995	リンドウ黒斑病に対する数種殺菌剤の防除効果	病理昆虫
996	水田雑草コウキヤガラの効果的な防除対策	水田利用
997	水稲栽培における圃場水管理システムの省力効果と節水効果	水田利用
998	レーザ制御を利用したロータリ耕起による耕盤の均平化	生産システム
999	高速高精度汎用播種機の水稲乾田直播栽培における作業性能	生産システム
1000	岩手県における水稲高密度播種苗の移植栽培法	生産システム
1001	水稲品種「金色の風」の生育ステージを予測できます	生産システム
1002	ウミネコおよびスズメに対する無人航空機の防除効果	生産システム
1003	令和2年 水稲の割れ粳発生状況及び玄米品質	生産システム
1004	令和2年7月下旬の一関遊水地における水稲冠水被害	生産システム
1005	補給型施肥による土壌化学性および収量の経年変化(水田)	土壌肥料
1006	水田における稲わらからのカリ溶出と土壌中へのカリ供給効果	土壌肥料
1007	水稲栽培に対する可変追肥技術の特徴	土壌肥料
1008	斑点米カメムシ防除剤(エクシードフロアブル)の効果	病理昆虫
1009	大豆・麦栽培で想定される緑肥作物の特性	土壌肥料
1010	大豆栽培における緑肥作物の効果	土壌肥料
1011	無人マルチローター(ドローン)による薬剤散布特性の把握(大豆)	病理昆虫
1012	薬用作物とうきの露地育苗における良苗生産・省力化技術	県北(作物)
1013	生産管理支援システムの導入・活用のポイント	農業経営
1014	集落営農組織における園芸作導入・定着のポイント	農業経営
1015	土壌養分の簡易評価で肥料が減らせるかを判定できます	土壌肥料
1016	りんご「大夢」の正品率向上のための摘果強度	果樹
1017	りんご「紅いわて」の1-MCP剤処理による鮮度保持効果	果樹
1018	りんご「ふじ」成木における果実品質を考慮した窒素施肥	土壌肥料
1019	土着天敵保護を目的に下草の高刈りを実施するりんご園地に生息するカブリダニ類	病理昆虫
1020	りんご園地における土着カブリダニ類保護のための下草管理	病理昆虫

No.	試験研究成果名	担当研究室
1021	土着カブリダニ保護体系を実施するりんご園地でのリンゴワタムシ防除対策	病理昆虫
1022	酒質に優れる赤ワイン向け醸造用ぶどう品種「アルモノワール」	果樹
1023	「FHフィルム」風呂敷包みによるフケ果の効果的抑止方法	野菜
1024	ハウスきゅうりにおける環境制御機器導入効果	野菜
1025	たまねぎ初冬どり作型に適するセット球のセルトレイ育苗法	県北(園芸)
1026	セット球を用いたたまねぎ初冬どり作型の栽培法	県北(園芸)
1027	冬期間のハウスを活用したたまねぎ春どり作型	県北(園芸)
1028	ナス果実小陥没症の原因は「褐色斑点病菌の担子孢子感染」	病理昆虫
1029	レタス根腐病(レース2)の耕種的な被害軽減対策	病理昆虫
1030	雇用型園芸経営における工程管理のポイント	農業経営
1031	補給型施肥により適正施肥を行いましょう(露地野菜)	土壌肥料
1032	黒毛和種県産種雄牛「飛良智(ひらとも)」の作出	種山畜産
1033	乳牛用TMRを活用した黒毛和種育成牛の飼料給与技術	外山畜産
1034	自給飼料主体発酵TMRを活用した黒毛和種育成牛の飼料給与技術	外山畜産
1035	玄米とくず大豆を活用した南部かしわ雌の飼料給与技術	家畜育種
1036	水はけの悪い採草地にはフェストロリウムを追播しよう	家畜飼養・飼料
1037	除染草地の簡易更新後は標準施肥を行いましょう	家畜飼養・飼料
1038	令和2年7月下旬の一関遊水地における大豆浸水・冠水被害の実態	水田利用

3 岩手県農業研究センター研究報告

(令和2年度:発行なし)

4 学会等研究報告

(1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

東北農業試験研究第63回発表会(コロナ禍のため発表会は中止)・東北農業研究(第73号)

○吉田 徳子 集落営農組織における園芸作の導入条件と支援方向 東北農業研究 73 : 107-108
○小向 昌啓・吉田 徳子・田中 英輝*1 *1 盛岡普及セ 岩手県水田作経営における春まきタマネギ導入モデル ―整数計画法による分析― 東北農業研究 73 : 109-110
○大野 浩・佐々木 真人*1 *1 一関普及セ わい性台木利用 ‘ふじ’ における樹形と強風による落果被害との関係 東北農業研究 73 : 59-60
○田代 勇樹 岩手県におけるキュウリ側枝4本つる下ろし栽培の適応性 東北農業研究 73 : 99-100
○熊谷 初美・横田 啓 春まきタマネギ栽培における ‘トタナ’ の収穫適期 東北農業研究 73 : 97-98
○小田島 芽里、高橋 良学 「稲わら秋施用施用による水田土壌の交換性カリ含量の経時変化」 第2報 土壌タイプによる施用効果の違い 東北農業研究 73: 13-14
○高橋 良乃・吉田 登*1・佐々木 睦美*2・昆野 勝 *1 県北広域振興局農政部・*2 一関農林振興センター 系統間交配によるロードアイランドレッドの形質改善 東北農業研究 73 : 47-48
○土谷 のぞみ・安田 潤平・米澤 智恵美・昆野 勝 超早期母子分離による日本短角種子牛への代用乳給与量と発育の知見 東北農業研究 73 : 49-50

Field Crops Research

Habtumu Assega Alemayehu, Gibrilla Dumbuya, Mehedi Hasan, Tilahun Tadesse, Shinsuke Nakajyo, Tomoaki Fujioka, Akira Abe, Maya Matsunami, Hiroyuki Shimono Genotypic variation in cold tolerance of 18 Ethiopian rice cultivars in relation to their reproductive morphology Field Crops Research 262:2-9
--

Acta Horticulturae (国際園芸学会)

○T. Yamaguchi (山口 貴之), T. Maeda (前田 智雄・弘前大) (2020) Asparagus production from autumn to winter in Japan: current status and novel techniques of the Fusekomi forcing culture Acta Horticulturae (1301)111-116
D. Z. K. Wambraw, T. Kashiwatani (柏谷 太亮・弘前大), A. Komura (小村 晶紀・弘前大), H. Hasegawa (長谷川 弘樹・弘前大), K. Narita (成田 香・弘前大), K. Honda (本多 和茂・弘前大), T. Maeda (前田 智雄・弘前大), ○T. Yamaguchi (山口 貴之) (2020) Effect of supplemental light on the quaality of green asparagus cultivated by winter Fusekomi forcing culture Acta Horticulturae (1301)91-96

Journal of General Plant Pathology

Tomoo Misawa*1 · Yasuya Iwadate · Daisuke Kurose*2
Phylogenetic analysis of the pathogen causing eggplant brown leaf spot
Journal of General Plant Pathology (2021) 87:123-126
*1 北海道立道南農試、*2 CABI UK

日本土壌肥料学会誌

○高橋 良学、桐山 直盛*1、島 輝夫*2
可給態窒素量に応じた雨よけトマトの窒素減肥技術
岩手県内の集落営農組織における園芸作導入の現状と課題
*1 農業普及技術課、*2 遠野農林振興センター

北日本病害虫研究会報

永坂 厚*・横田 啓*2・上杉 龍士*1・遠 瑞枝*1・笠井 友美*3・本庄 求*4・菅原 茂幸*4
東北地域の春まきタマネギにおけるネギアザミウマ防除がタマネギ腐敗病の発生に与える影響
北日本病害虫研究会報 71:62-68
*1 農研機構東北農業研究センター・*2 岩手県農業研究センター・*3 福島県農業総合センター・*4 秋田県農業試験場

横田 啓・熊谷 初美・佐々木 達史
春まきタマネギ栽培における殺虫剤と細菌防除剤の併用がりん茎の腐敗および収量に及ぼす影響
北日本病害虫研究会報 71:69-74

横田 啓・福田 拓斗・熊谷 初美・佐々木 達史
春まきタマネギ栽培のネギアザミウマに対する各種殺虫剤の評価
北日本病害虫研究会報 71:210

岩館 康哉・佐々木 陽菜*1
ナス褐色斑点病および果実の小陥没症に対する数種薬剤の防除効果
北日本病害虫研究会報 71:80-83
*1 久慈農業改良普及センター

岩館 康哉
ナス褐色斑点病および果実の小陥没症に対する感受性の品種間差異
北日本病害虫研究会報 71:84-87

中野 央子
斑点米カメムシ類に対する数種薬剤の効果
北日本病害虫研究会報 71:97-99

加藤 真城
岩手県の現地リンゴ園の樹上及び下草に生息するカブリダニ類
北日本病害虫研究会報 71:213

猫塚 修一*1・名久井 一樹*2・遠藤 歩美
リンゴ黒星病の発生に関するリスク要因分析
北日本病害虫研究会報 71:90-96
*1 農業普及技術課、*2 宮古農業改良普及センター

佐藤 千穂子
岩手県におけるネギ葉枯病の発生特徴
北日本病害虫研究会報 71:198

吉田 雅紀・猫塚 修一*1
岩手県における大豆の害虫による子実被害の傾向
北日本病害虫研究会報 71:207
*1 農業普及技術課

東北の雑草

○小野 直毅
ダイズ作における固定タイン式除草機のアレチウリ防除効果
東北の雑草 第20号 (令和3年3月)

(2)学会発表(発表要旨)

日本作物学会 第248回講演会(2020.9.3~9.4 オンライン開催)

○小舘琢磨*1,2・藤岡智明*1・仲條眞介*1・岡留博司*3・安江紘幸*4・小出章二*2,5
*1 岩手県農業研究センター・*2 岩手大学大学院連合農学研究科・*3 農研機構本部・*4 農研機構東北農業研究センター・*5 岩手大学農学部
タンパク質含有率が異なる低アミロース米のとう精特性の経時変化
日本作物学会第250回講演会要旨集:24.

日本作物学会 第251回講演会(2021.3.29 オンライン開催)

○小舘 琢磨*2・高橋 修斗*3・小室 岬*4・藤岡 智明*1・仲條 眞介*1・小出 章二*2,5
*1 岩手県農業研究センター・*2 岩手大学大学院連合農学研究科・*3 岩手大学大学院総合科学研究科・*4 岩手大学技術部・*5 岩手大学農学部)
タンパク質含有率が異なる低アミロース米の玄米内部構造と糊化特性
日本作物学会第251回講演会講演要旨集:P109.
○藤岡 智明*1・仲條 眞介*1・小舘 琢磨*1・阿部 陽*2
*1 岩手県農業研究センター・*2 岩手生物工学研究センター
「ひとめぼれ」に様々な農業形質関連遺伝子領域を集積した系統の着粒構造の比較
日本作物学会第251回講演会講演要旨集:P108.

日本官能評価学会 2020年大会(2020.11.29 オンライン開催)

○小舘 琢磨・藤岡 智明・仲條 眞介
岩手県農業研究センター
トレハロースを添加した低アミロース米“きらほ”の食味官能評価および米飯物性の特徴
日本官能評価学会2020年大会発表要旨集:P13.

農業食料工学会東北支部 2020年大会(2020.12.19 オンライン開催)

○高橋 修斗 *1・小出 章二 *1,2・折笠 貴寛 *1,2・小舘 琢磨 *3・佐々木 邦明 *4
*1 岩手大学大学院総合科学研究科・*2 岩手大学農学部・*3 岩手県農業研究センター・*4 岩手大学地域連携推進センター
炊飯米を乾燥させた「アルファ化米」の米飯品質の評価
農業食料工学会東北支部:P20.

園芸学会(令和3年度春季大会:2020.3.27~28開催 オンライン開催. 20(別1): 2021.3月発行)

○横田 啓
春まきタマネギ栽培における地干し期間が葉鞘水分率と腐敗及ぼす影響
2021.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 20(別1): 269.

令和2年度 日本土壌肥料学会岡山大会(2020.9.8~10オンライン開催)

○高橋 良学・島 輝夫*1
減肥技術導入判断のための土壌養分含量の簡易評価手法
*1 遠野農林振興センター

令和2年度 日本土壌肥料学会東北支部大会(2020.12.4オンライン開催)

○高橋 良学・小田島 芽里・伊藤 美穂
岩手県におけるかんがい水の養分実態とその変化

令和2年度日本植物病理学会東北支部会(2020.10.9~12 盛岡市 オンライン開催)

○岩館 康哉
ナス果実の小陥没症は *Thanatephorus cucumeris* (*Rhizoctonia solani* AG-3 TM) の担子胞子感染により生じる
日本植物病理学会報 87(1):17(講要)

2020年度日本草地学会新潟オンライン大会(2021.3.20~26・新潟大学)

○佐藤 真
 湿害のある経年採草地へのフェストロリウム追播効果

東北農業試験研究第63回発表会(発表会は中止)

○吉田 徳子
 集落営農組織における園芸作の導入条件と支援方向
 第63回東北農業試験研究発表会講演概要

○小向 昌啓・吉田 徳子・田中 英輝*1
 *1 盛岡農業改良普及センター
 岩手県水田作経営における春まきタマネギ導入モデル ―整数計画法による分析―
 第63回東北農業試験研究発表会講演概要

○大野 浩・佐々木 真人*1
 * 1 一関農業改良普及センター
 わい性台木利用‘ふじ’における樹形と強風による落果被害との関係
 東北農業研究 73:59-60

○田代 勇樹
 岩手県におけるキュウリ側枝4本つる下ろし栽培の適応性
 第63回東北農業試験研究発表会講演概要

○熊谷 初美・横田 啓
 春まきタマネギ栽培における‘トタナ’の収穫適期
 第63回東北農業試験研究発表会講演概要

○小田島 芽里、高橋 良学
 「稲わら秋施用施用による水田土壌の交換性カリ含量の経時変化」第2報 土壌タイプによる施用効果の違い
 第63回東北農業試験研究発表会講演概要

○高橋 良乃・吉田 登*1・佐々木 睦美*2・昆野 勝
 *1 県北広域振興局農政部・*2 一関農林振興センター
 系統間交配によるロードアイランドレッドの形質改善
 第63回東北農業試験研究発表会講演概要

○土谷 のぞみ・安田 潤平・米澤 智恵美・昆野 勝
 超早期母子分離による日本短角種子牛への代用乳給与量と発育の知見
 第63回東北農業試験研究発表会講演概要

農業情報学会2020年大会(2020.5.23~24 開催・オンライン)

○前山 薫・千田 裕1
 1 八幡平普及セ
 露地野菜作経営におけるスマート農業技術体系データ作成と評価
 農業情報学会2020年度年次大会講演要旨集:13-14

○吉田 徳子・前山 薫
 水田作経営における生産管理支援システムの導入条件
 農業情報学会2020年度年次大会講演要旨集:132-133

東北農業経済学会福島大会(2020.11.21開催・オンライン)

○吉田 徳子・安江 紘幸1・朴 壽永2
 1 農研機構 東北農研セ・2 県立広島大学
 園芸作に取り組む集落営農組織の特徴と今後の展開
 東北農業経済学会福島大会個別報告要旨集:21

5 雑誌等掲載

(1) 専門雑誌等

果実日本(日本園芸農業協同組合連合会)

大野 浩

「果樹園管理のポイント(リンゴ)」

令和2年4～12月号

月刊「植物防疫」(一般社団法人 日本植物防疫協会)

横田 啓

研究報告「春まきタマネギ栽培におけるネギアザミウマ防除対策と殺虫剤・細菌防除剤の併用がりん茎の腐敗及び収量に及ぼす影響」

2021年2月号(第75巻第2号)

松橋 伊織・佐々木 裕二・佐藤 美和子*1、小原 善一*2、岩館 康哉*3

新技術解説「PMMoV L⁴打破系統(病原型P_{1,2,3,4})のピーマンモザイク病に対する当面の防除対策について」

2020年12月号

*1 奥州農業改良普及センター、*2 岩手県農林水産部、*3 岩手県農業研究センター

畜産技術(畜産技術協会)

吉田 力

ドローン空撮画像を用いた経年草地の裸地率等の推定手法

2021年3月号

特産種苗(公益財団法人 日本特産農作物種苗協会)

菅 広和

「岩手県における雑穀種子の生産・供給について」

2020年10月号(No.31)

植調(公益財団法人 日本植物調節剤研究協会)

小野 直毅

「固定タイン式除草機を用いたアレチウリの除草技術」

第55巻第1号(令和3年4月発行予定)

小野 直毅

「菓草作物(トウキ・センキュウ)における機械除草技術」

第55巻第2号(令和3年5月発行予定)

(2) 岩手の畜産(令和2年5月号～令和3年3月号)

5月号	佐藤 真	圃場管理システムのデータ活用例
7月号	高橋 良乃	飼料用米ソフトグレインサイレージ多給による南部かしわの発育と産肉性への影響
9月号	土谷 のぞみ	日本短角種一産取り肥育で生産された牛肉の消費者嗜好
11月号	高橋 優希	とうもろこし子実サイレージの乳牛への給与技術
1月号	安田 潤平	枝肉画像解析による脂肪交雑の形状評価
3月号	尾張 利行	乳牛用TMRを活用した黒毛和種育成牛への飼料給与技術

(3) その他の雑誌等

JATAFFジャーナル

石川 勝規・大野 浩

岩手県における醸造用ブドウの垣根仕立て栽培技術を基軸とした生産振興

(公社)農林水産・食品産業技術振興協会, 9巻1号

田代 勇樹

キュウリ先端肥大症の発症要因解明と対策技術の確立

(公社)農林水産・食品産業技術振興協会, 9巻2号(令和3年2月号)

グリーンレポート

白木 正俊

施肥技術セミナー「堆肥施用による転作大豆の増収効果と倒伏軽減のための減肥対応」

おがくず牛ふん堆肥施用による地力アップと可給態窒素に応じた減肥事例

JA全農 耕種総合対策部, 2021年2月号

作物生産と土づくり

白木 正俊

補給型施肥による大豆の生育及び収量

一般財団法人 日本土壌協会 2020年10・11月号

肉牛ジャーナル

家畜育種研究室

岩手県における試験研究成果と取組中の研究課題について

2020年11月号

種山畜産研究室

種雄牛広告(「飛良智」「沢百合茂」)

令和2年5月号

種雄牛広告(「安久勝晃」)

令和2年10月号

養牛の友

種山畜産研究室

種雄牛広告(「飛良智」「沢百合茂」)

令和2年5月号

種雄牛広告(「安久勝晃」)

令和2年10月号

DAIRYMAN

高橋 優希

トウモロコシ子実サイレージの自給濃厚飼料としての可能性

2020年 第70巻第8号8月号

荒谷 祐介

反すうセンサを活用し周産期疾病をモニタリング 第四胃変位早期発見の可能性も

2020年 第70巻第10号10月号

佐藤 真

不耕起と除草剤を組み合わせたトウモロコシ畑の外來雑草防除 3年継続すると発生減少

2020年 第70巻第9号9月号

吉田 力

ドローン空撮画像から草地の精密な裸地率を推定 追播や更新が必要な区画を効率的に把握できる

2020年 第70巻第11号11月号

昆野 勝

活動量増加持続時間から発情判定、選別精液の受胎率向上を確認

2020年 第70巻第12号12月

吉田 力、増田 隆晴

完全更新と同等の収量で施工コストは88%に低減 硬盤破砕と表層攪拌による草地更新技術

2021年 第71巻第2号2月号

(4) ホームページ等Web掲載

日本政策金融公庫ホームページ「技術の窓」

家畜飼養・飼料研究室 「ともろこし子実サイレージの乳牛への給与技術」 R2.8.25
外山畜産研究室 「BLE通信技術を持ちいた放牧牛群の簡易な個体確認手法の確立」 R3.1.25

6 新聞等掲載

部所名	記事見出し	掲載紙	掲載年月日
企画管理部			
研究企画室			
	最新の自然科学地域に一般公開 県研センター	岩手日報	R2.9.6
	世界のナスに興味深々 研究成果を公開 県農研と岩手生物工学セ	岩手日日新聞	R2.9.6
総務課			
	飲酒運転根絶、マナー徹底誓う 県農研センター 交通安全誓約書 北上	岩手日日新聞	R2.7.22
○農業科学博物館			
	ツバキの実使いブローチ作り 親子体験学習会	岩手日日新聞	R2.8.4
	親子でまゆ細工作り 来月、県立農業科学博物館 北上	岩手日日新聞	R2.9.13
	繭細工愛らしく マスコット作り親子が体験	岩手日日新聞	R2.10.5
	世代超え伝統文化体験 農業科学博物館 しめ飾り作り	岩手日日新聞	R2.12.21
園芸技術研究部			
果樹研究室			
	ブドウ大粒種 可能性探る 大迫で検討会 農家ら情報共有 花巻	岩手日日新聞	R2.10.7
	大粒ブドウ適合品種探る 全農県本部検討会 花巻	岩手日報	R2.10.7
野菜研究室			
	育苗施設でパブリカ 溶液栽培 普及に力 県農業研究センター	岩手日報	R2.11.22
花き研究室			
	青のリンドウを育成 高い開花斉一性 岩手県	日本農業新聞(全国版)	R2.4.29
	八重咲きリンドウ新品種 県農研センター開発 花持ち良く、ボリューム感も	岩手日日新聞	R2.10.7
南部園芸研究室			
	新品種イチゴ生育順調 東北に適した「そよかの」陸前高田の県の研究所で	東海新報	R2.6.6
	先端技術で地域復興へ イチゴを2年栽培	日本農業新聞(全国版)	R3.3.11
生産環境研究部			
土壌肥料研究室			
	簡易土壌分析法を開発 県農研センター 肥料コスト削減期待 北上	岩手日報	R3.2.18
	土づくり効率的に 手軽な分析手法確立 環境保全にも期待 北上の県農業研究センター	岩手日日新聞	R3.2.18
	土壌の養分量 新測定法 県研究センター 低コスト 肥料減も	読売新聞	R3.2.25
	効率的な施肥でコスト低減 水稲鉄コーティング湛水直播栽培 岩手県農業研究センター 肥効調節型肥料を開発	全国農業新聞	R2.11.13
病害虫防除部			
病害虫防除課			
	リンゴ黒星病 早期感染懸念 県病害虫防除所注意報発行	岩手日日	R2.4.11
	リンゴ「黒星病」防除を呼び掛け 県が注意報	岩手日報	R2.4.11
	リンゴ黒星病で注意報 開花前に防除を	日本農業新聞	R2.4.11
	リンゴ黒星病の早期感染懸念 県全域 発生への注意報出し啓発	盛岡タイムス	R2.4.11
	リンゴ黒星病に注意を 県が病害虫発生予察情報	東海新報	R2.4.14
	ネギハモグリバエ・ネギアザミウマ多発 岩手県病害虫防除所	日本農業新聞	R2.6.25
	りんご黒星病に注意を 県が農作物病害虫防除速報	東海新報	R2.6.26
	ネギ生産者に注意喚起 県が病害虫発生予察情報	東海新報	R2.7.1
	葉いもちの防除対策を 県内で発生確認	東海新報	R2.7.5
	カメムシ被害 防除対策徹底を 県内 リンゴ	岩手日日	R2.7.10
	カメムシ被害多発 果樹防除へ注意報	岩手日報	R2.7.10
	リンゴに被害 カメムシ注意 岩手県病害虫防除所	日本農業新聞	R2.7.10
	リンゴ褐斑病 全域に注意報 岩手県病害虫防除所	日本農業新聞	R2.7.14
	ネギのさび病に注意を 農作物病害虫防除速報	東海新報	R2.7.15
	キュウリ褐斑病に注意 県が病害虫防除速報	東海新報	R2.7.16

部所名	記事見出し	掲載紙	掲載年月日
病害虫防除課(続き)	カメムシ類の対策を 水稻で病害虫防除速報	東海新報	R2.7.17
	カメムシ大量発生 県 防除呼びかけ	読売新聞	R2.7.17
	いもち、東磐井で多発 県が早期防除呼び掛け	岩手日日	R2.7.18
	県内日照少なく多雨 農作物管理に要注意 水稻、葉いもち病が発生	岩手日報	R2.7.18
	いもち病注意報 茎葉散布徹底を 岩手県病害虫防除所	日本農業新聞	R2.7.18
	水稻のいもち病に注意 県が病害虫発生予察情報	東海新報	R2.7.19
	日照時間少なく農作物管理に注意	NHK(盛岡)	R2.7.21
	天候不順広がる懸念 野菜、収量落ち高値に 水稻、いもち病に警戒	岩手日報	R2.7.22
	いもち病 蔓延警戒 長雨、日照不足続く	岩手日日	R2.7.23
	農作物管理徹底を 県が技術情報 日照不足と低温で	岩手日日	R2.7.23
	キュウリの褐斑病と炭疽病 全県で多発、注意を	盛岡タイムス	R2.7.23
	キュウリの薬剤防除を 県が病害虫発生予察情報	東海新報	R2.7.25
	キュウリ褐斑病炭疽病発生注意 岩手県病害虫防除所	日本農業新聞	R2.7.25
	水稻とリンゴ 病害虫に注意 岩手県病害虫防除所	日本農業新聞	R2.7.29
	斑点米カメムシ類防除を 県が病害虫発生予察情報	東海新報	R2.8.11
	水稻の病害虫に注意 県が防除速報 いもち病とカメムシ類	東海新報	R2.8.14
	ネギの重点防除時期に 農作物病害虫防除速報	東海新報	R2.8.15
	水稻出穂迎える 岩手 斑点米に警戒 山形 いもち病防除を	日本農業新聞	R2.8.15
	ツマジロクサヨトウを初確認 県が病害虫発生予察情報発表	岩手日日	R2.8.22
	害虫ツマジロクサヨトウ 県内初確認 北上	岩手日報	R2.8.22
	ツマジロクサヨトウ初確認 岩手県病害虫防除所	日本農業新聞	R2.8.22
	県内未発生の害虫確認 ツマジロクサヨトウ 早期発見を呼びかけ	東海新報	R2.8.27
	県内で別系統を初確認 注意呼びかけ ネギハモグリバエ	東海新報	R2.8.29
	幼虫による食害初確認 ツマジロクサヨトウ 県が早期発見呼びかけ	東海新報	R2.9.8
	黄色斑紋病斑の防除を ネギ生産者らに周知 県が「速報」発表	東海新報	R2.9.26
	県内で初めてネギリゾクトニア葉鞘腐敗病確認 岩手県	農業協同組合新聞	R3.2.10
ネギの防除対策呼びかけ 県内で新たな腐敗病確認 病害虫防除所	東海新報	R3.2.12	
畜産研究所			
家畜飼養・飼料研究室	堆肥活用で省力、高収量化 飼料用トウモロコシ栽培に新技術	盛岡タイムス	R2.5.6
	外山畜産研究室		
	確認時間8割削減	日本農業新聞	R2.4.20
	放牧牛見守りにICT スマホで牧場の看視作業	盛岡タイムズ	R2.5.2
種山畜産研究室			
	岩手県種雄牛「飛良智」を選抜 枝重、ローズ芯歴代最高	日本農業新聞	R2.5.2
	本県種雄牛に新エース 黒毛和牛「飛良智」選抜 枝肉重量が過去最高 肉質も歴代2位	岩手日報	R2.6.8
	本県黒毛和種けん引の種雄牛 菊福秀大往生 子の前沢牛が日本一 畜産関係者、功績に感謝	岩手日報	R3.1.15
県北農業研究所			
	現場で探るスマート農業 県、県北地域で研修会	岩手日報	R2.10.31
作物研究室			
	トラクターの自動操舵実演 スマート農業研修会 関係者ら70人参加 軽米	デーリー東北	R2.11.4
	外来植物「アレチウリ」問題化 二戸市内、農作物の生長阻害	岩手日報	R2.11.7

7 テレビ・ラジオ放送

(1) テレビ

部所名	出演者	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
園芸技術研究部	花き研究室長 内藤 善美 他	ニュース 八重咲きりんどう「いわてDRG PB-1号」の育成について	岩手朝日テレビ	R2.6.9	有
園芸技術研究部	園芸技術研究部長 三田 重雄 他	ニュース 八重咲きりんどう「いわてDRG PB-1号」の育成について	NHK盛岡放送局 岩手めんこいテレビ	R2.10.6	有
園芸技術研究部	専門研究員 小澤 傑	ニュース 八重咲きりんどうの品種育成について	北上ケーブルテレビ	R2.12.21	有
県北農業研究所 作物研究室	首席専門研究員兼 作物研究室長 大里 達朗	いわてめんこいテレビ「山海漬」知るほどうまいそば大特集 (岩手県におけるそば栽培の状況と韃靼そばについて紹介)	岩手めんこいテレビ	R2.11.28	無

(2) ラジオ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
(なし)					

8 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
企画管理部				
農業経営研究室	吉田 徳子	個別技術紹介「技術名称:営農管理システム」	岩手県スマート農業事例集Ver.2	R3.3
	小向 昌啓	スマート農業技術の導入・活用に関するアンケート結果(速報集計)	岩手県スマート農業事例集Ver.2	R3.3
	吉田 徳子	生産管理支援システムの導入・活用のポイント	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」成果集	R3.3
生産基盤研究部				
水田利用研究室	田村 和彦	雑草防除(水稲)	2021年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
	木村 陽子 齋藤 智子	雑草防除(畑作物)	2021年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
生産システム研究室	藤尾 拓也	FARMATEスタートアップガイド	FARMATEスタートアップガイド	R3.3
	藤尾 拓也	低コスト環境センサの特性と施設園芸での活用	低コスト環境センサの特性と施設園芸での活用	R3.3
	吉田 宏	レーザー制御ロータリ耕起による耕盤均平技術	先端技術を活用した水稲の生育ムラ改善策	R3.3
	山口 貴之	ドローンを用いた鳥類防除技術導入マニュアル	ドローンを用いた鳥類防除技術導入マニュアル	R3.3
	吉田 宏	高速高精度汎用播種機を利用した水稲乾田直播栽培	岩手県沿岸南部地域向け栽培マニュアル	R3.3
園芸技術研究部				
果樹研究室	大野 浩 高橋 藍 西田 絵梨香 遊佐 公哉 石川 勝規	令和3年度 果樹栽培指導要項	令和3年度 果樹栽培指導要項	R3.3
果樹研究室	高橋 藍	果樹雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針	2021年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
野菜研究室	横田 啓 佐々木達史	雑草防除及び成長調整剤使用指針(野菜)	2021年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
野菜研究室 南部園芸研究室	佐藤 春菜 田代 勇樹 漆原 昌二 高橋 大輔	きゅうり小規模施設における最小限の環境制御技術導入の手引き	きゅうり小規模施設における最小限の環境制御技術導入の手引き	R3.3
野菜研究室	田代 勇樹 佐藤 春菜	フケ果対策マニュアル	フケ果対策マニュアル	R3.3
花き研究室	佐々木 忍	雑草防除及び成長調整剤使用指針(花き)	2021年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
南部園芸研究室	佐藤 聡太	イチゴ栽培基礎資料(No.1~10)	食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装)に係る講義資料	R2.5~12

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
生産環境研究部				
土壌肥料研究室	伊藤 美穂	土づくり・施肥改善研修会資料	令和2年度土づくり・施肥改善研修会資料	R2.11
	高橋 良学	減肥技術導入判断のための土壌養分簡易評価マニュアル	減肥技術導入判断のための土壌養分簡易評価マニュアル	R3.3
	小田島 芽里 伊藤 美穂	先端技術を活用した水稻の生育ムラ改善策	「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」成果集・マニュアル	R3.3
	小田島 芽里	可変追肥における収量ばらつき軽減と増収効果	「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」成果概要パンフレット	R3.3
病理昆虫研究室	西村 穂花	防除指導資料(水稻病害、資材消毒、展着剤の利用)	令和3年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
	中野 央子	防除指導資料(水稻・畑作害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	令和3年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
	岩舘 康哉	防除指導資料(畑作、土壌病害)	令和3年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
	武田 純子	防除指導資料(野菜害虫)	令和3年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
	羽田 厚	防除指導資料(果樹・花き病害)	令和3年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
	加藤 真城	防除指導資料(果樹・花き害虫)	令和3年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
病害虫防除部				
病害虫防除課	福田 拓斗	農薬安全使用指針	令和3年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
畜産研究所				
家畜飼養・飼料研究室	佐藤 真	防除指導資料(牧草・飼料作物)	2021年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R3.3
	佐藤 真	多年性ライグラス追播によるオーチャードグラス経年草地の湿害低減技術	気象リスクに対応した安定的な飼料作物生産技術の開発①	R3.3
	佐藤 真	東北地域における極早生トウモロコシ品種栽培による台風被害軽減技術	気象リスクに対応した安定的な飼料作物生産技術の開発②	R3.3
	高村 聡美	草地における放射性物質対策のためのカリ施肥	(改訂版)草地における放射性物質対策のためのカリ施肥	R3.3
県北農業研究所				
作物研究室	小野 直毅	薬用作物栽培の手引き～薬用作物の国内生産拡大に向けて～ トウキ編	薬用作物栽培の手引き(事業成果として公開) 農林水産省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術開発」薬用作物コンソーシアム	R3.3
	小野 直毅	トウキ露地育苗における良苗生産・省力化技術マニュアル	トウキ露地育苗における良苗生産・省力化技術マニュアル(県内向けに農研HPで公開) 農林水産省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術開発」薬用作物コンソーシアム	R3.3

9 図書資料収集・提供

項目	冊数・人数
総蔵書数	74,098 冊
令和2年度収集図書数	417 冊
学会誌	24 冊
資料	39 冊
研究報告	94 冊
気象	8 冊
記録誌	0 冊
国関係刊行物	0 冊
社団法人	0 冊
財団法人	11 冊
図鑑	0 冊
総記	2 冊
単行本	0 冊
定期	1 冊
統計	105 冊
図書	4 冊
洋雑誌	2 冊
CD-ROM	10 冊
雑誌	117 冊
図書室利用者数(延べ)	115 名
同貸し出し冊数	189 冊

※数値はいずれもセンター本部のみ(2021/3/31現在)

10 ホームページ

項目	件数	内訳
入力件数	研究レポート	45 令和2年度発行分(No.994~1038)
	試験研究成果	45 令和2年度試験研究成果書
	らぼ・れたあ	51 No. 1~51(研究室だより)
	行事予定	4 一般公開デー、研究成果発表会、親子体験学習会
	各種資料	23 令和元年度業務年報、先端プロ成果マニュアル、機関評価結果
	農業科学博物館	3 企画展第84~85回開催案内、農業ふれあい公園だより 第28号
	その他	2 令和2年度組織体制

11 SNS(Twitter、Facebook)

	記事投稿数	新規フォロワー数	総フォロワー数	総閲覧数 [※]
Twitter	388	386	3,065	672,920
Facebook	245	85	595	32,526

※Twitterはツイートインプレッション、Facebookは合計リーチの年間合計

V 指導・啓発活動

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
農産園芸課主催 企画管理部 農業経営研究室 生産基盤研究部 生産システム研究室 作物育種研究室 生産環境研究部 土壌肥料研究室	R2.7.27	北上市 (農業研究センター)	令和2年度第1回稲作コスト低減研修会 ・生産費の把握方法・低減のポイント ・施肥コスト削減に向けた土壌蓄積養分の簡易評価手法 ・岩手県における水稲育種の取組 ・農業研究センターからの情報提供 ・無コーティング湛水直播の取組	144名
企画管理部 農業経営研究室 生産基盤研究部 水田利用研究室 生産システム研究室	R3.2.9	北上市 (農業研究センター)	令和2年度第2回稲作コスト低減研修会 ・岩手県における水稲高密度播種苗の移植栽培法 ・高速高精度汎用播種機の作業性能 ・遠隔自動給水栓の省力効果と節水効果 ・大規模経営における生産管理支援システムの導入・活用条件	97名
農業普及技術課農業革新支援担当主催 生産基盤研究部 生産システム研究室	R2.8.5 R2.8.28	一戸町奥中山 奥州市	いわて環境制御技術セミナー(先端プロ社会実装・実証研究)	65名
農研機構東北農業研究センター主催 企画管理部 農業経営研究室 園芸技術研究部 野菜研究室	R3.3.4	盛岡市 (岩手教育会館)	東北地域タマネギ栽培セミナー (2)大規模水田作における春まきタマネギ導入のための技術開発と現地実証 岩手県農業研究センター 横田 啓、小向 昌啓	240名
【新技術・普及活動検討会】(農業普及技術課農業革新支援担当主催)				
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室 種山畜産研究室	R3.2.1	滝沢市 (畜産研究所)	令和2年度新技術・普及活動検討会(畜産)	21名
企画管理部 農業経営研究室 生産基盤研究部 水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室 生産環境研究部 土壌肥料研究室 病理昆虫研究室 県北農業研究所 作物研究室	R3.1.28	北上市 (農業研究センター)	令和2年度新技術・普及活動検討会(作物)	31名
園芸技術研究部 花き研究室	R3.3.5	北上市 (農業研究センター)	令和2年度普及指導員調査研究活動(花き)成果検討会	25名
園芸技術研究部 果樹研究室 生産環境研究部 土壌肥料研究室 病理昆虫研究室 病害虫防除部 病害虫防除課	R3.1.21～22	北上市 (農業研究センター)	令和2年度新技術・普及活動検討会(果樹)	30名

担当部所	開催期日	開催場所	内容	参集人員
企画管理部 農業経営研究室 園芸技術研究部 野菜研究室 南部園芸研究室 生産環境研究部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	R3.1.26	北上市 (農業研究センター)	令和2年度新技術・普及活動検討会(野菜)	45名
企画管理部 農業経営研究室	R3.1.29	盛岡市 (マリオス)	令和2年度新技術・普及活動検討会(経営)	34名

【普及指導員専門技術研修】(革新担当北上駐在主催)

生産基盤研究部 水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室	R2.8.20～21	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)	4名
生産システム研究室	R2.6.18 R2.8.24 R2.10.13	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ) ※上記以外対応日	4名
	R2.6.30 R2.8.5 R2.8.28 R2.9.25 R2.11.10	北上市(センター本部) 一戸町奥中山 奥州市 北上市(センター本部) "	スペシャリスト養成研修(野菜・環境制御技術)	3名
園芸技術研究部 果樹研究室	R2.6.16～18 R2.9.15～18 R2.10.13～16 R2.12.15～18	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹)	1名
	R2.12.17 R3.2.16	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(りんご)	4名
	R2.9.15 R3.2.10	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(醸造ぶどう)	3名
	R2.6.17 R2.9.16 R3.2.4	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(地域特産果樹)	2名
野菜研究室	R2.7.15	北上市 (農業研究センター) 花巻市 (現地圃場)	スペシャリスト養成研修(土地利用型野菜) 第Ⅰ期	6名
	R3.3.15	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(土地利用型野菜) 第Ⅲ期	2名
	R2.11.10	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・環境制御技術、第4回)	3名
	R2.12.15	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(養液栽培技術)	10名
	R2.7.1～2	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅰ期)	5名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
野菜研究室(続き)	R2.7.28	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅱ期)	5名
	R2.9.16	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅲ期)	5名
花き研究室	R2.6.23～24	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花きⅠ期)	2名
	R2.9.1	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花きⅡ期)	2名
	R2.10.12	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花きⅢ期)	2名
南部園芸研究室	R2.10.14	陸前高田市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅳ)	6名
生産環境研究部 土壌肥料研究室	R2.7.30	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅰ)	5名
	R2.10.13			
	R2.10.14	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(果樹)	3名
病理昆虫研究室	R2.6.19	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	4名
	R2.7.20	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(果樹 土壌・病害Ⅰ)	2名
	R2.9.15,19	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅲ)	5名
	R2.9.17	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(果樹 土壌・病害Ⅰ)	3名
病虫害防除部 病虫害防除課	R2.11.26	北上市 (農業研究センター)	普及職員新任者研修Ⅰ 及び普及活動基本研修Ⅰ	12名
	R2.7.20	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜)	5名
	R2.7.30	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	5名
	R2.9.2	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花き) 及びスペシャリスト養成研修(花き)	4名
	R2.9.17	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基礎研修(果樹)、 スペシャリスト養成研修(果樹)	3名
畜産研究所	R2.7.27～31	滝沢市、盛岡市 (畜産研究所、外山畜産研究室)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅰ期)	3名
	R2.10.6、8	滝沢市、住田町 (畜産研究所、種山畜産研究室)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅱ期)	3名
種山畜産研究室	R2.11.16	住田町(種山畜産研究室)	スペシャリスト養成研修(肉用牛)	6名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
県北農業研究所 園芸研究室	R2.9.17	軽米町 (県北農業研究所)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	5名

【岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会】(農業普及技術課農業革新支援担当主催)

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
園芸技術研究部 野菜研究室	R2.7.15	花巻市太田 (JAいわて花巻)	技術対策部会 春まきタマネギ現地検討会	50名
病虫害防除部 病虫害防除課	R2.12.16	北上市 (農業研究センター)	りんどう・小ぎく実績検討会	33名

【病虫害防除に関する研修】(岩手県病虫害防除所主催)

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
病虫害防除部 病虫害防除課	R2.12.7	北上市 (農業研究センター)	病虫害防除実績検討会【農産部会】 (対象:病虫害防除指導に係る関係機関・団体)	78名
病虫害防除課	R2.12.11	北上市 (農業研究センター)	病虫害防除実績検討会【野菜部会】 (対象:同上)	44名
病虫害防除課	R2.12.16	北上市 (農業研究センター)	病虫害防除実績検討会【花き部会】 (対象:同上)	31名
病虫害防除課	R2.12.18	北上市 (農業研究センター)	病虫害防除実績検討会【果樹部会】 (対象:同上)	42名
病虫害防除課	R2.12.18	北上市 (農業研究センター)	病虫害防除指導者研修会 (対象:同上)	57名
病虫害防除課	R2.6.26	北上市 (農業研究センター)	農薬適正使用研修会 (対象:農薬管理使用アドバイザー、産直関係者等)	35名

2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
企画管理部				
農業経営研究室				
前山 薫 吉田 徳子	令和2年度第1回生産技術体系・営農類型策定 ワーキングチーム会議	R2.11.19	農業振興課	盛岡市
前山 薫 吉田 徳子	令和2年度第2回生産技術体系・営農類型策定 ワーキングチーム会議	R3.1.28	農業振興課	盛岡市
前山 薫	令和2年度土地改良事業営農推進対策委員会・ 幹事会合同現地検討会	R2.9.10	農村計画課	盛岡市
前山 薫	令和2年度土地改良事業営農推進対策委員会中 央幹事会	R3.2.8	農村計画課	盛岡市
前山 薫	岩手県認定農業者組織連絡協議会稲作部会との 意見交換会	R3.2.25	岩手県認定農業者組織連絡 協議会	盛岡市
藤澤 真澄	岩手県版農業生産工程管理(GAP)審査委員会 (第8回)	R2.7.8	農業普及技術課	盛岡市
前山 薫	岩手県版農業生産工程管理(GAP)審査委員会 (第9回)	R2.9.16	農業普及技術課	盛岡市
小向 昌啓	岩手県版農業生産工程管理(GAP)審査委員会 (第10回)	R2.12.16	農業普及技術課	盛岡市
前山 薫	第52回特産農作物生産振興共進会(ホップ部門) 審査委員会	R2.12.23	農産園芸課	盛岡市
前山 薫	第52回特産農作物生産振興共進会(葉たばこ部 門)審査委員会	R3.3.29	農産園芸課	滝沢市
吉田 徳子	令和2年度岩手県農業農村整備事業地区担い手 育成協議会	R2.10.28	農村計画課	盛岡市
小向 昌啓	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第1回 WG会議	R2.6.29	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
小向 昌啓	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第2回 WG会議	R2.8.3	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
小向 昌啓	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第7回 WG会議	R3.1.8	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
小向 昌啓	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第8回 WG会議	R3.2.12	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
小向 昌啓	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第9回 WG会議	R3.3.11	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
生産基盤研究部				
水田利用研究室				
小野寺 健一 田村 和彦	日本技術士会東北本部岩手支部 農業研究会現 地研修会	R2.11.17	日本技術士会東北本部岩手 支部	北上市 (農業研究セン ター) 花巻市
小野寺 健一 八重樫 耕一	農業振興技術連盟中堅技術者研修会	R2.11.13	岩手県農業振興技術連盟	盛岡市
小野寺 健一	農地整備事業後藤川地区に係る「暗渠排水工事」 及び「自動給水管理システム」研修会	R3.2.10	盛岡地方振興局農政部農村 整備室	八幡平市
木村 陽子	令和2年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成 研修	R3.1.14 R3.1.25	岩手県	北上市 (農業研究セン ター) 滝沢市 (産業文化セン ター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
生産システム研究室				
吉田 宏	第1回稲作コスト低減研修会	R2.7.27	農産園芸課	北上市 (農研センター)
吉田 宏 小原 あつ子 田村 和彦	第2回稲作コスト低減研修会	R3.2.9	農産園芸課	北上市 (農研センター)
藤尾 拓也	日本養液栽培研究会・夏の学校Web講義	R2.10.30	日本養液栽培研究会	オンライン開催
藤尾 拓也	東北施設園芸研究会(講師)	R3.2.24	東北施設園芸研究会	オンライン開催
藤尾 拓也	第88回日本養液栽培研究会・山口大会 オンタイム情報交換	R3.3.12	日本養液栽培研究会	オンライン開催
藤尾 拓也	園芸学会 令和3年度春季大会・座長対応	R3.3.27~28	園芸学会	オンライン開催
山口 貴之	IT活用型新分野開拓推進事業ワークショップ	R3.3.19	岩手県立大学	盛岡市(県立大アイーナキャンパス)
小原 あつ子	胆江地域水稲生産コスト低減研修会	R3.2.17	胆江地方農林業振興協議会	奥州市 (文化会館Zホール)
作物育種研究室				
藤岡 智明	農業大学校講師(研究現場の育種)	R2.10.12	農業大学校	金ケ崎町 (農業大学校)
仲條 眞介	岩手県オリジナル水稲品種「金色の風」出前授業	R2.12.3	県南広域振興局	一関市 (市立桜町中学校)
小館 琢磨	東北ハイク研セミナー 講師対応 「チルド米飯ニーズと加工ニーズに即応する超多収低アミロース米系統の早期育成」(応用研究ステージ)採択までの工夫と採択に向けての留意点	R2.12.15	東北地域農林水産・食品ハイク研究会	オンライン開催
小館 琢磨	東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会流通加工研究会 講師対応 「チルド米飯ニーズと加工ニーズに即応する超多収低アミロース米系統の早期育成」	R3.1.26	東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会	盛岡市 (アイーナ)
仲條 眞介	令和2年度岩手県農業農村指導士協会全体研修会 講師対応	R3.2.4	岩手県農業農村指導士協会	盛岡市 (サンセール盛岡)
小館 琢磨	日本官能評価学会 企業部会 講師対応	R3.3.19	日本官能評価学会企業部会	オンライン開催
園芸技術研究部				
果樹研究室				
石川 勝規 大野 浩 高橋 藍 西田 絵梨香 遊佐 公哉	純情りんごコンテスト審査(1部)	R2.10.15	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
石川 勝規 大野 浩 高橋 藍 西田 絵梨香 遊佐 公哉	純情りんごコンテスト審査(2部)	R2.11.18~ 19	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
遊佐 公哉	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	R2.10.19	岩手県立農業大学校	金ケ崎町
石川 勝規	いわてワイン生産アカデミー	R2.6.12	農林水産部農産園芸課	北上市 (農研センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
果樹研究室(続き)				
石川 勝規 大野 浩 高橋 藍 西田 絵梨香 遊佐 公哉	いわてワイン生産アカデミー栽培技術フォローアップ講座	R2.5.21 R2.6.18 R2.7.9 R2.8.6 R2.9.3 R2.10.1 R3.2.10	農林水産部農産園芸課	北上市 (農研センター)
野菜研究室				
横田 啓	タマネギ腐敗性病害 テーブルリサーチ	R2.12.2	東北農業研究センター	盛岡市 (東北農業研究センター)
横田 啓	東北地域タマネギ栽培セミナー	R3.3.4	東北農業研究センター	盛岡市 (岩手教育会館)
田代 勇樹	JA園芸産地改革ネットワーク会議(きゅうり部会) 「フケ果試験について」	R2.10.9	JA全農いわて	矢巾町
田代 勇樹	JAいわて中央きゅうり専門部会及び役員会合同研修会「フケ果試験について」	R2.11.24	JAいわて中央	矢巾町
田代 勇樹	令和2年度きゅうり生産販売実績検討会(JAいわて花巻・北上)「フケ果試験について」	R2.11.30	JAいわて花巻(北上)	北上市
田代 勇樹	令和2年度花巻地域野菜生産部会きゅうり専門委員会「きゅうり研修会」 「フケ果試験について」	R2.12.22	JAいわて花巻(花巻)	花巻市
花き研究室				
佐々木 忍	りんどう育苗状況調査	R2.4.21	(公社)岩手県農産物改良種 苗センター	二戸市、一戸町 九戸村
内藤 善美 小田島 雅 佐々木 忍 小澤 傑	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会・園芸産地改革ネットワーク合同りんどう検討会	R2.8.4	農業普及技術課農業革新支 援担当	北上市 (農研センター)
三田 重雄 内藤 善美	いわてフラワーコンテスト2020審査会	R2.9.4	全農岩手県本部、農産園芸 課	矢巾町 (全農岩手県本部)
三田 重雄 内藤 善美 小田島 雅 佐々木 忍 小澤 傑	岩手県育成りんどう有望系統現地評価会	R2.10.23	農業普及技術課農業革新支 援担当	北上市 (農研センター)
小澤 傑	農業大学校 講師(作物増殖・花き)	R2.11.10	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町
内藤 善美 小田島 雅 佐々木 忍 小澤 傑	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会・園芸産地改革ネットワーク合同りんどう検討会	R2.12.16	農業普及技術課農業革新支 援担当	北上市 (農研センター)
内藤 善美	令和2年度 岩手県農業農村指導士協会全体研 修会	R3.2.4	農業普及技術課	盛岡市 (サンセール盛岡)
生産環境研究部				
土壌肥料研究室				
伊藤 美穂	令和2年度土づくり施肥改善研修会(基礎)	R2.11.10	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
伊藤 美穂	令和2年度土づくり施肥改善研修会(専門)	R2.11.13	農業普及技術課	北上市 (農研センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病理昆虫研究室				
加藤 真城	2020いわて純情りんごコンテスト 第1部	R2.10.15	JA全農いわて	農研センター
岩館 康哉	いばらき農業アカデミー 令和2年度第2回生産環境管理(病害虫・植物保護)講座	R2.10.16	茨城県農業総合センター	茨城県笠間市
加藤 真城	2019いわて純情りんごコンテスト 第2部	R2.11.18	JA全農いわて	農研センター
岩館 康哉 加藤 真城	令和元年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	R2.11.17	(一社)岩手県植物防疫協会	花巻市
中野 央子 西村 穂花	令和2年度病害虫防除実績検討会(作物部会)	R2.12.7	病害虫防除所	農研センター
岩館 康哉 武田 純子	令和元年度病害虫防除実績検討会(野菜部会)	R2.12.11	病害虫防除所	農研センター
加藤 真城 羽田 厚	令和2年度病害虫防除実績検討会(果樹部会)	R2.12.18	病害虫防除所 JA全農いわて	農研センター
加藤 真城 羽田 厚	令和2年度盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	R2.12.24	盛岡地方農業農村振興協議会	農研センター
加藤 真城	令和3年度一関地方りんご病害虫防除暦編集会議	R3.1.13	一関地方農林業振興協議会	一関地区合同庁舎
羽田 厚 武田 純子 西村 穂花	令和2年度農薬管理使用アドバイザー養成研修	R3.1.14 R3.1.25	農業普及技術課	農研センター 盛岡市
岩館 康哉 西村 穂花	令和3年度岩手県ホップ栽培暦検討会	R3.2.15	岩手県農業共済組合 岩手県ホップ連合会	盛岡市
病害虫防除部				
病害虫防除課				
本田 純悦	農薬管理使用アドバイザー認定委員会	R2.7.21 R3.2.2	農業普及技術課	盛岡市
病害虫防除所 職員	農薬管理使用アドバイザー更新研修	R2.10.6 ~12.3	農業普及技術課	二戸市・釜石市・ 盛岡市・北上市・ 奥州市
病害虫防除所 職員	農薬管理使用アドバイザー養成研修	R3.1.14 R3.1.25	農業普及技術課	盛岡市・北上市
田村 恵里佳 福田 拓斗 藤田 章宏	岩手県植物防疫関係者技術研修会	R2.11.17	(一社)岩手県植物防疫協会	花巻市
藤田 章宏	いわてワイン生産アカデミーフォローアップ講座	R2.6.18	農産園芸課	北上市(農研セン ター)
藤田 章宏	いわてワイン生産アカデミー	R2.7.31	農産園芸課	北上市(農研セン ター)
遠藤 歩美 藤田 章宏	りんご病害虫防除研修会	(資料提供)	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
勝部 和則	農業大学校新規就農者研修	R2.5.20	農業大学校	金ヶ崎町
遠藤 歩美 藤田 章宏	盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	R2.12.24	盛岡地方農業農村振興協議会	盛岡市
遠藤 歩美 藤田 章宏	一関地方りんご病害虫防除暦編成会議	R3.1.13	一関地方農林業振興協議会	一関市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
畜産研究所				
家畜育種研究室				
昆野 勝	家畜受精卵移植講習会	R2.9.9～30	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
米澤 智恵美	家畜受精卵移植講習会	R2.9.9～30	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
昆野 勝	家畜人工授精講習会	R2.11.20	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
米澤 智恵美	家畜人工授精講習会	R2.11.17	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
安田 潤平	家畜人工授精講習会	R2.11.4	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
安田 潤平	家畜商講習会	R2.12.18	流通課	盛岡市
安田 潤平	いわて平泉農協肥育牛部会肉牛講習会	R2.12.1	いわて平泉農協、いわて平泉農協肥育部会	一関市
安田 潤平	優良肥育素牛生産に係る研修会	R3.2.2	県南広域振興局農政部	金ヶ崎町
家畜飼養・飼料研究室				
荒谷 祐介	家畜人工授精講習会	R2.11.2	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
高橋 優希	家畜人工授精講習会	R2.11.6	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
高橋 優希	事例研究等校外研修	R2.5.13 R2.6.17	農業大学校	畜産研究所
荒谷 祐介	家畜商講習会	R2.12.18	流通課	盛岡市
佐藤 真	獣医畜産業績発表会	R3.1.28	畜産課	盛岡市
外山畜産研究室				
細川 泰子	家畜受精卵移植講習会	R2.9.11、18	畜産課	畜産研究所
尾張 利行	事例研究等校外研修	R2.10.9	農業大学校	畜産研究所
尾張 利行	令和2年度第2回いわて肉用牛指導者養成研修会	R2.10.31	畜産課	滝沢市 (アピオ)
尾張 利行	全国和牛能力共進会に向けた飼養管理研修	R2.11.30、 12.1	県南和牛育種組合 いわて中央和牛改良組合	奥州市 雫石町
尾張 利行	令和2年度いわて肉用牛生産性向上研修会	R3.1.21	畜産課	畜産研究所
細川 泰子	家畜人工授精講習会	R2.11.16	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
種山畜産研究室				
羽田 雅紀	農業大学校講義	R2.6.1	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
平間 ちが	家畜受精卵移植講習会	R2.9.11、 16～17	畜産課	畜産研究所
小澤 さち	農業大学校講義	R2.11.20	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
平間 ちが	家畜人工授精講習会	R2.11.5	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
種山畜産研究室(続き)				
羽田 雅紀	家畜人工授精講習会	R2.11.9,11,13	畜産課	住田町 (種山畜産研究室) 金ヶ崎町 (農業大学校)
小澤 さち	家畜人工授精講習会	R2.11.13,18,20	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
羽田 雅紀	いわて肉用牛生産性向上研修会	R3.1.21	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
県北農業研究所				
園芸研究室				
後藤 純子	未来を育む県北農業ステップアップ事業「ほうれんそう生産技術セミナー」	R2.9.3	農業普及技術課革新支援担当	軽米町(県北農業研究所)
赤坂 尚生	北いわてスマート農業サロン現地研修会(環境制御分科会)	R2.10.29	農業普及技術課革新支援担当	一戸町(夢ファーム)
赤坂 尚生	北いわてスマート農業サロン意見交換会(環境制御分科会)	R3.2.1	農業普及技術課革新支援担当	一戸町(夢ファーム)
作物研究室				
菅 広和 吉津 祐貴	北いわてスマート農業サロン現地研修会(自動操舵分科会)	R2.10.29	農業普及技術課革新支援担当	軽米町(県北農業研究所)
菅 広和	北いわてスマート農業サロン意見交換会(自動操舵分科会)	R3.2.1	農業普及技術課革新支援担当	軽米町(県北農業研究所)

3 視察者、見学者の受け入れ状況

区 分	来所者数	参観デー来場者数	合計	備 考
本 部	1,259 人	700 人	1,959 人	令和2年4月～令和3年3月
南部園芸研究室	169 人	- 人	169 人	
畜産研究所	232 人	- 人	232 人	
種山畜産研究室	84 人	- 人	84 人	
県北農業研究所	100 人	- 人	100 人	
計	1,844 人	700 人	2,544 人	

4 春季一般公開及び一般公開デー

名 称	開催期日	開催場 所	参 集 人 員
春季一般公開	R2.4.13～19	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	30 名
一般公開デー(本部)	R2.9.5	農業研究センター本部 農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	700 名
一般公開デー(畜産研究所)	(実施せず)		

5 技術セミナー等の開催

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員	担当室・課
R2.7.27	北上市(本部)	令和元年度岩手県農業研究センター研究成果発表会	106名	研究企画
R2.5.21	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	19名	果樹
R2.6.12	北上市(本部)	いわてワインアカデミー	10名	果樹
R2.6.18	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	19名	果樹
R2.7.9	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	19名	果樹
R2.8.6	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	19名	果樹
R2.9.3	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	19名	果樹
R2.10.1	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	19名	果樹
R3.2.10	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	19名	果樹
R2.12.11	福島市	先端プロ成果発表会	150名	生産システム・野菜
R2.5.26	陸前高田市(南部園芸)	先端プロ社会実装に係るイチゴ栽培勉強会	13名	南部園芸
R2.6.9	陸前高田市(南部園芸)	先端プロ社会実装に係るイチゴ栽培勉強会	9名	南部園芸
R2.6.23	陸前高田市(南部園芸)	先端プロ社会実装に係るイチゴ栽培勉強会	8名	南部園芸
R2.7.7	陸前高田市(南部園芸)	先端プロ社会実装に係るイチゴ栽培勉強会	8名	南部園芸
R2.8.4	陸前高田市(南部園芸)	先端プロ社会実装に係るイチゴ栽培勉強会	7名	南部園芸
R2.9.1	陸前高田市(南部園芸)	先端プロ社会実装に係るイチゴ栽培勉強会	10名	南部園芸
R2.9.3	陸前高田市(南部園芸)	促成品種の花芽顕鏡研修会	9名	南部園芸
R2.9.29	陸前高田市(南部園芸)	先端プロ社会実装に係るイチゴ栽培勉強会	9名	南部園芸
R2.10.13	陸前高田市(南部園芸)	先端プロ社会実装に係るイチゴ栽培勉強会	9名	南部園芸
R2.11.24	陸前高田市(南部園芸)	先端プロ社会実装に係るイチゴ栽培勉強会	8名	南部園芸
R2.12.16	陸前高田市(南部園芸)	先端プロ社会実装に係るイチゴ栽培勉強会	9名	南部園芸

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員	担当室・課
R2.9.3	軽米町(県北農業研究所)	ほうれんそう生産技術セミナー	32名	園芸(県北)
R2.10.29	軽米町(県北農業研究所)	北いわてスマート農業サロン現地研修会(自動操舵分科会)	50名	作物(県北)
R2.10.29	一戸町(一戸夢ファーム)	北いわてスマート農業サロン現地研修会(環境制御分科会)	40名	園芸(県北)

6 農業科学博物館、農業ふれあい公園の利用者

項 目		主 な 内 容	開催年月日	参集人数
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)		2,934名
		農業研究センター春季一般公開	R2.4.13～19	(30名)
		農業研究センター一般公開デー	R2.9.5	(214名)
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に年3回展示紹介		—
		第83回「消えゆく茅葺き民家『直家』『曲り家』」	R2.3.3～8.19	
		第84回企画展「普及員」	R2.8.22～R3.1.14	
		第85回「馬と農民」	R3.3.3～R3.6.30	
	イベント	「つばきの実でブローチを作ろう！」	R2.8.2	17名(8組)
		「まゆ細工」	R2.10.4	21名(9組)
		「しめ飾りを作ろう！」	R2.12.20	14名(7組)
その他	学校教育支援活動(社会科実習、校外学習等の受入)	-	565名(16校)	
	高齢者、障害者支援活動(障害福祉施設等)	-	99名(5団体)	
農業ふれあい公園 ゲートボール場		ゲートボール、グラウンドゴルフ	利用期間 4月～11月	8,410名 (310件)

7 研修生の受け入れ

(1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

(3) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
高橋 修斗	岩手大学大学院総合科学研究科	水稻の食味官能評価及び物性調査法習得	作物育種研究室	R3.2.17～18

(4) 視察・体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
軽米町立軽米中学校2年	職場体験学習	2	県北農業研究所	R2.9.23～25
軽米町立晴山保育園	サツマイモ作り体験(収穫)	10	県北農業研究所	R2.10.28

イ 高等学校、大学等の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
岩手大学教授及び大学院生	米の食味官能評価及び食味関連成分分析に関する視察	2	作物育種研究室	R2.9.29
農業大学校新規就農者研修	りんごに関する研究取組状況の視察	20	果樹研究室 研究企画室	R2.6.26
江刺東中学校1年生	りんごに関する研究取組状況の視察	50	果樹研究室 研究企画室	R3.9.16
農業大学校野菜専攻	野菜の栽培技術等に関する研究取組状況の視察	4	野菜研究室	R2.7.14
県立農業大学校畜産学科1年	畜産研究所の概要及び施設について	17	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R2.5.14
県立農業大学校肉畜経営科1年	超音波診断装置による妊娠診断等について	10	家畜育種研究室	R2.6.17

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
県立農業大学校酪農経営科1年	飼養環境等について	7	家畜飼養・飼料研究室	R2.6.17
県立農業大学校酪農経営科1年	牛群検定について	7	家畜飼養・飼料研究室	R2.10.6
県立農業大学校肉畜経営科1年	寒冷地における厳冬の飼養管理方法について	9	外山畜産研究室	R2.10.6
盛岡農業高等学校3年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	43	種山畜産研究室	R2.10.30
盛岡農業高校動物科学科1年	畜産研究所における研究概要	35	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R2.11.24
岩手大学農学専攻2年及び農学部動物科学4年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	6	種山畜産研究室	R2.11.10
福島県農業総合センター農業短期大学校畜産経営学科2年	日本短角種の改良について	1	家畜育種研究室	R2.12.7
久慈高等学校 2年生	アワの新品種開発について	2	県北農業研究所 作物研究室	R2.8.6

ウ インターンシップ等に対応したもの

氏名	所属	研修内容	受入研究室等	期日
新採用職員27名	岩手県農林水産部	農林水産部新採用職員研修	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R2.10.28
岩手県職員採用内定者	岩手大学農学部動物生命科学科4年	採用内定者職場実習	飼養飼料研究室 家畜育種研究室	R2.11.12
藤田 美友	酪農学園大学農食環境学群循環農学類	・農業研究センターの業務概要 ・水稲生育・収量調査法 ・スマート農業関連作業・調査 ・水稲育種の概要、圃場選抜 他	研究企画室 水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室	R2.9.14～17
多田 和音	酪農学園大学農食環境学群循環農学類	・農業研究センターの業務概要 ・水稲生育・収量調査法 ・スマート農業関連作業・調査 ・水稲育種の概要、圃場選抜 他	研究企画室 水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室	R2.9.14～17
高橋 天哉	秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科	・農業研究センターの業務概要 ・水稲生育・収量調査法 ・スマート農業関連作業・調査 ・水稲育種の概要、圃場選抜 他	研究企画室 水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室	R2.9.14～17
高橋 修斗	岩手大学大学院総合科学研究科	・農業研究センターの業務概要 ・水稲調査・圃場選抜 ・食味官能評価 ・食味関連成分分析 他	作物育種研究室	R2.9.28～10.2
齋藤 桜花	岩手大学農学部動物科学科3年	・肉用牛に係る試験研究の概要 ・肥育試験での調査と記録 ・牛枝肉の脂肪交雑形状評価 他	家畜育種研究室	R2.9.14～18
島寄 ふうか	県立葛巻高校1年	・肉用牛に係る試験研究の概要 ・肥育試験方法について ・肥育試験牛の調査と記録 他	家畜育種研究室	R2.9.14～16
田口 憂奈 椎名 美月 齋藤 早樹子	岩手大学農学部応用生物化学科 3年生	・農業研究センターの業務概要 ・水稲、雑穀の栽培概要と各種調査実習 ・キャベツ害虫調査、きゅうり収穫調査等	県北農業研究所 園芸研究室 作物研究室	R2.9.13～29

エ その他の視察・研修等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
県出納局会計課	水稲育種の取り組みについて視察	2	総務課 研究企画室 作物育種研究室	R2.7.30
「銀河のしずく」取扱い業者	「銀河のしずく」の開発経緯 品種開発関係施設見学	2	作物育種研究室	R2.9.29
JA新いわて南部営農経済センター 稲作生産部会女性部	水田利用に関する研究取組状況の視察	15	水田利用研究室	R2.7.29
JA青森稲作部会	岩手県の代表的な水稲品種、作柄・生育状況、研究内容、スマート農業等について	25	生産システム研究室	R2.10.30
野田村農業委員・農地利用最適化 推進委委員一行	スマート農業等の近代農業について	13	生産システム研究室	R2.11.14
矢巾地域キュウリ生産者	きゅうりの隔離栽培、養液栽培、ミニマム環境制御技術に関する研究取組状況の視察	5	野菜研究室	R2.6.9
JAいわて中央(都南)キュウリ生産者	きゅうりの隔離栽培、養液栽培、ミニマム環境制御技術に関する研究取組状況の視察	5	野菜研究室	R2.7.1
JAいわて花巻(北上)飯豊野菜生産組合	野菜の栽培技術等に関する研究取組状況の視察	15	野菜研究室	R2.7.20
JAいわて花巻(北上)二子トマト生産組合	トマトの環境制御技術に関する研究取組状況の視察	8	野菜研究室 生産システム研究室	R2.10.13
陸前高田市キュウリ生産者	きゅうりの隔離栽培、養液栽培、ミニマム環境制御技術に関する研究取組状況の視察	1	野菜研究室	R2.11.2
盛岡市、紫波町生産者	パプリカ、きゅうりに関する研究取組状況の視察	1	野菜研究室	R2.11.10
山形県議会議員	りんどうの育種、栽培に関する研究取組状況の視察	4	花き研究室	R2.11.20

8 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	政策地域部科学ILC推進室
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 企画管理部長 生産基盤研究部長 園芸技術研究部長 生産環境研究部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農林水産企画室
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	生産基盤研究部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 果樹研究室長 水田利用研究室長 生産システム研究室長 野菜研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農業普及技術課
岩手県農業管理使用アドバイザー認定委員会	副会長 委員	病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 生産環境研究部長	農業普及技術課
特別栽培農産物に係る慣行レベル検討会議	構成員	水田利用研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 病理昆虫研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長) 次長兼園芸研究室長(県北研) 作物研究室長(県北研)	農業普及技術課
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	生産基盤研究部長	団体指導課
いわて純情米需要拡大推進協議会	幹事	生産基盤研究部長	県産米戦略室
いわての大豆普及推進協議会	委員	生産基盤研究部長	流通課
岩手県農業農村整備事業地区 担い手育成協議会	委員	農業経営研究室経営 チーム長	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 病理昆虫研究室長 作物研究室長(県北研)	農産園芸課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事	企画管理部長 園芸技術研究部長 県北農業研究所長 農業経営研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県北研)	農村計画課
岩手県農業機械士認定委員会	委員	生産基盤研究部長	農産園芸課
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員	主任技能員 (生産基盤研究部、園芸技術研究部、生産環境研究部)	農産園芸課
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会 同 事務局員	委員 事務局員	生産基盤研究部長 水田利用研究室長	農産園芸課
稲作生産コスト低減推進会議	委員 幹事	企画管理部長 農業経営研究室長	農産園芸課
麦・大豆収益性向上対策チーム	構成員 構成員	プロジェクト推進室長 水田利用研究室長	農産園芸課
岩手県園芸産地改革戦略推進会議	委員 委員	生産基盤研究部長 園芸技術研究部長	農産園芸課
いわて型野菜トップモデル産地創造事業にかかる部門検討会(野菜販売額1億円計画審査会)	構成員(審査員)	農業経営研究室長 野菜研究室長 病虫害防除課長	農産園芸課
岩手県版GAP審査委員会	委員	農業経営研究室長	農業普及技術課
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業(リーディング経営体育成型)経営発展計画審査会	審査委員	農業経営研究室長	農業振興課
生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム	サブリーダー チーム員	農業経営研究室長 研究企画室長 農業経営研究室経営チーム長 家畜飼養・飼料研究室長	農業振興課
(公財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員	所長	(公財)岩手生物工学研究センター
花北地方農業農村振興連絡協議会 (花巻地域希望農業技術サポート会議を兼ねる)	構成員	企画管理部長	県南広域振興局農政部 花巻農林振興センター
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	水田利用研究室長	東北農政局
北上市みどりのまちづくり審議会	委員	企画管理部長	北上市
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	大船渡農業改良普及センター
大船渡地方農林水産振興連絡協議会	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
陸前高田市大規模園芸施設運営協議会	委員 委員	農業経営研究室長 南部園芸研究室長	陸前高田市
住田町農業振興協議会	幹事	南部園芸研究室長	住田町
久慈地方農業農村活性化推進協議会	委員 幹事	県北農業研究所長 次長兼園芸研究室長	久慈市

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
二戸地方農林水産振興協議会	幹事	作物研究室長(県北研)	二戸市
東北農業試験研究協議会	理事	所長	(独)農研機構・東北農業研究センター
東北農業経済学会	理事、評議員	農業経営研究室長	東北大学農学部
園芸学会東北支部	評議員	野菜研究室長	弘前大学農学部
北日本病害虫研究会	評議員	主査専門研究員(野菜研)	(独)農研機構・東北農業研究センター
東北畜産学会	評議員	畜産研究所長、次長	東北大学農学部
岩手農林研究協議会(AFR)	副会長(委員) 幹事	所長 生産基盤研究部長	岩手大学農学部
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員長	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	生産環境研究部長 畜産研究所長 生産システム研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県北研)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査員 審査員 審査員	園芸技術研究部長 果樹研究室長 研究室員 (果樹研究室) 病理昆虫研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	園芸技術研究部長 花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	水田利用研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県農業共済組合損害評価会	損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (畑作物・大豆・ ホップ) 損害評価審議委員 (大豆・ホップ・そば) 損害評価審議委員 (園芸施設) 審議委員(家畜) 家畜診療所運営委員	主任主査 (病虫害防除所) 主査専門研究員 (生産システム研究室) 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 主任主査 (病虫害防除所) 上席専門研究員 (水田利用研究室) 主査 (病虫害防除所) 主査専門研究員 (水田利用研究室) 主査 (病虫害防除所) 野菜研究室長 花き研究室長 畜産研究所次長 (研究担当) 畜産研究所次長 (研究担当)	岩手県農業共済組合

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	水田利用研究室長	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部
(一社)岩手県植物防疫協会	幹事 幹事 幹事 幹事 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員	生産基盤研究部長 園芸技術研究部長 生産環境研究部長 病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 水田利用研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	(一社)岩手県植物防疫協会
岩手県病害虫防除連絡協議会	役員 幹事	病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合
胆江広域病害虫防除協議会	役員 幹事	病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合胆江地域センター
岩手中部病害虫防除協議会	役員 幹事	病害虫防除次長 (病害虫防除課長) 病害虫防除所主査 (病害虫防除課主査)	岩手県農業共済組合中部地域センター
岩手北部病害虫防除協議会	役員 幹事	病害虫防除次長 (病害虫防除課長) 病害虫防除所技師 (病害虫防除課技師)	岩手県農業共済組合北部地域センター
遠野地方病害虫防除推進協議会	幹事	病害虫防除次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合東南部地域センター
気仙地方水稲病害虫防除協議会	理事	病害虫防除所長 (病害虫防除部長)	岩手県農業共済組合東南部地域センター (気仙支所)
種子価格設定委員会	委員	水田利用研究室長 生産システム研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	水田利用研究室長 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
全日本ホルスタイン共進会岩手県出品対策委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
いわてコントラクター等利用推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	いわてコントラクター等利用推進協議会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 参与 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
日本ホルスタイン登録協会岩手県支部	評議員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
土壤医の会全国協議会	幹事	県北農業研究所長	(一財)日本土壤協会
かるまいシリアルブランド化女性推進協議会	委員	作物研究室長(県北研)	かるまいシリアルブランド化女性推進協議会
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所

VI 職員研修

VI 職員研修

1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 阿部 弘	生産環境研究部 土壌肥料研究室	リンドウにおける塊茎の初期形成 および発達過程の解明	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 先端農業技術科学 専攻(筑波大学)	H30.4.1～
主査専門研究員 小舘 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	タンパク質含有率を制御した低アミロース米の加工特性及び理化学特性に関する研究	岩手大学大学院連 合農学研究科 (岩手大学)	H30.10.1～
主査専門研究員 佐藤 真	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	飼料用トウモロコシの不耕起栽培に関する研究	岩手大学大学院連 合農学研究科 (岩手大学)	R元.10.1～

2 海外派遣・研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容等	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

3 国内研修への派遣

(1) 依頼研究員

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(2) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(3) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(4) 農林水産関係研究者研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(5) その他

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	令和2年度ITマスタ研修	盛岡市	R2.7.31
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	改正種苗法全国Web説明会	オンライン開催	R3.1.22
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	農林水産研究における知的財産の保護・活用 オンラインセミナー	オンライン開催	R3.2.4
上席専門研究員 田村 和彦	生産基盤研究部 水田利用研究室	東北雑草研究会	オンライン開催	R3.2.25
水田利用研究室長 小野寺 健一	生産基盤研究部 水田利用研究室	農業農村工学会大会講演会	オンライン開催	R2.8.25～27
水田利用研究室長 小野寺 健一	生産基盤研究部 水田利用研究室	農業農村工学会東北支部大会	オンライン開催	R2.11.22
首席専研兼室長 八重樫 耕一 上席専門研究員 山口 貴之	生産基盤研究部 生産システム研究室	アグリビジネス創出フェア2020	オンライン開催	R2.11.11～13
首席専研兼室長 八重樫 耕一 上席専門研究員 山口 貴之	生産基盤研究部 生産システム研究室	革新工学センター研究報告会	オンライン開催	R3.3.10
主査専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	低アミロース米の育種選抜及び研究推進にかかる 打ち合わせ	沖縄県名護市(沖縄 県農業研究セン ター名護支所)	R2.6.30～7.2
主査専門研究員 小館 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	イノベーション創出強化研究推進事業における 研究計画検討会	オンライン開催	R2.7.4
生産基盤研究部長 扇 良明 作物育種研究室長 仲條 真介 専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	令和2年度イノベーション創出強化研究推進事 業のうち「水稻の重要形質遺伝子間並びに遺伝 子-環境間相互作用の解明とゲノム育種による 超多収系統の育成」第1回研究推進会議	岩手生物工学研究 センター (オンライン開催)	R2.9.2
主査専門研究員 小館 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	日本作物学会 第248回講演会	オンライン開催	R2.9.3～4
生産基盤研究部長 扇 良明 作物育種研究室長 仲條 真介 上席専門研究員 鈴木 元 主査専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室 企画管理部 研究企画室	令和2年度イノベーション創出強化研究推進事 業のうち「チルド米飯ニーズと加工製造課題に 即応する超多収低アミロース米系統の早期育成 (02008B)」第1回研究推進会議(キックオフ会 議)	オンライン開催	R2.9.15
作物育種研究室長 仲條 真介 主査専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	低アミロース米の育種選抜及び研究推進にかか る打ち合わせ	沖縄県石垣市(沖縄 県農業研究セン ター石垣支所) 沖縄県名護市(沖縄 県農業研究セン ター名護支所)	R2.10.27～30
主査専門研究員 小館 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	日本官能評価学会2020年大会	オンライン開催	R2.11.29

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
生産基盤研究部長 扇 良明 作物育種研究室長 仲條 眞介 上席専門研究員 鈴木 元 主査専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室 企画管理部 研究企画室	令和2年度イノベーション創出強化研究推進事業のうち「チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミロース米系統の早期育成(02008B)」第2回研究推進会議	オンライン開催	R3.2.19
生産基盤研究部長 扇 良明 作物育種研究室長 仲條 眞介 専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	令和2年度イノベーション創出強化研究推進事業のうち「水稻の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とゲノム育種による超多収系統の育成」第2回研究推進会議	岩手生物工学研究センター	R3.2.24
主査専門研究員 小館 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	東北ハイテック研究会セミナー	オンライン開催	R2.12.15
主査専門研究員 小館 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	日本官能評価学会 企業部会	オンライン開催	R3.3.19
主査専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	日本作物学会 第251回講演会	オンライン開催	R3.3.29
主査専門研究員 大野 浩	園芸技術研究部 果樹研究室	第63回東北農業試験研究発表会(論文投稿のみ)	-	-
主査専門研究員 横田 啓	園芸技術研究部 野菜研究室	加工・業務用野菜先進地視察及び契約取引等に関するセミナー	富山県富山市	R2.11.4～5
野菜研究室長 川戸 善徳 技師 佐々木 達史 技師 佐藤 春菜	園芸技術研究部 野菜研究室	東北施設園芸オンラインセミナー	オンライン開催	R3.3.18
主査専門研究員 田代 勇樹 技師 佐藤 春菜	園芸技術研究部 野菜研究室	農作業学会	オンライン開催	R3.3.22～23
主査専門研究員 横田 啓	園芸技術研究部 野菜研究室	第65回日本応用動物昆虫学会大会	オンライン開催	R3.3.23～25
主査専門研究員 横田 啓	園芸技術研究部 野菜研究室	園芸学会令和3年度春季大会 ※ ポスター発表要旨投稿	オンライン開催	R3.3.24～28
主査専門研究員 田代 勇樹 技師 佐々木 達史 技師 佐藤 春菜	園芸技術研究部 野菜研究室	園芸学会令和3年度春季大会	オンライン開催	R3.3.24～26
技能員 多田 竜馬	園芸技術研究部 野菜研究室	技能講習 (車両系建設機械技能講習)	花巻市	R3.1.13～14
技能員 多田 竜馬	園芸技術研究部 野菜研究室	技能講習 (アーク溶接等作業者特別教育講習会)	花巻市	R3.2.24～26
主査専門研究員 高橋 大輔 専門研究員 佐藤 聡太	園芸技術研究部 南部園芸研究室	愛媛大学植物工場研究センター植物工場先端技術セミナー第2回「イチゴ培地レス栽培技術の確立を目指して-高精度フェノタイピングによる栽培支援-」	オンライン開催	R3.2.5

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 小田島 芽里 主任技能員 小黒澤 清人	生産環境研究部 土壌肥料研究室	ドローン撮影研修会	北上市 (農研センター)	R2.6.15
生産環境研究部長 鈴木 良則 土壌肥料研究室長 伊藤 美穂 上席専門研究員 高橋 良学 主査専門研究員 阿部 弘 専門研究員 小田島 芽里 専門研究員 小野寺 真由 専門研究員 白木 正俊	生産環境研究部 土壌肥料研究室	東北土壌肥料研究会(オンライン)	北上市 (農研センター)	R3.1.21~22
生産環境研究部長 鈴木 良則 土壌肥料研究室長 伊藤 美穂	生産環境研究部 土壌肥料研究室	東北農業試験研究推進会議生産環境推進部 会(オンライン)	北上市 (農研センター)	R3.1.22
上席専門研究員 高橋 良学	生産環境研究部 土壌肥料研究室	日本土壌肥料学会東北支部会(オンライン)	北上市 (農研センター)	R2.12.4
上席専門研究員 高橋 良学	生産環境研究部 土壌肥料研究室	日本土壌肥料学会岡山大会(オンライン)	北上市 (農研センター)	R2.9.8~10
専門研究員 小田島 芽里 上席専門研究員 高橋 良学	生産環境研究部 土壌肥料研究室	東北農業研究試験研究発表会(文書開催)	北上市 (農研センター)	R2.7
生産環境研究部長 鈴木 良則 土壌肥料研究室長 伊藤 美穂 専門研究員 小田島 芽里 専門研究員 小野寺 真由 専門研究員 白木 正俊	生産環境研究部 土壌肥料研究室	農地管理実態調査講習会(オンライン)	北上市 (農研センター)	R2.10.30
専門研究員 小田島 芽里 専門研究員 小野寺 真由 専門研究員 白木 正俊	生産環境研究部 土壌肥料研究室	第5回農業懇話会「リモートセンシング」(オンライ ン)	北上市 (農研センター)	R3.1.19
主査専門研究員 岩館 康哉	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和2年度日本植物病理学会東北部会	オンライン開催	R2.10.9~12
生産環境研究部長 鈴木 良則 病理昆虫研究室長 熊谷 拓哉 上席専門研究員 加藤 真城 主査専門研究員 岩館 康哉 主査専門研究員 羽田 厚 専門研究員 武田 純子 技師 西村 穂花	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和2年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	R2.11.17

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
上席専門研究員 加藤 真城	生産環境研究部 病理昆虫研究室	第65回日本応用動物昆虫学会(みなし開催)	オンライン開催	R3.3.23～26
技師 西村 穂花	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和2年度殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム	オンライン開催	R3.3.23
課長 勝部 和則	病虫害防除部 病虫害防除課	令和2年度日本植物病理学会東北部会	オンライン開催 (盛岡市)	R2.9.11～13
課長 勝部 和則	病虫害防除部 病虫害防除課	令和3年度日本植物病理学会大会	オンライン開催 (三重県)	R3.3.17～19
部長 本田 純悦 課長 勝部 和則 主任主査 遠藤 歩美 主査 吉田 雅紀 主査 藤田 章宏 技師 田村 恵里佳	病虫害防除部 病虫害防除課	病虫害防除指導者研修会	北上市	R2.12.18
部長 本田 純悦 課長 勝部 和則 主任主査 遠藤 歩美 主査 吉田 雅紀 主査 藤田 章宏 主査 佐藤 千穂子 技師 福田 拓斗	病虫害防除部 病虫害防除課	農薬適正使用研修会	盛岡市	R2.6.26
部長 本田 純悦 課長 勝部 和則 主任主査 遠藤 歩美 主査 吉田 雅紀 主査 藤田 章宏 主査 佐藤 千穂子 技師 福田 拓斗 技師 田村 恵里佳	病虫害防除部 病虫害防除課	岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	R2.11.17
主任主査 遠藤 歩美 主査 吉田 雅紀	病虫害防除部 病虫害防除課	東北地区病虫害防除所職員技術研修会	仙台市	R3.1.22
課長 勝部 和則 主査 吉田 雅紀 主査 佐藤 千穂子 技師 福田 拓斗 技師 田村 恵里佳	病虫害防除部 病虫害防除課	東北農業試験研究推進会議 病虫害研究会	オンライン開催 (盛岡市)	R2.1.24～25
所長 菊池 伸也	畜産研究所	令和2年度会計事務研修会	盛岡市	R2.9.16
所長 菊池 伸也 次長 熊谷 光洋 家畜育種研究室長 昆野 勝 上席専門研究員 西田 清	畜産研究所 家畜育種研究室	第113回日本養豚学会大会	オンライン開催	R2.11.5
上席専門研究員 高杉 亘	畜産研究所 家畜育種研究室	SNP解析技術者研修	福島県西郷村	R2.7.15～22
専門研究員 土谷 のぞみ	畜産研究所 家畜育種研究室	SNP解析技術者研修	福島県西郷村	R2.8.31～9.4 R3.1.12～22
上席専門研究員 西田 清	畜産研究所 家畜育種研究室	令和2年度岩手県種豚登録講習会	滝沢市	R2.11.6
専門研究員 高橋 優希	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	畜産経営支援指導研究会	滝沢市	R2.9.4

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 荒谷 祐介	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	令和2年度中央畜産技術研修会(畜産環境保全)	福島県西郷村	R2.9.7～11
主査専門研究員 佐藤 真	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	飼料増産研修会	滝沢市	R3.1.22
主査専門研究員 佐藤 真	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	令和2年度獣医畜産業績発表会	盛岡市	R3.1.29
専門研究員 高村 聡美	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	草地難防除雑草駆除技術研修会	オンライン開催 (盛岡市東北農研)	2.10.26
主査専門研究員 尾張 利行 主任専門研究員 佐々木 康仁 技能員 武田 溪介	畜産研究所 外山畜産研究室	放牧研修会	青森県七戸町	R2.9.11
主任専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 外山畜産研究室	令和2年度中央畜産技術研修会(飼料A)	福島県西郷村	R2.8.25～27
主任専門研究員 吉田 力	畜産研究所 外山畜産研究室	地理院・地理院タイル活用ツール講習会	盛岡市	R2.10.7
主任専門研究員 吉田 力	畜産研究所 外山畜産研究室	産業用ドローン活用セミナー・デモンストレーション	盛岡市	R2.11.13
首席専門研究員兼 外山畜産研究室長 細川 泰子	畜産研究所 外山畜産研究室	安全運転管理者講習	盛岡市	R2.8.18
首席専門研究員兼 外山畜産研究室長 細川 泰子 主査専門研究員 尾張 利行 主任専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 外山畜産研究室	公共放牧場研修会	滝沢市	R2.9.25
技能員 武田 溪介	畜産研究所 外山畜産研究室	令和2年度危険物取扱者保安講習	盛岡市渋民	R2.10.14
上席専門研究員 平間 ちが	畜産研究所 種山畜産研究室	令和2年度出納員研修	盛岡市	R2.8.27
主査 八重樫 恭子 専門研究員 篠崎 創	畜産研究所 種山畜産研究室	令和2年度奥州審査指導管内会計事務担当職員及び若手職員等研修会	奥州市	R2.10.27
主任技能員 松本 徹	畜産研究所 種山畜産研究室	令和2年度危険物取扱者保安講習	奥州市	R2.10.28
上席専門研究員 平間 ちが	畜産研究所 種山畜産研究室	令和2年度安全運転管理者等講習	大船渡市	R2.11.6
主査 八重樫 恭子	畜産研究所 種山畜産研究室	令和2年度県南広域振興局管内の担当課長、総括主査等会計事務研修	奥州市	R3.1.12
主査 小笠原 美幸	県北農業研究所 総務課	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	オンライン開催	R2.7.3～20
総務課長 高橋 和則	県北農業研究所 総務課	令和2年度出納員研修	盛岡市	R2.8.27
主査 小笠原 美幸 ほか	県北農業研究所 総務課	令和2年度会計事務基本研修会	久慈市	R2.9.24～25
総務課長 高橋 和則	県北農業研究所 総務課	安全運転管理者講習会	二戸市	R2.10.15
専門研究員 佐藤 拓也 ほか	県北農業研究所 作物研究室	令和2年度第1回会計事務研修会	二戸市	R3.2.26

4 所内研修等

(1) 岩手県総務部主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
上席専門研究員 鈴木 元	企画管理部 研究企画室	eラーニング 企業会計講座(実務編)	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
農業経営研究室長 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	R2.8.5～7
技師 小向 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	採用3年目職員研修	人事課主催	R2.8.24～26
主査専門研究員 藤澤 真澄	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
技師 小向 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
総務課長 山田 昭人	企画管理部 総務課	eラーニング 企業会計講座(基礎編)	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
主任 宮澤 真由美	企画管理部 総務課	令和2年度新採用職員指導者研修	人事課主催	個人学習
主事 根岸 巧	企画管理部 総務課	令和2年度新採用職員研修	人事課主催	【4月期】 個人学習 【7月期】 R2.7.7～10 【10月期】 個人学習
部長 扇 良明	生産基盤研究部	管理監督者実践セミナー	総務事務センター 主催	R3.3月
水田利用研究室長 小野寺 健一	生産基盤研究部 水田利用研究室	コンプライアンス推進員研修	人事課主催	R2.4.19
水田利用研究室長 小野寺 健一	生産基盤研究部 水田利用研究室	eラーニング 企業会計講座(基礎編)	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
上席専門研究員 山口 貴之 上席専門研究員 藤尾 拓也	生産基盤研究部 生産システム研究室	新任主任主査研修	人事課主催	R3.1月
専門研究員 小原 あつ子	生産基盤研究部 生産システム研究室	中堅職員研修	人事課主催	R2.12月
専門研究員 小原 あつ子	生産基盤研究部 生産システム研究室	eラーニング 論理的思考力養成講座	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	中堅職員研修	人事課主催	R2.12月
果樹研究室長 石川 勝規	園芸技術研究部 果樹研究室	新任担当課長研修	人事課主催	R2.8.24～26
技師 佐々木 達史	園芸技術研究部 野菜研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	R2.7.16～ R3.1.31
技師 佐藤 春菜	園芸技術研究部 野菜研究室	採用3年目職員研修	人事課主催	R2.8.24～26
技師 佐藤 春菜	園芸技術研究部 野菜研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
花き研究室長 内藤 善美	園芸技術研究部 花き研究室	コンプライアンス推進員研修	人事課主催 (資料配布による自 主研修)	R2.10.16
専門研究員 小澤 傑	園芸技術研究部 花き研究室	eラーニング 問題発見解決力向上講座	人事課主催	R2.7.16～ R3.1.31

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 佐藤 聡太	園芸技術研究部 南部園芸研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
土壌肥料研究室長 伊藤 美穂	生産環境研究部 土壌肥料研究室	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R2.8.21
専門研究員 小野寺 真由	生産環境研究部 土壌肥料研究室	eラーニング 問題発見・解決能力向上講座	人事課主催	R2.7.16～ R3.1.31
専門研究員 白木 正俊	生産環境研究部 土壌肥料研究室	eラーニング 問題発見・解決能力向上講座	人事課主催	R2.7.16～ R3.1.31
上席専門研究員 中野 央子	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和2年度新採用職員指導者研修	人事課主催	個人学習
上席専門研究員 加藤 真城	生産環境研究部 病理昆虫研究室	eラーニング 企業会計講座(実務編)	人事課主催	R2.7.16～ R3.1.31
技師 西村 穂花	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和2年度新採用職員研修	人事課主催	【4月期】 自席受講 【7月期】 R2.7.13～16 【10月期】 自席受講
主事 米村 征哉	畜産研究所 総務課	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
家畜育種研究室長 昆野 勝	畜産研究所	令和2年度新任担当課長研修	人事課主催	R2.8.5～7
専門研究員 土谷 のぞみ	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
技能員 妻神 大己	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング 企業会計講座(基礎編)	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
技能員 日下 貴行	畜産研究所 家畜育種	令和2年度採用3年目職員研修	人事課主催	R2.8.24～26
専門研究員 高橋 優希	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	令和2年度 中堅職員研修	人事課主催	R2.11.11～13
技能員 廣田 裕誠	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	令和2年度採用3年目職員研修	人事課主催	R2.9.8～10
技能員 廣田 裕誠	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
首席専門研究員兼 外山畜産研究室長 細川 泰子	畜産研究所 外山畜産研究室	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R2.9.4
次長兼種山畜産研 究室長 大宮 元	畜産研究所 種山畜産研究室	新任総括課長等研修	人事課主催	R2.7.14～15
専門研究員 篠崎 創	畜産研究所 種山畜産研究室	令和2年度中堅職員研修	人事課主催	R3.1.21
専門研究員 吉津 祐貴	県北農業研究所 作物研究室	令和2年度採用3年目職員研修	人事課主催	R2.7.20～22
主査 小笠原 美幸	県北農業研究所 総務課	令和2年度新任主査研修	人事課主催	R2.7.29～31
総務課長 高橋 和則	県北農業研究所 総務課	令和2年度管理監督者のためのメンタルヘルス セミナー	総務事務センター 主催	R2.8.21
専門研究員 細越 翔太	県北農業研究所 園芸研究室	令和2年度中堅職員研修	人事課主催	R2.12.11～ R3.1.22
主査 小笠原 美幸	県北農業研究所 総務課	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
技能員 日山 将太	県北農業研究所 総務課	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	R2.6.20～ 12.31
次長兼園芸研究室長 後藤 純子	県北農業研究所 園芸研究室	令和2年度女性管理監督者マネジメント力向上 研修	人事課主催	R3.2.12

(2) 岩手県農林水産部主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主事 根岸 巧	企画管理部 総務課	令和2年度農林水産部新採用職員研修	岩手教育会館ほか	H2.10.28
主事 根岸 巧	企画管理部 総務課	令和2年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	花巻市内	H2.10.13～ 15
技師 西村 穂花	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和2年度農林水産部新採用職員研修	岩手教育会館ほか	H2.10.28
技師 西村 穂花	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和2年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	花巻市内	H2.10.9～12

(3) 所内研修

研修会名称	所属部所・研究室	研修内容	主催	開催日
情報セキュリティ研修会	本部	情報の安全・安心10のポイント・情報セキュリティ対策 講師:研究企画室員	研究企画室	R2.4.10
健康推進事業研修会	畜産研究所	100年ライフを生き抜くために 講師:(公財)予防医学協会保健師	総務課	R2.7.31
交通安全研修会	畜産研究所	交通安全の啓発DVD視聴、交通安全知識講話 講師:盛岡西警察署交通課交通企画係長	総務課	R2.9.4
農作業安全研修会	畜産研究所	農作業安全のポイント及び農業機械等の点検箇所並びに操作中の非常時の対応について 講師:(株)みちのくボタサービス本部第3ブロック長	総務課	R2.9.18
会計事務研修会	畜産研究所	会計事務の留意事項について 講師:盛岡広域振興局盛岡審査指導監職員	総務課	R2.10.2
セクハラ・パワハラ研修会	畜産研究所	セクハラ・パワハラの防止について	総務課	R2.10.30
心肺蘇生法等・AED操作講習会	畜産研究所	心肺蘇生法等・AED操作講習会 講師:滝沢消防署滝沢北出張所署員	総務課	R2.11.6
健康管理研修	畜産研究所 外山畜産研究室	100年ライフを生き抜くために 講師:(公財)予防医学協会保健師	外山畜産研究室	R2.9.8
セクハラ・パワハラ研修会	畜産研究所 外山畜産研究室	セクハラ・パワハラの防止について	外山畜産研究室	R2.12.8
メンタルヘルスセミナー	畜産研究所 外山畜産研究室	メンタルヘルスセミナー	外山畜産研究室	R3.2.24
健康管理研修	畜産研究所 種山畜産研究室	100年ライフを生き抜くために 講師:(公財)予防医学協会保健師	種山畜産研究室	R2.10.1
セクハラ・パワハラ研修会	畜産研究所 種山畜産研究室	セクハラ・パワハラの防止について	種山畜産研究室	R3.3.29
メンタルヘルスセミナー	畜産研究所 種山畜産研究室	メンタルヘルスセミナー	種山畜産研究室	R3.3.29
第1回安全衛生研修	県北農業研究所	・肩こり・腰痛予防体操 ・新型コロナウイルス感染予防等健康に関する情報提供 講師:二戸保健所職員	総務課	R2.6.22
交通安全研修会	県北農業研究所	・交通安全啓発DVD視聴 ・管内の交通事故の状況と交通事故防止について 講師:二戸警察署員	総務課	R2.9.23
第2回安全衛生研修	県北農業研究所	基本的な心肺蘇生法及びAEDの使用方法について 講師:二戸消防署軽米分署員	総務課	R2.11.17

5 所内セミナー等

名 称	開催期日	内 容	参集人員
【本部】			
[企画管理部] 職場研修会	R2.8.28	統計的検定学習支援用ウェブアプリケーションBuMocを使ってみよう	21 名
[生産基盤研究部] 部内ゼミ	R2.7.1	鳥害の歴史と現状 山口 貴之(生産システム研究室 上席専門研究員)	30 名
	R2.8.7	岩手県の農業農村整備について 小野寺 健一(水田利用研究室長)	30 名
[園芸技術研究部] 部内ゼミ	R2.6.25	・相互圃場巡回 大野 浩(果樹研究室 主査専門研究員) 遊佐 公哉(果樹研究室 専門研究員) 横田 啓(野菜研究室 主査専門研究員) 田代 勇樹(野菜研究室 主査専門研究員) 佐藤 春菜(野菜研究室 専門研究員)	14 名
	R2.9.15	・相互圃場巡回 佐々木 忍(花き研究室 主査専門研究員) 高橋 藍(果樹研究室 主任専門研究員) 西田 絵梨香(果樹研究室 専門研究員) 小田島 雅(花き研究室 主査専門研究員) 小澤 傑(花き研究室 専門研究員) 佐々木 達史(野菜研究室 技師)	13 名
	R2.12.21	・ホルモン四方山話 児島 清秀(新潟大学 教授) ・植物のストレス交差誘導病害抵抗性の利用について 佐藤 達雄(茨城大学 教授)	12 名
	R3.3.26	・農業科学博物館見学 高橋 英明(資料調査員)	13 名
[生産環境研究部]	R3.2.17	岩手県農業研究センター等 職員研修会 ・農業試験場でメタンを測定していたことについて 鈴木 良則(生産環境研究部長) ・現場で判定できる「簡易土壌養分評価法」研修会 高橋 良学(土壌肥料研究室 上席専門研究員)	48 名 34 名
[病虫害防除部] 第1回所内ゼミ	R2.5.19	文書作成について(石川主任)	9 名
第2回所内ゼミ	R2.6.16	発生時期の平年値の捉え方(吉田主査)	9 名
第3回所内ゼミ	R2.8.18	統計を用いた水稻育苗期病害(細菌病)の解析(田村技師)	9 名
第4回所内ゼミ	R2.9.15	果樹カメムシの改善予察法の検証(遠藤主任主査)	9 名
第5回所内ゼミ	R2.10.20	野菜花き病虫害診断の傾向(H20～R1)(佐藤主査)	9 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
[病虫害防除部](続き) 第6回所内ゼミ	R2.11.18	ハラスメント防止について(本田所長)	9 名
第7回所内ゼミ	R2.12.15	令和2年リンゴ褐斑病の発生解析(藤田主査)	9 名
第8回所内ゼミ	R3.1.19	「いわてアグリベンチャーネット」リニューアルに向けた取組状況(福田技師) イネいもち病発生の歴史と防除薬剤を巡る動き(勝部課長)	9 名
第9回所内ゼミ	R3.2.16	今年特異的に発生した病虫害について(吉田主査)	9 名
[畜産研究所] 第1回所内ゼミ	R2.6.11	繁殖技術研修 外貌～生殖器等の兆候、直腸検査と記録 熊谷 光洋(次長)	4 名
第2回所内ゼミ	R2.6.23	東北農業試験研究発表会事前発表 土谷 のぞみ(家畜育種研究室 専門研究員) 高橋 良乃(家畜育種研究室 専門研究員)	13 名
第3回所内ゼミ	R2.7.28	Wild Cup2020発表会事前発表 佐々木 康仁(外山畜産研究室 専門研究員) 小澤 さち(種山畜産研究室 技師) 高橋 良乃(家畜育種研究室 専門研究員)	15 名
第4回所内ゼミ	R2.10.13	中央畜産研修(飼料A)伝達講習 佐々木 康仁(外山畜産研究室 専門研究員) エクセルVBAによる作業の半自動化 熊谷 光洋(次長)	18 名
第5回所内ゼミ	R3.1.27	第77回日本草地学会新潟オンライン大会事前発表 令和2年度岩手県獣医畜産業績発表会 実践統計学の伝達研修Ver.2 佐藤 真(家畜飼養・飼料研究室 主査専門研究員)	11 名
[県北農業研究所] 第1回所内ゼミ (圃場巡回)	R2.7.27	①金森 靖 上席専門研究員 「春系キャベツの生育斉一化技術の確立」 ②赤坂 尚生 専門研究員 「新規育苗培土のねぎ栽培における実用化試験(予備試験)」 ③菅 広和 主査専門研究員 「水稻高密度播種苗移植栽培体系の確立(県北地域における移植技術の検討)」 ④佐藤 拓也 専門研究員 「ドローンでの生育解析(予備試験)」 ⑤細越 翔太 専門研究員 「長期安定出荷のための10月収穫作型の確立(育苗の途中経過)」 ⑥吉津 祐貴 専門研究員 「あわ育成系統生産力検定試験」 ⑦小野 直毅 専門研究員 「ミヤマトウキ苗安定生産技術の確立」	15 名
第2回所内ゼミ	R2.9.25	高橋 好範 所長 「作物を作り続けるために「補給型追肥基準」作成経緯 小野 直毅 専門研究員 「トウキ栽培の概要およびトウキ育苗改善試験中間報告」	13 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
[県北農業研究所](続き) 第3回所内ゼミ	R2.11.12	金森 靖 上席専門研究員 「冬期間のハウスを活用したたまねぎ春どり作型の栽培法」 吉津 祐貴 専門研究員 「機械移植に適した雑穀育苗技術の検討」	13 名
第4回所内ゼミ	R3.1.19	菅 広和 主査専門研究員 「アワの病害虫について」 細越 翔太 専門研究員 「畝立・施肥作業の高精度化実証(キャベツ)」	13 名
第5回所内ゼミ	R3.2.24	赤坂 尚生 専門研究員 「環境制御に係る試験内容」 佐藤 拓也 専門研究員 「リモートセンシングによる水稻生育診断技術」	13 名
第6回所内ゼミ	R3.3.19	後藤 純子 次長兼園芸研究室長 「クロバネキノコバエ類幼虫によるリンドウの被害と防除対策」 大里 達朗 首席専門研究員兼作物研究室長 「農林業センサスから見た地域農業の現状と将来設計の考え方の一考察」	10 名

VII 試験研究以外の業務概要

Ⅶ 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種

(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の配布

種 類	品 種	面 積 (a)	採種量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	かけはし	0.5	7	県北農業研究所
	あきたこまち	5	74	農業研究センター
	ササニシキ	1	35	〃
水稻(酒米)	ぎんおとめ	1	13	〃
水稻(もち)	もち美人	2	47	〃
水稻(飼料用米)	たわわっこ	3	76	〃
小麦	銀河のちから	6	300	〃
大豆	ユキホマレ	1	5	〃

2 作物の原種の採種

(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の配布

種 類	品 種	面 積 (a)	採 種 量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	かけはし	20	500	県北農業研究所
	ひとめぼれ	356	12,100	農業研究センター
	あきたこまち	85	2,480	〃
	どんびしやり	28	960	〃
水稻(酒米)	吟ぎんが	8	220	〃
	ぎんおとめ	4	99	〃
水稻(飼料用米)	たわわっこ	32	600	〃
水稻(もち)	ヒメノモチ	50	1,500	紫波町
	もち美人	15	400	農業研究センター
小麦	ナンブコムギ	250	3,524	農業研究センター
	ゆきちから	180	3,840	〃
	銀河のちから	90	2,287	〃
大豆	リュウホウ	150	2,108	農業研究センター
	ナンブシロメ	100	248	〃

(2) その他原種種子の生産

種 類	品 種	面 積(a)	採種量(kg)	備考(採種場所等)
キビ	ひめこがね	0.1	2	県北農業研究所
アワ	虎の尾	0.1	2	県北農業研究所
	大槌10	0.1	2	県北農業研究所

3 種苗等の配布

(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の配布

種 類	品 種	数 量(kg)	配 布 先
水稻うるち原種 (令和3年採種圃播種用)	ひとめぼれ	10,540	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	あきたこまち	1,760	〃
	いわてっこ	1,240	〃
	どんびしゃり	440	〃
	かけはし	100	〃
	銀河のしずく	900	〃
	金色の風	180	〃
酒造好適米原種 (令和3年採種圃播種用)	ぎんおとめ	40	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	70	〃
	結の香	20	〃
水稻非主食用米原種 (令和3年採種圃播種用)	つぶゆたか	500	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	たわわっこ	560	〃
水稻もち原種 (令和3年採種圃播種用)	ヒメノモチ	1,200	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	もち美人	60	〃
	めんこもち	25	〃
小麦原種 (令和2年採種圃播種用)	ナンブコムギ	4,130	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	3,350	〃
	銀河のちから	480	〃
大豆原種 (令和3年採種圃播種用)	ナンブシロメ	140	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	リュウホウ	1,920	〃

注) 旧年産の種子も供給していること。

(2) その他種苗の配布

種 類	品 種・系 統	数 量(単 位)	配 布 先
アワ原種	大槌10	0.09(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆいこがね	0.30(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
キビ原種	ひめこがね	0.7(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
りんどう	F1種子生産用親系統(セル苗)	1,800(株)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	Bzc-1(培養苗)	150(株)	〃
	いわてDfG PB-1号(培養苗)	150(株)	〃

4 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:令和3年3月31日現在)

(1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
花金幸	70	189	223	145	267	193	195	241	132	138	111	209	2,113
安久勝晃	140	171	123	113	55	158	94	148	168	141	113	136	1,560
飛良智	80	180	109	58	163	25	75	43	30	38	35	68	904
菊勝久	76	98	88	93	60	45	63	73	27	38	21	80	762
美津福勝	38	13	50	28	40	50	30	25	25	0	25	25	349
菊福秀	10	18	12	23	25	10	0	22	5	13	10	15	163
百合雲	45	2	4	25	4	13	0	3	15	3	28	50	192
結乃宝	5	0	5	0	0	0	5	5	3	3	42	5	73
花安勝	30	0	0	10	0	0	0	0	0	20	0	0	60
菊富秀	0	5	0	0	25	30	0	0	0	0	0	0	60
暁雲	6	8	20	10	0	3	0	0	0	0	0	20	67
沢百合茂	0	20	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	46
百合茂勝	10	0	14	0	0	20	0	0	0	0	0	0	44
月山桜	0	10	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	40
山根雲	0	3	0	0	0	0	5	20	0	5	0	23	56
その他	5	0	38	10	16	0	5	40	0	10	5	2	131
計	515	717	686	515	655	577	472	620	405	435	390	633	6,620

(2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松福	0	0	25	0	0	0	0	20	5	0	20	0	70
琴国宝	0	0	0	0	0	0	0	0	10	36	0	0	46
吉誉	28	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
民姫	0	0	0	0	5	0	0	4	10	0	0	0	19
北川春	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	15
兼代29	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	28
その他	40	3	5	0	20	0	0	0	35	10	12	7	132
計	68	22	41	0	25	0	0	24	60	46	47	20	353

5 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:令和3年3月31日現在)

(1) 豚の配布

品 種	種 類			配 布 先
	種雌(頭)	種雄(頭)	子豚(頭)	
L	-	-		県内養豚農場
B	-	1	71	県内養豚農場
LW	-	-	-	県内養豚農場
その他	-	-	6	県内養豚農場
計	0	1	77	

(2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	1,547	250	1,797	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

6 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:令和2年5～10月)

(1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	60	1	38	99

(2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	8	1	2	11

VIII 予算、財産、表彰

Ⅷ 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算(令和2年度・2月現計)

(単位:千円)

区 分	(内 訳)	予 算 額
【農業費】		
人件費(本部)		655,571
人件費(県北)		107,918
庁舎管理費(本部)		107,365
庁舎管理費(県北)		21,913
ほ場管理費(本部)		47,908
ほ場管理費(県北)		1,734
ふれあい公園管理運営費		8,979
試験研究費(国庫、委託試験等)		210,183
(1)植物防疫研究費	11,483	
(2)土壌対策研究費	3,733	
(3)外部資金等農業試験研究費	194,967	
高生産性農業新技術開発促進研究費(県単研究費)		12,543
主要農作物採種管理費		23,058
令達事業(本部)		39,121
令達事業(県北)		952
共同研究機関配分研究費		39,600
合 計		1,276,845
【畜産業費】		
人件費(畜産)		419,944
庁舎管理費		81,532
飼育管理費		130,756
管理運営費(種山畜産研究室分)		103,732
試験研究費(国庫、委託試験等)		22,566
農業関係試験研究委託事業	16,763	
高生産性畜産新技術開発促進研究費(県単研究費)		14,794
令達事業		45,344
合 計		818,668
全 体 計		2,095,513

2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (R3.3.31現在)

(1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)							建物(m ²)		
	耕 地					林野等	施設用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	31	17		78	16	41	135	80	30,325
北 上	26	22	17		65		36	101	33	19,846
【主な施設面積(内数)】										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整 調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
ふれあい公園						16	2	18	8	2,181
南部園芸研究室							1	1	9	1,862
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,684
その他(胆沢、金ヶ 崎、滝沢)		8			8		0	8	5	1,752
畜産研究所		99		1,595	1,694	297	36	2,027	150	36,847
滝沢(本所)		93			93	57	30	180	92	24,048
外山畜産研究室		6		1,484	1,490	132	5	1,627	43	7,171
種山畜産研究室				111	111	108	0.6	220	15	5,628
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	17	8,083
合 計	31	141	16	1,595	1,785	313	85	2,182	247	75,255

(2) 飼養家畜頭数 (R3.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		39	39	ホルスタイン種 62
	育成牛(子牛含む)		23	23	
肉用牛	(滝沢)	95 (雄36, 去勢59)	39	134	黒毛和種 59、日本短角種 75 (育成牛・子牛を含む)
	(外山)	15 (子牛15)	120 (子牛28)	135	黒毛和種 83、日本短角種 52 (育成牛・子牛を含む)
	(種山)	64 (雄40, 去勢24)	31	95	黒毛和種 95 (育成牛を含む)
	牛 計	174	252	426	
豚	種豚	18	33	51	【種豚の内訳】 バークシャー種 126、ランドレース種(イワテハヤチネL2) 4、デュロック種 1、雑種 36
	その他	-	-	116	
	計	18	33	167	
鶏	種鶏	-	-	1,746	岩手地鶏279、新ロード512、基礎鶏337、ホワイトロックロード585、ホワイトロック33

3 種苗登録、特許等

(1) 種苗登録

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわて	第 311号	S52. 9. 7	育成者権消滅
りんどう	いわて乙女	第 544号	S59. 3.19	〃
りんどう	ジョバンニ	第 1,101号	S61. 8. 8	〃
りんどう	イーハトーヴォ	第 1,100号	S61. 8. 8	〃
大豆	緑良	第 2,517号	H 2.12. 5	〃
大豆	緑翠	第 2,516号	H 2.12. 5	〃
りんどう	アルビレオ	第 2,553号	H 2.12. 5	〃
りんどう	マシリイ	第 3,073号	H 4. 2.29	〃
りんどう	ホモイ	第 3,074号	H 4. 2.29	〃
ぶどう	エーデルアーリー	第 3,404号	H 5. 3.10	〃
りんご	きおう	第 3,947号	H 6. 3.14	〃
りんどう	アルタ	第 4,085号	H 6. 8.22	〃
稲	かけはし	第 4,410号	H 7. 3.23	〃
稲	ゆめさんさ	第 4,411号	H 7. 3.23	〃
りんどう	ポラーノ ホワイト	第 4,999号	H 8. 3.18	〃
りんどう	あおこりん	第 7,713号	H12. 2.22	〃
りんどう	ももこりん	第 7,714号	H12. 2.22	〃
りんどう	ポラーノ ブルー	第 7,715号	H12. 2.22	〃
大豆	星めぐり	第 7,756号	H12. 2.22	〃
稲	吟ぎんが	第10,471号	H14. 9. 4	〃
スターチス	アイスター モーブ	第10,673号	H14. 9.30	育成者権消滅
スターチス	アイスター ラベンダー	第10,674号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラックブルー	第10,675号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ロージーピンク	第10,676号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラック	第10,677号	H14. 9.30	〃
稲	ぎんおとめ	第10,963号	H15. 2.20	〃
大豆	ちゃげ丸	第11,099号	H15.3.17	育成者権消滅
大豆	ぶっくらこ	第11,100号	H15.3.17	〃
稲	いわてっこ	第12,177号	H16. 8.18	〃
きく	アイمامアーリーイエロー	第13,034号	H17. 3.23	育成者権消滅
きく	アイمامホワイト	第13,035号	H17. 3.23	〃
きく	アイمامピンク	第13,036号	H17. 3.23	〃
きく	アイمامイエロー	第13,037号	H17. 3.23	〃
きく	アイمامホワイトピーチ	第13,038号	H17. 3.23	〃
稲	もち美人	第13,295号	H17. 9.13	〃

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんご	黄香	第13,771号	H18. 2.27	育成者権消滅
きく	アイمامレモンイエロー	第13,800号	H18. 2.27	〃
きく	アイمامオータムホワイト	第13,801号	H18. 2.27	〃
きく	アイمامパープルレッド	第13,802号	H18. 2.27	〃
きく	アイمامアーリーホワイト	第13,803号	H18. 2.27	〃
きく	アイمامオレンジ	第15,952号	H19.12.18	〃
きく	アイمامレッド	第15,953号	H19.12.18	〃
稲	どんぴしゃり	第16,604号	H20. 3.17	
りんどう	マジエル	第16,725号	H20. 3.17	
りんどう	キュースト	第16,726号	H20. 3.17	
スターチス	アイスター ソフトピンク	出願番号第18,507号	出願(H17. 7. 8)	登録申請取り下げ
きく	アイمامオータムイエロー	第17,727号	H21. 3. 6	育成者権消滅
きく	アイمامオータムレッド	第17,728号	H21. 3. 6	〃
きく	アイمامピュアホワイト	第17,968号	H21. 3.19	〃
りんご	岩手7号(商標:紅いわて)	第18,415号	H21. 9.10	
りんどう	いわて夢あおい	第18,762号	H22. 1.14	
りんどう	ももずきんちゃん	第20,210号	H23. 1.25	
りんどう	いわてDPB1号	第20,345号	H23. 2.15	育成者権消滅
稲	かぐやの舞	第20,350号	H23. 2.15	〃
稲	つづみ星	第20,351号	H23. 2.15	〃
稲	つづみのり	第20,535号	H23. 3. 9	育成者権消滅
稲	あけのむらさき	第20,710号	H23. 3.18	〃
稲	吟さやか	第20,711号	H23. 3.18	〃
稲	ゆきおとめ	第20,712号	H23. 3.18	〃
稲	つづゆたか	第20,716号	H23. 3.18	
ひえ	ねばりっこ1号	第21,577号	H24. 3. 9	育成者権消滅
ひえ	ねばりっこ2号	第21,578号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ3号	第21,579号	H24. 3. 9	育成者権消滅
りんご	大夢	第22,369号	H25. 3. 6	
ぶどう	エーデルロツソ	第22,547号	H25. 3.25	
りんどう	いわて夢みのり	第22,946号	H26. 1.23	
稲	結の香	第23,454号	H26. 6.30	
りんどう	いわて夢みつき	第24,342号	H27. 6. 9	
稲	きらほ	第24,582号	H27.11.19	
あわ	ゆいこがね	第25,234号	H28. 6.10	
きび	ひめこがね	第26,971号	H30. 8.13	
りんどう	いわてLB-3号	第25,770号	H29. 3. 1	
りんどう	いわてLB-4号	第25,771号	H29. 3. 1	
稲	岩手117号	第26,436号	H30. 1.24	
稲	銀河のしずく	第26,561号	H30. 3.29	

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわてVEB-7号	第26,414号	H30. 1.24	
りんどう	いわてEB-1号	第26,415号	H30. 1.24	
りんご	雪いわて	第26,691号	H30. 5.16	
稲	金色の風	第27,649号	R元.12. 9	
りんどう	いわてEB-2号	第27,159号	H30. 1.23	
りんどう	いわてMB-2号	第27,160号	H30. 1.23	
稲	たわわっこ	出願番号第32,947号	出願(H30. 3.16)	
いちご	そよかの	出願番号第33,721号	出願(H31. 2.19)	
りんどう	Bzc-1	出願番号第34,732号	出願(R2. 6. 4)	
りんどう	いわてDfG PB-1号	出願番号第35,011号	出願(R2.10.15)	
いちご	夏のしずく	出願番号第35,039号	出願(R2.11. 5)	

(2) 特許、実用新案

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
米を原料とした飲料の製造方法	特開平03-272671 (H 3.12. 4)	1990534(H 7.11. 8) ※H22. 3.19存続期間満了
牧草種子の播種方法及び牧草種子の散布用の複合肥料ペレット	特開平10-276514 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
マクロシードペレットの散布装置	特開平10-276516 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
遺伝子導入りんご及びその作出法	特開2000-270700 (H12.10. 3)	(公開・拒絶査定)
果樹の成育状態評価方法	特開2004-147539 (H16. 5.27)	4026684(H19.10.19)
土壌用有機成分の推定装置	特開2005-017115 (H17. 1.20)	3902160(H19. 1.12)
ハトムギ食品の製造方法	特開2005-040104 (H17. 2.17)	3842253(H18. 8.18)
家畜用胚移植器	特開2006-181078 (H18. 7.13)	4111523(H20. 4.18)
降霜予測装置	特開2006-189403 (H18. 7.20)	4053544(H19.12.14)
有機肥料の製造方法及び有機肥料	特開2006-265027 (H18.10. 5)	4240492(H21. 1. 9)
物質の成分推定方法及び物質の成分推定装置	特開2007-187486 (H19. 7.26)	4258780(H21. 2.20)
水田作業機の排水溝形成装置	特開2010-124775(H22. 6.10)	4854045(H23.11. 4)
りんどうの鮮度保持用包装袋及びりんどうの保存方法	特開2010-163197(H22. 7.29)	(公開・拒絶査定)
高設栽培装置及びこれを用いた高設栽培方法	特開2010-227008(H22.10.14)	4900735(H24. 1.13)
樹皮繊維培土の製造方法及び樹皮繊維培土	特開2012-024006(H24. 2. 9)	5013558(H24. 6.15)
切断器具	特開2014-204881(H26.10.30)	6120275(H29. 4. 7)
植物の栽培方法及び植物の栽培装置	特開2015-173612(H27.10. 5)	6369827(H30. 7.20)
リンドウの栽培方法	特願2019-217750(R1.12. 2)	(出願・審査請求中)

(3) 一般に公開しているプログラム等

名 称	公 開 (年月日)	バージョン	担当研究室(開発者)
「生産技術体系」及び「営農計画作成支援シート」	平成18年 2月22日	ver.1.2	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
集落営農組織化効果試算シート	平成18年 6月 9日	ver.0.1	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
作業可能日数率算出支援シート	平成19年 3月30日	ver.1.0	生産工学研究室 (主任専門研究員 大里 達朗)
水稻施肥設計支援シート	平成21年 7月 6日	ver.3.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)
園芸畑作施肥設計支援シート	平成24年 2月 7日	ver.1.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)

※開発者の所属・職名は、公開当時のもの。

4 表彰

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(外部表彰) 「第13回北日本病害虫研究会賞」	生産環境研究部	病理昆虫研究室	主査専門研究員	岩館 康哉	ナス果実の小陥没症発生要因の検討	R3.2.25
(内部表彰) 令和2年度岩手県職員表彰 (事績顕著者表彰)	(該当なし)					
(内部表彰) 令和2年度第1回農林水産部長表彰	園芸技術研究部	花き研究室	専門研究員 室長 主査専門研究員 主査専門研究員 主査専門研究員	小澤 傑 内藤 善美 小田島 雅 佐々木 忍 阿部 弘	鉢花向け八重咲きりんどう「いわてDiG PB-1号」の育成	R2.11.23
	畜産研究所	種山畜産研究所	(機関表彰)		気高系高能力種雄牛(「飛良智(ひらとも)」号)の選抜	
(内部表彰) 令和2年度第2回農林水産部長表彰	畜産研究所	外山畜産研究室	主査専門研究員 首席専門研究員兼室長	佐々木 康仁 細川 泰子	BLE通信技術を用いた放牧牛群の省力的個体確認手法の確立	R3.3.26
(内部表彰) 令和2年度第1回農業研究センター所長表彰	企画管理部	研究企画室	主査専門研究員 主任専門研究員	阿部 敦 伊勢 智宏	新たに無線LAN設備を整備するとともにWeb会議システムを構築し当センターの円滑な業務の推進に貢献	R2.9.29
	企画管理部	農業経営研究室	室長 主査専門研究員 主査専門研究員 技師	前山 薫 吉田 徳子 藤澤 真澄 小向 昌啓	生産技術体系データを十年ぶりに整備し収益性の高い経営体の育成に資する研究成果としてとりまとめ	
	園芸技術研究部	果樹研究室	主任技能員	菊地 徳章	急遽発生した欠員に対し部を超えた連携による効率的な業務の実施により円滑な研究の推進に貢献	
	生産環境研究部	土壌肥料研究室	主任技能員	小黒澤 清人		
		病理昆虫研究室	主任技能員	佐藤 広昭		
	生産環境研究部	病理昆虫研究室	上席専門研究員	中野 央子	水稲の低コスト安定生産に資する水稲高密度播種苗移植栽培に適した葉いもち・初期害虫の防除方法を開発	
	病虫害防除部		技師 主査 主査	福田 拓斗 吉田 雅紀 佐藤 千穂子	本県で新たに確認されたネギハモグリバエの別系統及びツマジロクサヨトウの生態と防除対策をとりまとめ迅速な現地指導に貢献	
(内部表彰) 令和2年度第2回農業研究センター所長表彰	企画管理部	研究企画室	上席専門研究員 主査専門研究員 主査専門研究員 主任専門研究員	鈴木 元 長澤 睦 阿部 敦 土屋 淑子	先端プロ事業をはじめとする外部資金事業の適正・効率的な予算執行に努め当センターの円滑な業務の推進に貢献	R3.3.2
	企画管理部	総務課	課長	山田 昭人	当センターにおける新型コロナウイルス感染症防止体制を構築するとともに新たな方式による一般公開デー開催の成功に貢献	
		研究企画室	主任専門研究員	土屋 淑子		
	企画管理部	総務課	主任	田村 絵美	県北地域における施設園芸の技術開発拠点となる施設の整備を的確に進捗管理し年度内の完成に貢献	
	研究企画室	室長	高城 保志			
(次ページに続く)	企画管理部	総務課	主査	熊谷 和泉	会計事務等の適正化及び内部統制の導入を積極的に進め当センターの円滑な業務の推進に貢献	

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(前ページ続き) 令和2年度第2回 農業研究センター 所長表彰	生産基盤研究部	水田利用研究室	上席専門研究員	田村 和彦	復旧水田で問題となっている水田雑草の防除対策及びほ場水管理システムの省力・節水効果を明らかにし研究成果としてとりまとめ	R3.3.2
	生産基盤研究部	生産システム研究室	上席専門研究員	藤尾 拓也	施設園芸において収量の飛躍的な向上が可能な低コストで耐久の高い環境計測装置と複合環境制御盤FARMATEを開発	
	生産基盤研究部	生産システム研究室	専門研究員	小原 あつ子	岩手県における水稲の生産コスト及び労働時間の大幅な削減が可能な水稲高密度播種苗移植栽培法等を開発	
	生産基盤研究部	生産システム研究室	上席専門研究員	吉田 宏	復旧水田の工事終了後に問題となっている、不陸を解消する耕盤均平技術等を開発されました	
	生産基盤研究部	作物育種研究室	主査専門研究員	小館 琢磨	水稲の高速成分育種手法を考案するとともにこの手法の活用により競争的研究資金を獲得する等当センターの円滑な業務の推進に貢献	
	生産基盤研究部	作物育種研究室	専門研究員	藤岡 智明	当センターにおけるDNAマーカー選抜体制の充実強化に努め水稲育種の効率化と競争的資金の獲得に貢献	
	生産基盤研究部	作物育種研究室	主任技能員	佐藤 洋貴	技能員として長年にわたり本県農業試験研究の推進に尽力	
	生産基盤研究部	生産システム研究室	上席専門研究員	山口 貴之	博士の学位に関するアンケート調査を行い有益な情報を取りまとめ学位取得を目指す若手研究員の育成に貢献	
	生産環境研究部	土壌肥料研究室	上席専門研究員	高橋 良学		
		病理昆虫研究室	主査専門研究員 主査専門研究員	岩館 康哉 羽田 厚		
	園芸技術研究部	果樹研究室	主査専門研究員	高橋 藍	本県が育成したりんご「大夢」の安定生産を図るため正品率が向上する摘果強度を解明	
	園芸技術研究部	野菜研究室	主査専門研究員 技師	田代 勇樹 佐藤 春菜	本県に多い小規模のパイプハウスでも取り組みやすい環境制御技術を開発するとともに技術導入マニュアルを作成	
		南部園芸研究室	首席専門研究員兼室長 主査専門研究員	漆原 昌二 高橋 大輔		
	生産環境研究部	病理昆虫研究室	上席専門研究員	加藤 真城	環境にやさしいりんごの生産に資する土着天敵カブリダネ類の保護を核としたハダニ類防除方法を開発	
	生産環境研究部	土壌肥料研究室	専門研究員	白木 正俊	大豆及び麦の収量向上に資する緑肥活用技術並びにりんごの品質向上に資する施肥技術を開発	
	生産環境研究部	土壌肥料研究室	専門研究員	小田島 芽里	稲作の効率化及びコスト低減に資する可変追肥技術及び稲わら施用に係る施肥技術を研究成果としてとりまとめ	
	病害虫防除部	病害虫防除課	主査	吉田 雅紀	県中部で多発したコムギ条斑病の発生要因を解析するとともに防除対策をとりまとめ小麦の安定生産に貢献	
	病害虫防除部	病害虫防除課	技師	福田 拓斗	本県においてにネギハモグリバエの新系統がねぎの葉枯病の発生に関与することを明らかにするとともに防除対策をとりまとめねぎの安定生産に貢献	
			主査	吉田 雅紀		

(次ページに続く)

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)			表彰の対象となった事績内容	表彰年月日	
(前ページ続き)	病害虫防除部	病害虫防除課	課長 主査 会計年度任用職員 会計年度任用職員	勝部 和則 吉田 雅紀 小野寺 政子 高橋 愛	主要病害虫が多発しやすい環境において発生予察調査や季節予報に基づき適時適切に病害虫発生予察情報等を発行し農作物の安定生産に貢献	R3.3.2
(内部表彰) 令和2年度第1回 農業研究センター 畜産研究所長表彰	畜産研究所	家畜育種研究室	会計年度任用職員	高橋 多鶴子	長年にわたる鶏の試験研究への貢献	R2.9.18
		家畜育種研究室	会計年度任用職員	日野杉 妙子	長年にわたるDNA研究への貢献	
		家畜飼養・飼料研究室	主任技能員 主任技能員 主任技能員 主任技能員 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員	右京 隆二 谷地 舘 透 葉木澤 一也 荒屋 康之 米澤 健治 畠山 健成 佐々木 ミネ子 佐藤 順恵 大畑 綾子	良質牧草の増量生産及び実証圃の計画的な設置運営	
令和2年度第2回 農業研究センター 畜産研究所長表彰	畜産研究所	総務課	総務課長	古里 清孝	所内の環境整備への貢献	R3.3.3
		総務課	主任主査	阿部 君男	予算事務、庁舎維持管理事務の適切な処理をはじめとした総務事務への貢献	
		総務課	主事	米村 征哉	会計年度任用職員制度移行に係る適切な管理・運営への貢献	
		家畜育種研究室	主任技能員 主任技能員 主任技能員 技能員 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員 専門研究員	永洞 俊司 菅原 薫 細野 貴樹 妻神 大己 高橋 多鶴子 中村 真弓 角掛 富夫 堀江 正実 高橋 良乃	高病原性鳥インフルエンザ予防対策として、動線の交雑による病原体の持ち込みを防止するなど対策を構築	
		家畜飼育・飼料研究室	主任技能員 主任技能員 主任技能員 技能員 技能員 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員	荒木田 俊一 鳴海 茂揮 畠山 博文 廣田 裕誠 小林 雄二 橋本 沙織 松澤 研二 小林 蓮 北田 江美子	パーラー内パソコン室、牛舎内薬品庫の清掃・整理整頓を徹底したことにより、業務の効率化および火災等の事故防止につながった	
		家畜育種研究室／ 家畜飼養・飼料研究室	会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員	山口 はる美 遠藤 由紀子 大森 由香子 鎌田 朋美 上川原 幸子	実験室の不要毒劇物の廃棄及び薬品の整理整頓により、分析業務の効率化と薬品取違による事故防止につながった	
(次ページに続く)						

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)			表彰の対象となった事績内容	表彰年月日	
(前ページ続き)		外山畜産研究室	主任技能員	上野 由克	放牧地における水の供給体制の整備を行い、放牧牛の飼養環境の向上に貢献	R3.3.3
			主任技能員	上澤 賢輝		
			技能員	武田 溪介		
			会計年度任用職員	藤原 時夫		
会計年度任用職員	室坂 光栄					
会計年度任用職員	八重畑 功					
会計年度任用職員	小笠原 久男					
会計年度任用職員	金崎 智樹					
会計年度任用職員	三上 幸博					
会計年度任用職員	千葉 昌子					
会計年度任用職員	荒木田 しづ子					
主査専門研究員	尾張 利行					
主任専門研究員	吉田 力					
主任専門研究員	佐々木 康仁					
	外山畜産研究室	会計年度任用職員	藤原 時夫	放牧地において手付かずであったノイバラ駆除の方法の確立、機材の改良により、牧野の管理に大きく貢献		
	種山畜産研究室	主任技能員	松本 徹	当室技能員が場内の作業道に加えて近隣道路の路肩の除雪も行い、高齢者の負担軽減に貢献した		
		主任技能員	後藤 克明			
		技能員	千葉 弘和			
(内部表彰) 令和2年度 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰	県北農業研究所		主査	小笠原 美幸	北いわてスマート農業プラットフォーム創造事業に関する業務を適切に遂行した	R3.2.15
			主査専門研究員	菅 広和		
			専門研究員	赤坂 尚生		
			技能員	日山 将太		
	園芸研究室	専門研究員	細越 翔太	岩手県におけるたまねぎ初冬どり新作型を開発した		
	作物研究室	専門研究員	吉津 祐貴	粒が黄色く短稈・多収の糯あわ系統「アワ岩手糯9号」、「アワ岩手糯10号」、「アワ岩手糯11号」を育成した		
	作物研究室	専門研究員	小野 直毅	とうき露地育苗における良苗生産及び省力化技術を開発した		

IX 東日本大震災津波への対応

Ⅹ 東日本大震災への対応

1 研修会、セミナーの開催

研修会・セミナー・成果展示等	開催日	延べ参加者数
【研修会・セミナー】		
第1回稲作コスト低減研修会(先端プロ・社会実装:水稲鉄コ直播関連)	R2.7.27	80
先端プロ<復旧水田・水田営農>現地検討会(先端プロ・実証研究)	R2.8.18~19	22
第2回稲作コスト低減研修会(先端プロ・実証研究)	R3.2.9	110
第1回いわて環境制御技術セミナー:トマト環境制御技術(先端プロ・社会実装)	R2.8.5	70
第2回いわて環境制御技術セミナー:きゅうり環境制御技術(先端プロ・実証研究)	R2.8.28	60
JA園芸産地改革ネットワーク会議(きゅうり部会)	R2.10.9	25
JAいわて中央きゅうり専門部会及び役員会合同研修会	R2.11.24	30
花巻地域野菜生産部会きゅうり専門委員会(北上)きゅうり生産販売実績検討会	R2.11.30	50
花巻地域野菜生産部会きゅうり専門委員会(花巻)「きゅうり研修会」	R2.12.22	50
先端プロ研究成果発表会	R2.12.11	170
【成果展示等】		
農業研究センター参観デー(共通)	R2.9.5	700
先端プロ研究成果発表会	R2.12.11	170

2 復興支援業務の実施

業務内容	実施日数	延べ対応者数
(該当なし)		

X 沿革

X 沿革

明治31年	種馬厩を盛岡市に設置。
明治34年	農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。 種馬厩を種畜場と改称。
明治35年	種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
明治36年	農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
大正 2年	原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢区)に設置。
大正 8年	農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺区)に設置。
大正11年	原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
大正12年	農事試験場に病虫害部(5部制)を新設。 外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山区)に移転(滝沢は支場となる)。
昭和 2年	種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
昭和 5年	農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。 蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
昭和10年	農事試験場遠野試験地上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
昭和12年	種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。 蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
昭和13年	蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
昭和15年	農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
昭和21年	農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
昭和22年	農事試験場遠野試験地が国営に移管。
昭和23年	種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
昭和25年	農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。 農業試験場畜産部を種畜場と併設。 農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。 農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
昭和26年	農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。 農業試験場に遠野試験地が国から移管。 農業試験場に農業経営研究部門設置。 工芸作物原種農場を雫石町に設置。
昭和28年	蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢区)龍ヶ馬場に移転。
昭和30年	農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫・経営・農機具・畜産)。 蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
昭和32年	蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
昭和36年	蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
昭和37年	農業試験場の園芸部、南部試験地及びびぶどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びびぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。 農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。 種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。 農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。 工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
昭和38年	農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
昭和39年	畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
昭和41年	農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
昭和44年	園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
昭和46年	農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壤改良科・病虫害科、経営部:経営科・流通経済科)。 農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。 農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。 園芸試験場に環境部を設置。 園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。 畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
昭和47年	園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
昭和48年	蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
昭和51年	農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
昭和53年	蚕業試験場六原試験地を廃止。 蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
昭和56年	園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。

昭和57年	蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。
平成 3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成 8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成 9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作物蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室(陸前高田市)が東日本大震災で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。
平成25年	技術部南部園芸研究室(陸前高田市)を再建し、研究員は平成26年1月から陸前高田市で勤務。
平成31年	センター本部のプロジェクト推進室及び技術部を生産基盤研究部と園芸技術研究部に再編、5部体制に整備 環境部を生産環境研究部と改称

< 所 在 >

岩手県農業研究センター		
本 部	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ https://www.pref.iwate.jp/agri/nouken E-mail : CE0008@pref.iwate.jp (本部) E-mail : CE0001@pref.iwate.jp (病害虫防除所)
(南部園芸研究室)	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎238-4 TEL. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
畜産研究所	〒020-0605	岩手県滝沢市砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 E-mail : CE0010@pref.iwate.jp
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県盛岡市藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 E-mail : CE0034@pref.iwate.jp
県北農業研究所	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 E-mail : CE0009@pref.iwate.jp

令和 2 年度 岩手県農業研究センター年報

令和 3 年 7 月発行

岩手県農業研究センター

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL (0197) 68-2331 FAX (0197) 68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan

